

史料目録 第121集

# 鶚軒文庫関係資料目録

令和7年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館  
学術資料部



史料目錄 第121集

## 鶚軒文庫關係資料目錄

The catalogue of historical collections

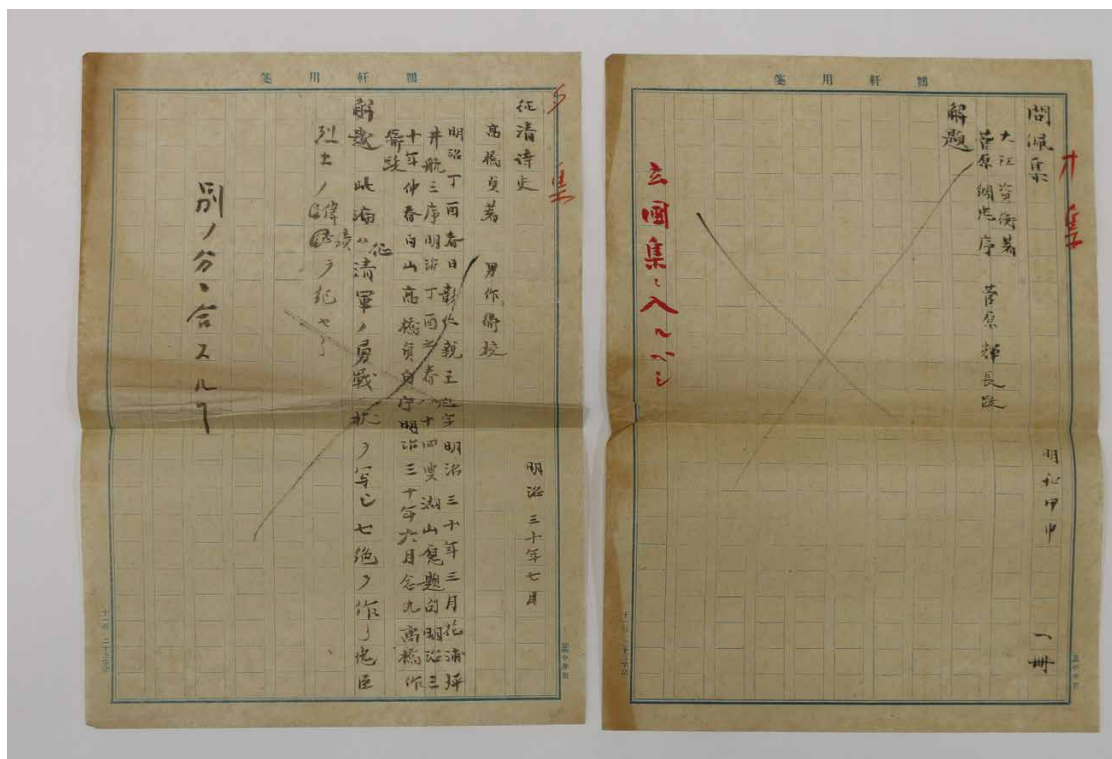
Vol. 121

The catalogue of papers related to the Gakken Collection

National Institute of Japanese Literature, 2025

ISBN 978-4-87592-216-2

ISSN 2435-2055



口絵写真1 土肥慶蔵「(鵜軒文庫日本詩文書目録草稿)」〔整理番号 2024A-3740〕



口絵写真2 本城問亭「(蔵書目録)」〔整理番号 2024A-3271〕



口絵写真3 「莫須篇（經史沿革訓故約例音韻沿革ほか）」〔整理番号 2024A-3203〕



口絵写真4 同上

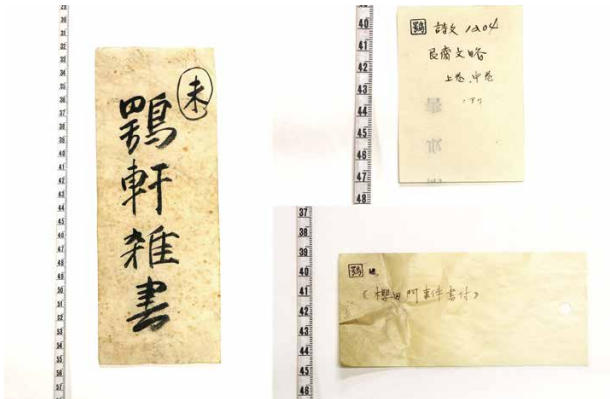


口絵写真 5 那古屋恒往ほか「(詩稿 元日破格用人論ほか)」〔整理番号 2024A-3535〕

受入		登録番	順	書名	著者名	冊数	出版年	代価	備考
月	日								
		1841	547	大蔵 昭和紳士録	大蔵社編	1	昭和3		
		1842	548	大蔵 昭和之日本	東京毎日新聞社編	1	昭和4		
		1843	549	財界フースヒー	通俗経済社編	1	昭和3		
		1844	550	日本有名誌 英文編典		2	大正3		
		1845	551	御大名衆御知行高		1			寛永版?
		1846	552	御紋つくし		1	昭和4		松倉版
		1847	553	御紋つくし		1	寛		昭和4年松倉版ニ付
		1848	554	御紋壺		1	寛文9		
		1849	555	江戸鑑		1			寛文10年
		1850	556	御紋壺		1	寛文10		松倉版
		1851	557	御紋壺		1	寛文10		
		1852	558	江戸鑑 分限帳		1	寛文10		
		1853	559	江戸鑑	岩本信由等編	1	寛文12		寛文12年5月岩本信由版
		1854	560	江戸鑑		1	寛文12		
		1855	560	江戸鑑		1	寛文12		
		1856	561	江戸鑑 下巻		1	延寶3		経師屋加兵衛版
		1857	562	江戸鑑		1	延寶5		
		1858	563	江戸鑑		1			延寶4年10月松本屋 又右衛門版
		1859	564	江戸鑑		1			寛文4年版
		1860	565	江戸鑑		1			延寶6年版

口絵写真 6 旧三井文庫編の『鵜軒旧蔵本目録』 p.93





口絵写真 7  
整理札「鶚軒雑書・未」(左) と  
旧三井文庫作成の鶚軒文庫専用カード2種(右)  
〔整理番号 2024A-3268-1, 2024A-3489・3814〕



口絵写真 8  
戸越の史料館北館外観  
(『史料館の歩み四十年』)



口絵写真 9  
鶚軒文庫関係資料を収納していた  
茶箱 (戸越史料館時代)



口絵写真 10 同上



## 凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第121集として「鶚軒文庫関係資料」〈がっけん／ぶんこ／かんけい／しりょう〉（文書記号:2024A）を取めた。
- 2 本目録の編成にあたっては、ISBD（International Standard Bibliographic Description, 国際標準書誌記述の一般原則）の考え方を取り入れながら、ISAD（G）（国際標準:記録史料記述の一般原則）に基づいて、資料群を発生させた組織・集団の機能に留意し、資料群の持つ体系的なコンテキストを把握することに努めた。

サブ・フォンド（大項目）は、1. 和漢書、2. 書画・拓本・写真、3. 古文書、4. 書状・手控ほか（土肥家）、5. 混入文書である。
- 3 記述項目は、書籍資料が多く占めることから、国文学研究資料館（以下、国文研と略記）におけるIKBD（和漢古書書誌ファイルの入力データ作成のフォーマット）に準拠した。IKBDによって書誌レコードを作成することで、本シリーズ「史料目録」のなかで、第74集『三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録』（2001）とともに、特徴的な項目の選択と記述、レイアウトとなった。その意図は、国文研が運用している『国書データベース』に、広い意味での鶚軒文庫関係資料の一部がすでに収載されていること、本目録に掲載した資料も将来的に『国書データベース』に収載される可能性を無しとしないためである。その意味で本目録は、収蔵歴史アーカイブズをIKBDによって情報資源化して提供する、実験的なものといえる。
- 4 サブ・フォンド（大項目）1. 和漢書と、サブ・フォンド（大項目）2. 書画・拓本・写真では、資料1点ごとにつぎの12項目について記述した。
  - （1）整理番号
  - （2）統一書名
  - （3）記載書名1
  - （4）記載書名1の典拠箇所
  - （5）記載書名2
  - （6）記載書名2の典拠箇所
  - （7）記載著者
  - （8）書写・刊行年
  - （9）形態（丁数 大きさ）
  - （10）冊数
  - （11）刊写の別
  - （12）書誌注記
- 5 4の項目についての、記述の基準は以下のようなものである。なお、この基準は「和漢古書書誌レコード作成マニュアル」（2012.06.06改，館内限定公開）を参照している。
  - （1）整理番号は、当館事業「史料館別置典籍の目録・データベース化推進プロジェクト」のもとで、

枝番号ともに、今回新たに付与した。

- (2) 統一書名は、『国書データベース』で立項されている書名のことである。対応する統一書名が『国書データベース』に存在する場合は、その情報とリンク付けを行うことができる。
- (3) 記載書名1は、資料に記載されている書名のことである。原則として、外題または内題より採り、
  - (4) 記載書名1の典拠箇所を外または内と略記した。外、内以外から書名を採った場合は、目(目録冒頭の題のこと)、扉(扉題のこと)、見(表紙見返しの題のこと)、序首(序文冒頭の題のこと)、凡(凡例冒頭の題のこと)、尾(本文末尾の題のこと)、柱(版心、柱刻題のこと)、帙(帙などの容器に記された題のこと)から選び、記入した。同一書名が異なる箇所に記されている場合は、中黒(・)で記載箇所を区切り、列記した。書名の次にスラッシュ(/)を入れて巻数を記したが、巻数記述が長くなる場合には省略した。原書名がないものについては「丸括弧( )」を付して内容から推定して書名を与えた。ただし、推定書名のみでは内容を判別でき難いものについては、資料内容を補記した。この内容補記では、異なる内容の間にスラッシュ(/)を入れて区別した。
- (5) 記載書名2は、記載書名1とは異なる書名が記されている場合に記入した。
- (6) 記載書名2の典拠箇所の記入は、先の(3) 記載書名1のなかで記した、(4) 記載書名1の典拠箇所の記述基準に準拠した。
- (7) 記載著者は、資料に記載されている著者名または書写者名をそのまま記入した。著者名・書写者名などの表記は、姓・名・号・尊称などの要素ごとにスラッシュ(/)で区切って記入した。記載著者・書写者などは2～3名を記した。また、役割(資料への関与のあり方)を記した。役割とは、著、編、撰、浄、画、写、刊などである。1つの資料に対して1人の著者が、複数の役割記載がある場合、または1つの資料に対して著者と書写者など複数者の役割がある場合は、中黒(・)で区切って示した。役割が不明の場合は空欄とした。
- (8) 書写・刊行年には内容年を含み、資料に記載されている年号を記し、年数は算用数字に変更した。干支だけの場合はそれを採録した。推定年については丸括弧( )を付した。
- (9) 形態(丁数 大きさ)は、資料の丁数、つぎに縦×横の寸法をセンチ・メートル単位で示した。丁数は、綴じられた冊子の本文紙数のことである。表紙と後ろ表紙は勘定に入れていない。
- (10) 冊数は、資料の数量である。「算用数字プラス(+)単位」で記した。単位は、「冊」「枚」などを用いた。「冊」は糸や紙縫りなどで綴じられている冊子体の資料、「枚」は綴じられていない資料、綴じが外れている資料に用いた。
- (11) 刊写の別は、刊行物であれば整版・銅版であってもすべて「刊」、筆やペンなどで書かれた資料であれば原本・控え・下書・転写本であってもすべて「写」とした。
- (12) 書誌注記には、前項までの各記述項目に対する説明や、それらの項目に記述できなかった事柄などを必要に応じて記入した。

〈著〉：著者に関する注記。

〈写〉：書写に関する注記。奥書、識語、書入に関する注記は、原則として各々の種別に振り分

けて記入するが、成立・内容年代と異なる場合が多いことから、書写年代などを記入した。

〈序〉：序跋注記。

〈形〉：形態注記。

資料の物理的、形態的な事柄で、事項(9)形態に入らないものを記入した。表紙がある袋綴本では、四ツ目綴、五ツ目綴など綴じの種類、表紙の色を採録した。洋装本はその旨を記した。共紙表紙の場合は、仮綴じ、包背装の区別をした。罫紙・匡郭紙の場合は、慣例にしたがって半丁を一面として、その行数と罫紙の色(「10行青色罫紙」など)、柱刻(版心とも)や用箋の情報を補記した。資料への切紙や継紙の貼付、料紙の切取、資料への切紙・全紙の挟込・差込などについても記入した。反古紙再利用、虫損、汚れなどの資料の状態もここに記した。料紙の材質情報は採取していない。

〈奥〉：奥書・識語注記など。

〈書〉：書入・校合注記など。

本文に対する修正・注・点・評などの書入などに関する事柄を記入した。本文に対する修正は墨書による「修正」、修正液の痕、注は欄外見出しなどで、これらは著者によるものと推察される。これに対して、朱書、朱点(青点ほか)、訓点の施し(煩雑になるため句点を含めた)、欄外書入は本文の批評者による後筆と推定される。後筆にはほかに、評価印(甲乙丙・点数など)、○印評価、批語など多彩であるが、可能な限り、ここに記入した。また、所有者による下小口への書入も、ここに記した。

〈伝〉：伝来注記。

資料の旧蔵者に関する事柄を記入した。墨書、漢字や漢文の練習痕、蔵書印の印文などである。蔵書印には古書店の管理印を含めた。旧三井文庫で作成していた鶚軒文庫専用カードの情報もここに記入した。

〈般〉：一般注記。

各データ項目の補足説明、その資料の特徴、性質などを示す事項、そのほか上記の注記の種別に入らない事柄を記入した。

〈備〉：備考注記。

データ内容に直接関わらないが、情報として公開すべき事柄を、必要に応じて記入した。主として一括情報を記した。

このほか、原資料の判読不能箇所などは、□をもって字数を埋めた。

- 6 サブ・フォンド(大項目)3.古文書、サブ・フォンド(大項目)4.書状・手控ほか(土肥家)、サブ・フォンド(大項目)5.混入文書では、資料1点ごとにつぎの8項目について記述した。記述にあたっては、IKBDに準拠した先の(1)～(12)(本凡例4・5参照)の一部を収蔵歴史アーカイブの項目に読み替えて用いた。

(1) 整理番号

(2) 記載書名1は資料名に読み替えた。

(3) 記載著者は作成者に読み替えた。

(4) 書写・刊行年

(5) 形態(丁数 大きさ)

(6) 冊数

(7) 刊写の別

(8) 書誌注記は資料注記に読み替えた。

7 本目録のファイル・レベル(小項目)内の配列は「記載書名1」を50音順とし、同一書名の場合は整理番号順としている。

8 本目録では、巻末に3点の資料について全文翻刻を掲載している。3点の資料とは、整理番号2024A-3213「記(東京永森直次郎作成の金額/書籍名/冊数書上)」, 整理番号2024A-3214「記(京都竹苞楼銭屋佐々木惣四郎作成の書籍名/冊数/金額書上)」, 整理番号2024A-3215「(書状、御定稿ニ付至急御送り願上げる旨および珍本書上)」である。翻刻にあたっては、適宜、訓点を施した。また意味がわかるように、記号を金銭表記に変更するなどの操作を一部に施した。

9 本目録は研究部藤實久美子がこれを担当し、学術情報課の吉成香澄がこれを補佐した。資料の目録データの作成にあたっては、プロジェクト研究員の高木まどか(2022年11月～2023年3月), 同 謝蘇杭(2022年11月～2025年3月), 同 阿久津美紀(2023年7月～2024年9月)と、資料整理等補助員の鈴木柚, 高橋直大, 春名紘彰, 山崎佑馬の各氏の協力を得た。なお、本目録は国文研の館長裁量経費(2022年9月～2023年3月)・特別経費(2023年4月～2025年3月)を財源とした「史料館別置典籍の目録・データベース化推進プロジェクト」の成果の一部である。本プロジェクトでは、戸越から立川への国文研の移転時に作成された、非公開の作業目録のままであった「特殊史料」に「史料館別置典籍」との名称を新たに付与し、検索手段を講じた。なお、本プロジェクトは本目録発行時点で未了であり、鶚軒文庫関係資料の補遺編(Web版)の作成を、今後、検討する必要があるが見込まれている。

---

## 総 目 次

---

口 絵

凡 例

総目次

鶚軒文庫関係資料目録 本文細目次…………… 1

解題

1. 鶚軒文庫関係資料について 解題（その1）…………… 3

2. 土肥慶蔵と鶚軒文庫について 解題（その2）…………… 9

3. 鶚軒文庫関係資料中の漢詩文類について 解題（その3）…………… 18

目録本文…………… 25

和漢書…………… 25

書画・拓本・写真…………… 72

古文書…………… 75

書状・手控ほか（土肥家）…………… 80

混入文書…………… 83

史料翻刻…………… 90 (1)





---

## 鶚軒文庫關係資料目錄本文細目次

---

1. 和漢書	25
1.1. 総記	25
1.1.1. 書目	25
1.1.2. 叢書	25
1.2. 哲学	27
1.2.1. 経子	27
1.2.2. 神書	30
1.2.3. 教育	30
1.2.4. 人相・占易	30
1.3. 法制	30
1.3.1. 政治	30
1.3.2. 法律	30
1.3.3. 経済	31
1.3.4. 社会	31
1.4. 史伝	31
1.4.1. 歴史・記録	31
1.4.2. 伝記・系譜	33
1.4.3. 武鑑	34
1.4.4. 兵書	34
1.5. 地理	34
1.5.1. 地誌・紀行	34
1.5.2. 地図	35
1.6. 文学・語学・字書	35
1.6.1. 国文学	35
1.6.2. 和歌	35
1.6.3. 草双子	35
1.6.4. 辞書・字典	35
1.6.5. 語学	37
1.6.6. 漢詩文	37
1.7. 医学・本草	70
1.8. 理学・博物	71

1.9. 芸術・諸芸	71
1.9.1. 金石	71
1.9.2. 音楽・歌謡	71
1.9.3. 碁・将棋・遊戯	71
2. 書画・拓本・写真	72
2.1. 書	72
2.2. 画	72
2.3. 拓本	73
2.4. 写真	74
3. 古文書	75
3.1. 福井藩	75
3.2. 福井藩士本庄家	75
3.2.1. 藩役務	75
3.2.2. 家	76
3.2.3. 近代	77
3.3. 福井藩士野坂家	78
3.4. 関家	79
4. 書状・手控ほか（土肥家）	80
4.1. 土肥慶蔵	80
4.1.1. 書状	80
4.1.2. 交友	80
4.1.3. 手控	81
4.2. 土肥健男	81
4.3. 書袋ほか	81
4.3.1. 新聞	81
4.3.2. 書籍管理	81
4.3.3. 白紙	81
5. 混入文書	83
5.1. 山城国乙訓郡菱川村文書	83

---

## 鵜軒文庫関係資料について 解題 (その1)

---

- 【史料群番号】 2024 A  
【史料群名】 がつけんぶん こかんけいしりょう  
鵜軒文庫関係資料  
【年代】 寛文5年(1665)～昭和3年(1928)  
【整理番号】 3197～3819(混入文書5レコードを含む)  
【レコード数】 688(混入文書5レコードを含む)  
【入手の経緯】 土肥慶蔵(生没年1866-1931)の没後、土肥家より三井合名会社へ譲渡、のち旧三井文庫、三井本社調査部戸越分室、三井不動産株式会社の管理を経て、1951～1954年にかけて文部省史料館に譲渡された。  
【役職等】 東京帝国大学医学部教授、漢詩人

### 1. 当館への伝来

昭和24年(1949)3月、国会で「史料館設置に関する請願書」が採択された。5月、文部省設置法が成立し、同法第九条により史料保存事業は「大学学術局の事務」として正式に始まった。三井不動産株式会社との交渉の結果、昭和25年度予算で、文部省は戸越の旧三井文庫の建物を購入した(藤實久美子, 2001)。購入時の条件は4点あった。本目録に関わるのは、その4点めである。引用すれば、「(三井)文庫内史料については、三井同族会〈ママ〉において処分方法を考慮」する(史料番号2013T/A1-376「三井関係書類綴」のうち「三井文庫所蔵史料に関する件」(昭三八・二・六))。

その後の推移を時系列で示すと、昭和25年4月、文部省史料館は旧三井文庫内の史料から史料館残置分の選別を開始した。この作業の前提として、旧三井文庫の史料は三種類に分類されている。「△印国内保留、◎印加洲大学行、●印史料館存置分を含む(基本図書・参考図書・歴史史料等)」である(選別基準は不明)。同年8月中に「△印国内保留」を除き選別を完了、荷造りののち、10月中に「発送」を終えたという。「発送」とは「◎印」カルフォルニア大学バークレー校へのそれを指すのであろう(史料番号2013T/A1-378「三井文庫分離関係書類」のうち「三井文庫蔵書」)。この昭和25年の選別作業で、旧三井文庫の史料は出所ごとに、6つの塊として把握されている。(1)土肥鵜軒収集文書、(2)本居文庫、(3)浅見倫太郎収書文書、(4)今関天彫収集漢籍、(5)三井宗辰収集図書、(6)その他の図書、である(史料番号2013T/A1-378)。

土肥鵜軒収集文書の「△印国内保留」は「和漢医書 約5千部」と「江戸詩文集 約1万部」,「◎印」カルフォルニア大学行は「その他 約5千部」であった。なお、「和漢医書」には「東大 国史研究室」,「江戸詩文集」には「上野図書館」と赤鉛筆補記がある(補記の時期は不明)。「和漢医書」は東京大学附属図書館蔵4618冊,「江戸詩文集」は国立国会図書館蔵7898冊である。カルフォルニア大学蔵は2万8000冊。これにプラスすることの、第二次世界大戦前に譲渡された東京科学大学附属図書館蔵洋書1805冊・和

書 440 冊、当館所蔵資料が鶚軒文庫の総体である。つまり、昭和 25 年は鶚軒文庫分散の最大の画期であった。ただし、この過程で当館の鶚軒文庫関係資料はそれと認識されないまま、「●印史料館存置分を含む（基本図書・参考図書・歴史史料等）」に紛れ込んでいた。

「●印史料館存置分を含む」は、三井家同族会と文部省史料館の間で、5 年ごとに寄託・受託契約を更新した。昭和 36 年、三井家同族会から寄託期間満了後、旧三井文庫史料の返還を求められ、話し合いを持つとともに、文部省史料館では折半の対象史料について検討を重ねた。主たる折半の対象は「参考図書」についてであった（史料番号 2013T/A1-387「折半経過」(2)）。昭和 40 年、財団法人として三井文庫は再発足し、同 41 年 2 月 5 日三井十一家代表三井八郎右衛門と文部省史料館長須田八郎の間で覚書を取交している（史料番号 2013T/A1-380「覚書」）。

三井文庫との史料折半には、収蔵資料の点検作業がともなったから、鶚軒文庫関係資料の伝来に第二の画期をもたらす可能性があった。だが、この過程でも当館の鶚軒文庫関係資料は明確にそれと認識されることなく、「●印史料館存置分を含む」のなかにあった。その理由は、鶚軒文庫関係資料を収めた茶箱（口絵写真 9・10）などが歴史史料のなかに潜り込んでいたためと推察される。

本目録作成の直接的な契機になったという意味での伝来の画期は、平成 20 年（2008）の品川区豊町（戸越）から立川市緑町への国文学研究資料館の移転にある。史料館は、平成 16 年にアーカイブズ研究系として国文学研究資料館に統合されていたため、ともに立川に移転した。この移転事業に先立ち、平成 17 年から同 18 年にかけて、戸越の書庫や整理室に散在していた文書を「特殊史料」（史料群番号 9999）と総称し、移転用文書保存箱 119 個に詰め替えた。作業は山田哲好助教授、畠山典子事務補佐員（当時）が中心になって進めた（畠山，2007）。

鶚軒文庫関係資料は、戸越の史料館では、北館に主として茶箱 1 つに収めて、収蔵されていた。北館の史料館閲覧室・収蔵庫としての使用開始は昭和 52 年である（国文学研究資料館・史料館，1991，p.13 口絵写真 8）。旧三井文庫書庫から北館への移動も昭和 52 年であったことだろう。

茶箱（9999-箱番 22）には「元祖／誉之銘茶／山本山」「誉之銘茶／山城国郷之口／田丸屋」「3.95」「（東京中央郵便局消印）[ ] 郡田原村[ ] 潮見[ ] エ門様」「特殊資料／地下」の貼紙がある。茶箱内の資料は移転用文書保存箱に移され、新たに箱番号 78～83 を付与された。

移転準備のための概要調査によって「特殊史料」の全体像は把握できたものの、個別資料の出納対応は難しいまま、推移した。そこで 2022 年 9 月から、「特殊史料」に新しい名称「史料館別置典籍」を付与して、検索手段の作成を開始した。検索手段の作成にあたっては、明治元年（1868）以前成立の和書および大正元年（1912）以前成立の漢籍は IKBD（国文学研究資料館和漢古書書誌ファイルの入力データ作成のフォーマット）、図書は OPAC、古文書は収蔵歴史アーカイブズ用のフォーマットと、3 種類の DB を使い分けている。鶚軒文庫関係資料は IKBD と収蔵歴史アーカイブズへの項目の読み替えに拠った（本目録凡例を参照のこと）。IKBD を基本に据えた理由は、将来的に『国書データベース』に収載される可能性を無しとしないためである。

なお資料群の形成・伝来に関わる重要な情報、具体的には土肥慶蔵＜どひ／けいぞう＞の経歴、土肥慶蔵と三井家の関係を示す縁戚関係などについては、阿久津美紀「土肥慶蔵と鶚軒文庫について」（本

目録解題（その2）を参照されたい。

## 2. 整理の方針と内容

本目録では5つのサブ・フォンド（大項目）を設定している。

サブ・フォンド（大項目）1. 和漢書（レコード数 587）は、鶯軒文庫を形成した土肥慶蔵によって作成された、昭和4年（1929）の自筆稿本「鶯軒文庫蔵書目録 和漢書分類之部」（国立国会図書館所蔵、朝倉治彦監修・解説、2008、謝蘇杭「鶯軒文庫関係資料中の漢詩文類について」本目録解題（その3）という「昭和4年目録」）の分類に基づいて配置した。

鶯軒文庫の蔵書目録は土肥慶蔵による3本のほかに、昭和14年2月に旧三井文庫が作成した『鶯軒旧蔵本目録』上・下2冊（**口絵写真6**。三井文庫・国文学研究資料館に1冊ずつ架蔵されるが、両本ともに落丁がある）があるが、ISAD (G) の原則に基づき、所蔵者であった土肥慶蔵が形成した原秩序を尊重するため、昭和4年目録の「分類目次」に基づいて、サブ・フォンド（大項目）の下の項目（中項目、小項目）を設定することにした。中項目・小項目の一覧は表1「鶯軒文庫蔵書目録分類表」（昭和4年）に示したとおりで、典型的な和漢籍の目録編成とは趣を異にする。

表1 「鶯軒文庫蔵書目録分類表」（昭和4年）

	本目録中項目	本目録小項目
第一門	総記	(い) 書目（解題、著作者名録等）／(ろ) 叢書（字彙、類書、随筆、浅田本（甲）（乙）、石渡文庫本、越前志料本、錦屋窠翁遺書、古道人著述書
第二門	哲学	(い) 経子（経書、子類、哲学等）／(ろ) 神書、宗教、(は) 教育（学校、倫理、教訓等）／(に) 人相、占易（家相、墨色、禁厭等）
第三門	法制・経済・社会	政治、法律、経済、社会
第四門	史伝	(い) 歴史、記録／(ろ) 伝記、系譜／(は) 年表、年代記／(に) 武鑑／(ほ) 兵書、武家
第五門	地理	(い) 地誌、紀行／(ろ) 地図／(は) 江戸古地図
第六門	文学・語学・字書	(い) 国文学、小説／(ろ) 和歌、狂歌、狂文、俳諧、川柳、新体詩／(は) 草双子／(に) 稀書、複製会本／(ほ) 辞書、字典／(へ) 語学／(と) 欧和对訳書／(ち) 漢詩文／(り) 漢詩文雑誌／(ぬ) 漢文小説稗史〈一部、国立国会図書館蔵分だが本目録の中核でもある〉
第七門	医学・本草	〈東京大学附属図書館蔵分、本目録数点のため小項目は省略〉
第八門	理学・博物	数学、天文、理化、動植、地質鉱物、園芸
第九門	芸術・諸芸	(い) 書画、彫刻、印譜、金石、写真／(ろ) 泉貨／(は) 建築、工芸／(に) 音楽、歌謡／(ほ) 生花／(へ) 香茶、料理、化粧／(と) 碁将棋、遊戯、福引
第十門	雑誌・雑書	〈本目録にないため小項目は省略〉

旧三井文庫『鶯軒旧蔵本目録』は洋書、付録として土肥慶蔵追悼集などを収載する。登録番号は1～10292である。また、その「例言」に「一、この図書は、三井合名会社に於て昭和六年十二月土肥家より購入し、之を当文庫に寄託あり、同十二年九月三十日更めて同会社より当文庫へ移譲せられたるものなり。」とある。つまり、旧三井文庫『鶯軒旧蔵本目録』は鶯軒文庫の「総体」を示し、旧三井文庫への移

管の過程を記して重要である。

なおここで「総体」と記して、先の総体と区別したのは、本目録は、昭和4年目録・旧三井文庫『鶚軒旧蔵本目録』にはない資料を多く掲載することに結果しているためである。つまり、昭和4年目録のなかの近い内容の項目に、各資料を配置するという判断を目録編成者（藤實久美子）がおこなっていることをお断りしておく。なお、項目内で書名は50音順、同一書名は整理番号順に配列している。

サブ・フォンド（大項目）2. 書画・拓本・写真（レコード数29）も、昭和4年目録に基づいて、近い内容の項目に各資料を目録編成者の判断により配置した。なお、石田悟堂「（書状、歯痛強く延行のよし）」（整理番号 A2024-3502）は石田悟堂の書家としての側面から、書としてここに配した。

サブ・フォンド（大項目）3. 古文書（レコード数45）には、昭和4年目録の第1門「総記」（ろ）叢書のなかで「越前志料」（朝倉治彦監修・解説、2008、pp.30-36）、さらにその下部の「越前文書一括（未調）」に該当すると推察される古文書を配した。シリーズ・レベル（中項目）は福井藩、福井藩士本庄家、福井藩士野坂家、関家である。本庄家文書には明治期の『簿記学階梯』が一つのまとまりとしてある。なお、関家は一橋徳川家家臣と推定されるが、福井藩・土肥家との関係は現段階では不明である。

サブ・フォンド（大項目）4. 書状・手控ほか（土肥家）レコード数22は、土肥家を出所とする資料を収めた。数は少ないが、古書店、医学博士岡崎桂一郎、旧松江藩士松田敏の終身会入会に関わる一連の書状など、多彩である。本項目に関しては本目録解題（その2）も参照のこと。

サブ・フォンド（大項目）5. 混入文書（レコード数5）は、いずれも人生儀礼に関するもので、作成、宛名、人名情報に基づいて合理的に考えて、5.1. 山城国乙訓郡菱川村文書（『史料館所蔵史料目録』第63集、1996を参照）を出所とした。

### 3. 資料群の特徴と編成上の課題

先に記したデータ数から明らかなように、本目録に収載した資料の約9割は、昭和4年目録の主題（内容）分類目次に基づいて編成している。そこで、ここでは内容紹介の細部には立ち入らない。ここでは目録編成上の課題に触れつつ、資料群の特徴を記す。

（1）土肥慶蔵の筆跡は昭和4年目録などから明らかになり、「（鶚軒文庫日本詩文書目録草稿）」（整理番号 2024A-3740、**口絵写真1**）も確実に土肥慶蔵の自筆であると判断できる。サブ・フォンド（大項目）1. 和漢書のなかには、当然ながら、ほかにも土肥慶蔵の自筆本がある。今後、個別に検討してゆく必要がある。これに関して、写本の特性についての勝又基（2022）の提言は重要である。

（2）サブ・フォンド（大項目）1. 和漢書のなかで、もっとも数が多いシリーズ・レベル（中項目）は1.6. 文学・語学・字書で、ファイル・レベル（小項目）は1.6.6. 漢詩文である。1.6.6. 漢詩文のレコード数412を数える。一方、国立国会図書館には7898冊の漢詩文がある。二つの漢詩文「群」を比べると、当館蔵分は冊子体の資料が極端に少なく、数丁の仮綴じや数枚のバラ（綴じ外れを含む）の資料が多数を占める。仮綴じ、バラの資料への名称付与と、目録編成には難しさがともなう。そこで本目録では資料へのアクションの痕跡が多様であることに着目した（**口絵写真5**）。著者、読者（学修、校合、会読を含む）、批評者（詩会、唱和）が、それぞれの「場」で資料に残した痕跡を手がかりに編成を試みたのである（会読につ



いては前田勉，2012 参照）。

そのため，本目録の凡例「書誌注記」の「〈書〉：書入・校合注記など」に記したように，本文に対する墨書による「修正」，修正液の痕，欄外見出しなどを資料情報として採取した。これらの情報は著者・読者による資料へのアクションと推察される。同じく凡例に記したように本目録では，朱書，朱点，訓点の施し，欄外批判，評価印（甲乙丙・点数など），○印評価，批語などを資料情報として採取した。これらの情報は批評者（師範・衆議）による資料へのアクションと推察される（詩会については合山林太郎，2017 参照）。この批評者のアクションは，著者による「伏乞／正」としばしば対をなす（「（詩稿元日／破格用人論ほか）」整理番号 2024A-3535 ほか）。なお，著者拝語（拝・再拝・再々拝・九拝）の情報は採取していない。

本目録で，もうひとつ着目したのは用紙情報である。凡例「書誌注記」の「〈形〉：形態注記」に記したように，用紙の情報を細かに採取した。これをもって一連の一作品と，雑多なものを集めて綴じた雑集を見極める基準とした。

本目録での書名付与（記載書名がない場合におこなった付与）では，当面の基準を設けた（表 2「詩稿・詩文／詩抄・詩集・雑集の違い」）。詩稿は著者・読者・批判者の関わりが想定され，詩文・詩抄は著者または読者の関わり，詩集は読者の関わりが多い傾向があるとして，書名を付与したのである。雑集は先に記したように内容・痕跡は雑多で，種別の縛りはないため，形態によって判断した。数種類の用紙（罫線・無地紙の混用，色・行数が異なる数種類の罫紙の混用など）を用いている場合に雑集とした。

表 2「詩稿・詩文／詩抄・詩集・雑集の違い」

種別	修正	修正液痕	切紙修正	見出し	訓点	朱書	朱点	批判	評価 (甲乙…)	批語
詩稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
詩文／詩抄	○	○	○	○	○		○			
詩集				○	○	○	○			
雑集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\* 註 無地は著者，地グレーは読者・批評者の痕跡をあらわす。

上表の種別について厳密性を徹底することはできなかった部分があるが，資料に残された痕跡から，現用段階での詩稿の複数の機能（自己表現，席題・兼題への回答，学修，批評，「場」の共有など）を復元的に考察する契機，「詩会の史料学」につながることを今後に期待したい。これに関連して，謝蘇杭「鶚軒文庫関係資料中の漢詩文類について」（本目録解題（その 3））は詩会交流，医家と漢詩文，土肥慶蔵の学修と雑書（叢書，辞典・字典）について考察している。

ところで，土肥慶蔵はなぜ多くの漢詩文を所蔵できたのか。ひとつは古書店からの購入である。「文淵」（東京の文淵閣浅倉屋吉田久兵衛，整理番号 2024A-3729「雑集 侯鯖録ほか）」ほかの書籍商の介在である。加えて，阿久津美紀「土肥慶蔵と鶚軒文庫について」（本目録解題（その 2））は温故堂文庫ほかの団体や，本城問亭ほかの文人よりの，鶚軒文庫への蔵書移転についても述べている。

（3）凡例「書誌注記」の「〈形〉：形態注記」で，罫紙についての情報を記したことは，すでに述べたが，

例えば「11 行黒色野紙・「学問所」用箋」などで情報をまとめれば、作成時期からグルーピングできる可能性がある。だが、今回はその分析には至らなかった。このほか、薄葉紙（添削の最終段階カ）などの情報を採取する余裕がなかった。これらも今後の課題である。

(4) 本書凡例の項目 3 で、「『国書データベース』に、広い意味での鵜軒文庫関係資料の一部がすでに収載されている」という表現を用いた。これは、『三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録』のなかに鵜軒文庫関係資料が含まれるという意味である。例えば、『越前人物志目録』（整理番号 X0344-004, 国文学研究資料館・史料館, 2001, p236, <https://doi.org/10.20730/200018033>）には、鵜軒文庫蔵書ラベルが貼付されている。『越前人物志目録』は昭和 4 年目録および旧三井文庫作成『鵜軒旧蔵本目録』にも掲載されている（朝倉治彦, 2008, p.31 および p.11）。『勝山在善虫記』には旧三井文庫で付した鵜軒文庫専用カード（**口絵写真 7**）と同じスタイルのカードが挟込まれている（整理番号 X0423-003, 国文学研究資料館・史料館, 2001, pp.372-373）。この鵜軒文庫専用カードについては本目録解題（その 2）（その 3）でも触れている。つまり、『三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録』に鵜軒文庫が含まれていることは確実である。このほか、『三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録』編成時から、資料の後ろ表紙に貼付されている小札など（「昭和〇年〇月〇日寄託」・「昭和〇年」印, 第 74 集**口絵写真**）が気にかかっていた。今次、昭和 4 年目録および旧三井文庫作成『鵜軒旧蔵本目録』を眺めると、『三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録』の記載と武鑑の孤本（**口絵写真 6**）ほか多くの一致をみる。小札などは三井合名会社による整理と関係していよう。鵜軒文庫の本当の総体は凡例の最後に記したように、当館分についての今後の解明にも委ねられている。

（藤實久美子）

#### 【検索手段】

国文学研究資料館・史料館『史料館所蔵史料目録』第 74 集（2001）

国文学研究資料館学術資料部『史料目録』第 121 集（本目録）

#### 【同一出所資料の存在〈現段階での把握に基づく〉】

東京科学大学附属図書館, カルフォルニア大学バークレー校, 東京大学附属図書館, 国立国会図書館

#### 【参考文献】

朝倉治彦監修・解説, 2008, 『書誌書目シリーズ 88 鵜軒文庫蔵書目録』上・下, ゆまに書房

勝又基, 2022, 「写本文化としての日本近世」『明星大学研究紀要〔人文学部・日本文化学科〕』30

合山林太郎, 2017, 「文人の「会」や交流②」河野貴美子ほか編『日本「文」学史』2, 勉誠出版

国文学研究資料館・史料館, 1991, 『史料館の歩み四十年』

東京大学附属図書館 HP「（常設展：2004 年 3 月）鵜軒文庫について」

畠山典子, 2007, 「特殊史料について」（館内限定公開）

藤實久美子, 2001, 「三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録解題」史料館所蔵史料目録第 74 集『三井文庫旧蔵資料〈袋綴本〉目録』

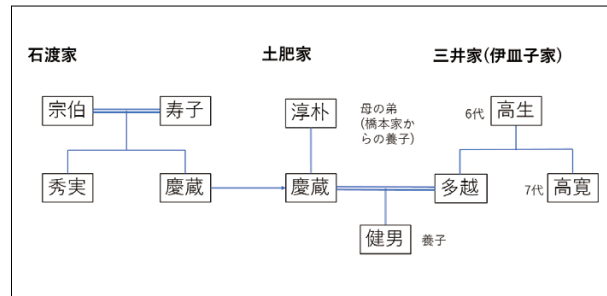
前田 勉, 2012, 『江戸の読書会』平凡社

〔謝辞〕公益財団法人三井文庫の小島由記子司書, 下向井紀彦主任研究員, 松浦智博研究員に調査時にご協力を賜りました。また国文学研究資料館研究部の山本嘉孝准教授にご助言を賜りました。ここに感謝の意を表したいと思います。

## 土肥慶蔵と鶚軒文庫について 解題（その2）

### 1. 土肥慶蔵の経歴

土肥慶蔵〈どひ／けいぞう〉（旧姓石渡慶蔵）は、慶応2年（1866）6月9日に越前武生の藩医石渡宗伯と母寿子（越前鯖江舟津宮神主、橋本政貞長女）の二男として、福井県越前府中松原（現、福井県越前市）に出生した。明治13年（1880）、郷里で小学校を卒業した土肥は、兄の秀実と共に上京し、東京外国語大学でドイツ語を学び、同年11月には東京帝国大学医学部予科で学ぶこととなり、その5年後に東京帝国大学医学部本科生となった。図1は「土肥慶蔵に関する系図」を示したものである。明治22年には母の弟で土肥家の養子になっていた淳朴〈じゅんぱく〉の養嗣子として、土肥家に入籍した。そして、明治35年には三井、伊皿子家6代目の高生の次女であった多越と結婚し、後年に養子として健男を迎えている。



【図1】土肥慶蔵に関する系図

大学卒業後、直ちに東京帝国大学附属第一医院外科医局に入り、ユリウス・カール・スクリバ（Julius Karl Scriba）の助手となった土肥は、明治24年大学院に入学、外科一般及びハンセン病の病理、療法を研究した。翌年、大学院を退学し、欧州に留学する。渡欧した土肥は、ハイデルベルグ大学に入り、諸学科の補習をおこない、その後ウィーン大学に入学した。当初外科を学ぶための留学であったが、欧州滞在中に東京帝国大学医学部外科・皮膚科教授の宇野朗〈うの／ほがら〉から「皮膚科に転向せよ」との連絡を受け、皮膚科へと転向した。ウィーン大学では、モリッツ・カボシー（Moritz Kaposi）に皮膚科学を学び、その後パリ大学に転じ、フィリックス・ギュイヨン（J.C. Felix Guyon）から学び、泌尿器科学を修めると明治31年に帰国した。

帰国後の土肥の活動の詳細については、表3「土肥慶蔵年表」に示しているとおりである。表3は土肥慶蔵先生生誕百年記念会編（1967）を参考に作成している。明治31年、土肥は東京帝国大学医科大学助教授に任ぜられ、皮膚病徴毒学講座の担当になり、同年には東京帝国大学教授になった。明治32年には、吉原貸座敷業者組合病院長に就任し、明治33年には日本皮膚科学会、明治40年には日本花柳病予防会を設立し、昭和6年（1931）11月に亡くなるまで、性病無料診療所を設置し、性病予防にも尽力した。

この間の大正10年（1921）に刊行された『世界徴毒史』は、徴毒の起源について石器時代からの考察を土肥が国内外で収集した文献や史料からまとめたもので、その後、『世界徴毒史』は土肥の教え子で、岡山医科大学、九州帝国大学皮膚科教授でもあった皆見省吾〈みなみ／せいご〉によってドイツ語に翻訳されている。

【表 3】土肥慶蔵年表

和暦	西暦	月	日	年齢	
慶応 2 年	1866	6	9	0	越前武生、藩医五世石渡宗伯氏二男として、福井県越前府中松原に出生（母寿子刀自、越前鯖江舟津宮神主、橋本政貞長女）
明治 4 年	1871	4		6	郷里の進修小学校に入学
明治 12 年	1879	3		14	小学校卒業
明治 13 年	1880	4		15	兄秀実と共に上京
明治 13 年	1880	5			下谷進学舎に入学、独逸語を研修
明治 13 年	1880	9			東京外語学校に入学
明治 13 年	1880	11			東京大学医学部予科へ入学
明治 18 年	1885			20	同予科を卒へ医学部本科生となる
明治 22 年	1889	8	20	24	叔父土肥淳朴氏養嗣子として入籍
明治 24 年	1891	7		26	東京帝国大学医科大学卒業、直ちに附属第一医院外科医局に入りスクリバ氏の助手となる
明治 25 年	1892	3		27	大学院に入学、外科一般及びハンセン病の病理、療法を研究する
明治 26 年	1893	3		28	大学院退学
明治 26 年	1893	5			欧州へ留学のため出発
明治 26 年	1893	7			ハイデルベルグ大学に入り、籍を学生に列し諸学科の補習をする
明治 27 年	1894	1		29	オーストリア、ウィーン大学に入学、カボシー氏に皮膚科学、ラング氏に黴毒学、グリユンフェルド氏に尿道鏡実習、バルタウフ氏に病理解剖学を学ぶ
明治 29 年	1896	6		31	ブレスラウ大学ナイセル氏教室に転じ、研究する。この前後ヨーロッパの諸大学を歴遊
明治 30 年	1897	1		32	パリ大学に転じ、泌尿器外科を修める
明治 31 年	1898	1		33	帰朝
明治 31 年	1898	2	19		東京帝国大学医科大学助教授に任じ高等官七等に叙せられ、皮膚病黴毒学講座担任を任ぜられる
明治 31 年	1898	6	28		東京帝国大学教授に任ぜられる
明治 32 年	1899	3			吉原貸座敷業者組合病院長に就任
明治 33 年	1900	12		35	日本皮膚科学会を設立し、会長となる。以後、27 年間在任
明治 34 年	1901	12		36	義父淳朴氏死亡により戸主となる
明治 35 年	1902	3	6	37	三井高生氏の娘・多越（明治 10 年 11 月 7 日生まれ）と結婚
明治 35 年	1902	4	19		英国エドワード七世陛下戴冠式に差遣せられた彰仁親王殿下に随行し、再び渡欧
明治 35 年	1902	9			帰朝
明治 35 年	1902	12			ウィーン皮膚科学会評議員に推薦
明治 36 年	1903	3			ベルリン皮膚科学会より評議員に推薦
明治 37 年	1904				陸軍衛生部補助勤務として傷病兵救護に従事
明治 38 年	1905	3		40	吉原病院長を辞任
明治 38 年	1905	10			中央衛生会委員に任命
明治 40 年	1907	1		42	海軍軍医学校の皮膚病及び黴毒学教授の嘱託となる
明治 40 年	1907	3			同士と語り日本花柳病予防会を創立し、自ら主宰となる
明治 43 年	1910	7			ブリュッセル市における万国ラジウム学会、ケーニヒスベルク市における万有学会、ベルリン、ウィーン、パリの皮膚科学会に参加
明治 44 年	1911	7		46	帰朝
大正 13 年	1924	11		59	性病無料診療所を設置し、性病予防会の使命達成に努力

和暦	西暦	月	日	年齢	
大正 14 年	1925	9		60	レーニングラードにおけるロシア学士院 200 年祭式典に参列
大正 14 年	1925	10			国際花柳病予防協会第二回総会に参加
大正 15 年	1926	1		61	米国を経て、帰朝
大正 15 年	1926	6	9		東京帝国大学教授を退官
大正 15 年	1926	10			東京帝国大学名誉教授となる
昭和 3 年	1928	7			日本性病予防協会押上簡易診療所開設、院長として就任
昭和 6 年	1931	11	6	66	麹町自邸にて死去。智徳院殿松誉寿光願軒大居士
昭和 6 年	1931	11	10		青山斎場において葬儀及告別式を行い、幡ヶ谷火葬場で荼毘に附された。遺骨は多磨墓地及び郷里丸岡町白道寺に分納

参考文献：土肥慶蔵先生生誕百年記念会編『土肥慶蔵先生生誕百年記念会誌』土肥慶蔵先生生誕百年記念会，1967，p.104-109

## 2. 古道人総生入門と号「鶚軒」

明治期の日本の医学界を牽引する一方で、土肥は十代の頃から漢学者の古道人総生（こうどうじん／ふさお）に漢文を習い、漢学にも造詣が深かった。古道人総生は、下総国下埴生郡田川村（現、茨城県稲敷郡河内町）の出身で、本名を岩橋寛（いわはし／かん）といい、神田錦町の狭い路地の裏店に「詩文添削、古道人総生寛」という看板をかけて漢学を教えていた。

当時東京帝国大学の予備門生であった土肥は、自らに漢学の素養がないことを「平生苦」にしており、それまでに独学もし、2,3の漢学塾の門を叩いたことがあるものの、良師に出会えず、すぐにやめてしまった事を薄志弱行であると恥じていた（土肥慶蔵，1927）。束脩料 1 円，月謝 1 円 50 銭を払い、古道人総生の門人となった土肥は、古道人から漢文の指導を受けつつ、自ら漢詩文に関する書籍を収集するなど関心を深めていった（同上）。

土肥の号「鶚軒」は、はじめに土肥が古道人総生に「堂号」を所望し、「鶚鷺堂」が授けられた。しかし、雅号は土肥本人がこれを転化して「鶚軒」とした。以後、様々な著作名などにおいても「鶚軒」と雅号のつくものが散見されるようになる。「鶚軒」の「軒」という文言については、「軒岐」という意味もあり、それは中国古代の伝説上の帝王、黄帝「軒轅」と「岐伯」を指し、当時の人民に文化的な生活を享受させるために、薬草を試用し、人民に医術を教え施した医学の元祖、転じて医学そのものを指していた（志麻三十四，2012）。

## 3. 鶚軒文庫目録「函架段行」と目録作成の協力者

土肥の収集した収蔵本に関する目録は複数存在している。全ての目録を取り扱うことは紙幅の関係上できないため、ここでは、土肥自身がまとめた「鶚軒文庫蔵書目録 和漢書分類之部」（国立国会図書館所蔵、朝倉治彦監修・解説，2008，謝蘇杭「鶚軒文庫関係資料中の漢詩文類について」本目録解題（その3）でいう「昭和4年目録」と、土肥の死後、その蔵書や資料を譲り受けた旧三井文庫が作成した『鶚軒旧蔵本目録』に着目する。

昭和4年目録は、「鶚軒文庫蔵書目録」「土肥家用紙」と印刷された罫紙にかかれており、第一門から

第十門に分類されている。分類項目は、第一門の「総記」に始まり、「哲学」、「法制」、「史伝」、「地理」、「文学」、「語学、字書」、「医学、本草」、「理学、博物」、「芸術、諸芸」、「雑誌、雑書」となっている。各分類項目は「いろは」順に詳細な分類がなされている。

「土肥家用紙」には、「書名」、「著訳編者刊行年月」、「装釘形状」、「冊数」、「函架段行」、「番号」、「備考」の項目がある。このうち「函架段行」には、蔵書を配列していた箱や棚の場所が記されている。

例えば、第一門「総記」「(い)書目」の冒頭にある「足利学校珍書目録」は「一、一、七」と記載されている。配架場所が未記入のものもあるが、多くの蔵書に配架場所が記入されている。第六門「文学、語学、字書」「(は)草双紙」の多くは「函架段行」が「鎌倉」となっている。ここからは、土肥が鎌倉に所有していた別荘に娯楽要素を含む草双紙が多く置かれていたことが推察できる。なお、第六門「(に)稀書複製会本」では、「装釘形状」に「小」、「大」などの形状だけでなく、「83×56」などの縦横の長さを記入している。これは他の分類項目とは異なっている。

昭和4年目録の作成にあたっては、土肥は数人の助けを得ていた。東京帝国大学史料編纂掛に勤務していた鈴木圓二〈すずき／えんじ〉や越前人物志の著者でもある福田菱洲〈ふくだ／びっしゅう〉(源三郎、後述)、詩家の結城蕃堂〈ゆうき／ちくどう〉からは図書の整理、編次等について支援をうけていた。また実際の作業は当時、第一高等学校の学生であった鈴木弥吉〈すずき／やきち〉が手伝っており、絶えず助言を与えてくれる人物として詩人の岩溪裳川〈いわたに／しょうせん〉をあげている(土肥慶蔵、1932、上巻、p.45)。

#### 4. 鵜軒文庫の旧蔵団体と旧蔵者

土肥の死後、鵜軒文庫は三井合名会社に購入され、旧三井文庫に移譲された図書や資料に関する目録が旧三井文庫編『鵜軒旧蔵本目録』である。『鵜軒旧蔵本目録』は、昭和14(1939)年2月に旧三井文庫から上下巻で刊行されており、これら土肥慶蔵旧蔵図書の中でも詩文に関するものを中心としている。旧三井文庫編『鵜軒旧蔵本目録』は登録台帳としての役割をもち、正本一部と副本二部が作成され、国文学研究資料館が収蔵している『鵜軒旧蔵本目録』上下巻は、この副本であると考えられる。その蔵書の登録番号は10,292番までである。

当館蔵の鵜軒文庫関係資料は、戸越から立川への移転を経て、現在、文書保存箱6箱に収められており、多くは漢詩文であるが、古文書や軸物なども含まれている。土肥を宛名にしている書簡などもある(本目録解題(その1)藤實久美子「鵜軒文庫関係資料について」参照)。

ところで、土肥がどのような方法で漢詩文ほかを収集していたのかは、購入日誌などがないため、その詳細は不明である。しかしながら、昭和4年目録および『鵜軒旧蔵本目録』からは、蔵書が様々な人の手を経て、土肥の元にたどりつ

【表4】鵜軒文庫旧蔵団体一覧

温故堂文庫旧蔵
阿波国文庫旧蔵
新発田道学堂(新発田藩邸学問所)旧蔵
庄内藩致道館旧蔵
日知館(久保田藩邸)文庫旧蔵
正光菴旧蔵
和学講談所旧蔵
克明館文庫旧蔵
伊予菅生山大宝寺旧蔵
養安院旧蔵
医学館旧蔵



たことがわかる。表4「鶚軒文庫旧蔵団体一覧」・表5「鶚軒文庫旧蔵者一覧」は、旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』を参考にして、土肥が収集した「鶚軒文庫」に含まれる蔵書本の元の持ち主を表にまとめたものである。

旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』の項目「越前志料」には、『越前家分限帳』『越知神社文書』（山田秋甫編）『越前人物志目録』などが集録されている。どのような経緯で土肥が越前志料を収集したのかは不明であるが、「越前志料」の編者福田菱洲は、土肥が収集した蔵書の目録を作成する際に意見を仰ぐなど近い関係だった（前述）。福田菱洲は、福井市の商家に生まれ、幼いころより学問を好み、土肥が記した『鶚軒游戲』（1927）にも記述が残されており、伴閑山や河津琴屋等に学び、郷土の歴史を後世に伝えることを目的に「越前志料」を編纂していたのである。

表5中の「浅田宗伯遺書・旧蔵」は、浅田宗伯〈あさだ／そうはく〉の旧蔵本である。『栗園文存』2冊、『栗園余草』4冊など

は国立国会図書館に鶚軒文庫として所蔵されている。『栗園雑抄』は、自筆本が東京大学附属図書館に収蔵されている。旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』中に集録されていたものも原稿であるので、土肥慶蔵の所蔵していた「浅田宗伯遺書・旧蔵」本と合致すると考えられる。

「重野成斎（安繹）〈しげの／せいさい〉旧蔵」は『皇朝世鑑』や『大日本編年史』を編纂した重野成斎の旧蔵本である。『新井氏献本目録（写）』『吾園隨筆』などが、旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』に掲載されている。

【表5】鶚軒文庫旧蔵者一覧

喜多村直寛旧蔵	内野皎亭旧蔵	山田業精旧蔵
重野成斎（安繹）旧蔵	越智雲夢旧蔵	元政上人旧蔵
朝夷文庫旧蔵	一萬田壽章旧蔵	松平勝長旧蔵
浅田宗伯遺書・旧蔵	伊澤文庫旧蔵	細野要齋旧蔵
猪飼敬所遺書	谷干城旧蔵	平出延齡旧蔵
尚志齋旧蔵	藤森弘庵旧蔵	馬島杏雨旧蔵
松平家旧蔵	大沼枕山旧蔵	西村藐庵旧蔵
本城問亭旧蔵	大田南畝旧蔵	澁江拙齋旧蔵
野中氏旧蔵	向山黄村旧蔵	松廼舍文庫旧蔵
黒川文庫旧蔵	細井廣澤旧蔵	中島棕隱旧蔵
富士川氏旧蔵	吉井友實旧蔵	人見元徳旧蔵
屋代弘賢旧蔵	西村天囚旧蔵	森枳園旧蔵
藤森弘庵旧蔵	木崎好尚旧蔵	多紀桂山旧蔵
内藤耻叟旧蔵	尾藤水竹旧蔵	森立之旧蔵
根本通明旧蔵	佐藤硯湖旧蔵	村瀬立策（立斎）旧蔵
長井江旧蔵	寺田望南旧蔵	青山道醇旧蔵
正志齋旧蔵	伊勢貞丈旧蔵	山田業廣旧蔵
今尾清香旧蔵	柴野栗山旧蔵	奈須恒徳旧蔵
青山延于旧蔵	大谷木純堂旧蔵	色川三中旧蔵
橋本景岳旧蔵	恵美三白旧蔵	岡田滄海旧蔵
林春徳旧蔵	福知山饗旧蔵	平出延齡旧蔵
岡崎蘭馨旧蔵	洒竹（大野洒竹）文庫旧蔵	清川喜軒旧蔵
皆川良礎旧蔵	衣笠豪谷旧蔵	多納鉄藏旧蔵
吉田稱意庵旧蔵	藤波言忠旧蔵	蒔田雁門旧蔵
鈴木晴峰旧蔵	山縣周南旧蔵	市河米菴旧蔵
林讀耕齋旧蔵	横井時冬旧蔵	越前武生皆川氏旧蔵
邨岡良弼旧蔵	今村了庵旧蔵	木村孔恭旧蔵
浅香文庫旧蔵	元田南豊旧蔵	如不及齋旧蔵
頼山陽旧蔵	齋藤拙堂旧蔵	穂積重嶺旧蔵

「本城問亭旧蔵」は、本城問亭〈ほんじょう / もんてい〉の旧蔵書である。本城問亭は、福井県三国町の人で、三島中洲、のち重野成斎に師事した（近藤春雄，1985，pp.608-609）。旧三井文庫編『鵜軒旧蔵本目録』には、『近思録集解』（葉采）万治2年（1659）、『経学要字箋』（穂積以貫）享保16年（1731）、『鴨崖頼先生一日百詩』（頼醇）元治元年（1658）などが掲載されている。「本城蔵書」印が押印された資料、本城問亭「（蔵書目録）」（2024A-3271ほか、**口絵写真2**）が本目録に一部含まれている。

このように昭和4年目録および旧三井文庫編『鵜軒旧蔵本目録』からは、鵜軒文庫が様々な収集家たちの旧蔵書を継承するようにして形成されたことを確認できる。

## 5. 旧三井文庫の鵜軒文庫整理カード

本目録に収載した資料のうち31点には、戦前の旧三井文庫が作成した「鵜詩文」「鵜総」などと印刷・書き入れ・押印され、いくつかには番号が書き入れられたカード（白い長方形の紙、**口絵写真7**）が挟まれていた（【表6】「戦前の旧三井文庫作成カード記載事項一覧」参照。なお、表中の番号は本目録の整理番号）。これらは、昭和58年（1983）度科学研究費（海外学術調査）の調査報告として刊行された「カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目録稿」にも分類番号として、同様に表記されている。

【表6】戦前の旧三井文庫作成カード記載事項一覧

番号	分類	カード内容	枚数	番号	分類	カード内容	枚数
3817	鵜総	入湯出立ヨリ諸入用留帳写	1	3483	鵜詩文 一七五一	怒軒文鈔 二編 ニアリ	1
3816	鵜総	入湯覚書	1	3295	鵜総	単複記簿大帳	1
3815	鵜総	御国村銘以呂波分ヶ帳 写（安政4）1冊	1	3294	鵜総	単複記簿日記帳	1
3814	鵜総	《櫻田門事件書付》	1	3293	鵜総	聚集録写（安政3）1冊	1
3813	鵜総	天保九年戌春切米并御合力共渡 方小以帳	1	3292	鵜総	善光寺参詣夫ヨリ江戸見物致シ中 仙道并岐阜嶋大智坊ニテ目療治共 諸入用仕訳帳  （安政6）	1
3812	鵜総	《安政六年》未六月御開港ヨリ申 閏三月迄入港各国 左之通	1	3291	鵜総	家屋舗土蔵買求諸入用覚帳	1
3810	鵜総	土蔵古物建方諸事覚帳 銀渡請取帳 （安政6 野坂亀三郎記）	1	3288	鵜総	字音仮字	1
3809	鵜総	野坂土蔵入用帳	1	3287	鵜総	御布告写覚 写1冊	1
3808	鵜総	天保八西暮切米并御合力役料物 成共小以帳	1	3286	鵜総	《御布告写》	
3807	鵜総	（表） 安永八年七月小役人跡目之事 （裏） 上宮皇太子憲法十七条御式目 文化十四年十一月七日御用人中覚 書之内御大	1	3285	鵜総	金禄御改正ニ付願  演舌書  禄制御改正ニ付再伺	3
3806	鵜総	火薬の吟味	1	3284	鵜総	安政四巳年御書付之写	1

番号	分類	カード内容	枚数	番号	分類	カード内容	枚数
3805	鶺鴒 (400)	元文元辰十月五日被仰出候御書付 左之通 明和元年八月御家老中被申し渡覚 安永八亥七月小役人跡目之事 安永得十巳三月御国ヨリ申来ル  御触 諸役方	2	3283	鶺鴒	福島県下岩代国耶摩郡磐梯山噴火 一件	1
3489	鶺鴒詩文 1204	艮齋文略 上巻、中巻 ニアリ	1	3282	鶺鴒	大御番筆頭舊記書拔	1
3487	詩文 二四九七	中洲文稿 第一集中ニアリ	1	3281	鶺鴒	浦賀与力合原悦蔵ヨリ聞書	1
3486	鶺鴒詩文 九〇六	敬字文集 巻十 三丁ニアリ	1	3280	鶺鴒	中仙道中記	1
3484	鶺鴒詩文 二二八九	息軒遺稿 巻二 四三・四四丁 ニアリ	1	3811	鶺鴒	算料局会日寄日昼後ト候処御勘定 所勤之族ニ而者役所出勤日ニ相障 候分不少ニ付当午春ヨリ左之通相 勤之輩ニ限会日御規定相成候事 (安政5)	1

## 6. 土肥慶蔵の書籍収集と古書店

古本屋巡りに同行していた門下生の上林豊明〈かみばやし / とよあき〉は、土肥慶蔵の収集についてこのような言葉を残している。

其当時先生の注意を払われた書籍は第一には黴毒史の材料方面であり、第二には詩集類であった。第一の黴毒史の材料はその当時は既にかなり多数に蒐集して居られて、主として稀覯のものの方に注目されていた様であった（上林豊明，1938）。

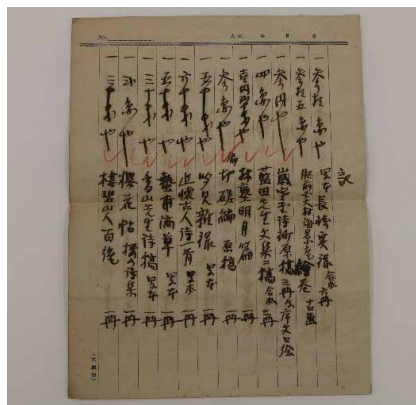
昭和6年（1931）に土肥が発刊した最後の著書となった『乙丑周遊記』には、日本だけでなく、イギリスやスペインなどからも、黴毒に関する資料を収集していた様子がみえる。土肥慶蔵「黴毒起源に関するイスパニア古文書の探索旅行」（1928 a）は、黴毒起源に関する古文書を収集する過程を綴ったもので、その探索は大正10年（1921）に出版された『世界黴毒史』を準備する資料収集旅行であったと考えられる。

しかしながら、古本屋を巡って資料を収集するのは頻繁におこなっていたわけではなく、晩年に書かれた「日本人の詩文集」の中では、土肥自身がつぎのように記している。

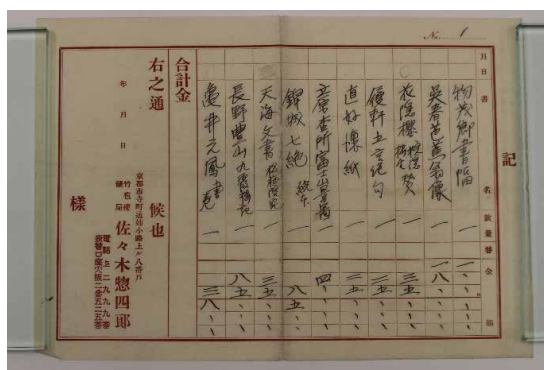
平生多忙なので、古本屋に立寄つて、珍本を漁るといふような心に落ちつきがなく、大体に於て書林から廻して呉れるのを、坐りながら待ちうけると云ふ態度の爲めに、蒐集に遺漏の多いのは已むを得ない（土肥慶蔵，1928 b）

ここからも、古書店から書籍や資料のリストを送ってもらい、そこから選択して購入していた様子がわかる。以下、本目録収載資料2点をまず紹介したい。本目録末尾に全文翻刻を掲載しているので、適宜、参照されたい。

【整理番号 2024A-3213】(右の写真)「記(東京永森直次郎作成の金額／書籍名／冊数書上)」は、大正6年4月3日に東京市本郷区春木町で古書店を経営していた永森直次郎から「土肥」宛に送られた書籍目録である。書籍の値段、書名、写本か否か、冊数が書かれている。実際に土肥が購入した書籍がどのくらいあったかについては、不明である。



【整理番号 2024A-3214】(右の写真)「記(京都竹苞楼銭屋佐々木惣四郎作成の書籍名／冊数／金額書上)」は、書名、数量、金額が書かれており、現在も経営を継続している書店の「京都市寺町通姉小路上ル八番戸 竹苞楼銭屋佐々木惣四郎」の罫紙に書かれていることから、書籍や資料を購入するための目録を京都からも送ってもらっていたことも確認できる。



【写真】現在の京都竹苞楼の様子(筆者撮影)

り孰れを棄て孰れをを救はうと云う気にはなれず寧ろ全部を同じ運命に委ねることに決め居候処、二日の夕方より雨と降り来る火の子の中に立ちて消防の手配中不図階上を見上げたる刹那には恰も親友に決る如き一種の悲哀電火の如くに脳底を通過致し候(土肥慶蔵, 1932, 上巻, pp.52-53)

土肥は大震災の混乱のなかに、どの蔵書を捨て、どの書籍を救うのか判断をつけることはできないと考え、全てを運命に委ねたが、結局資料は震災の被害から逃れることができた。

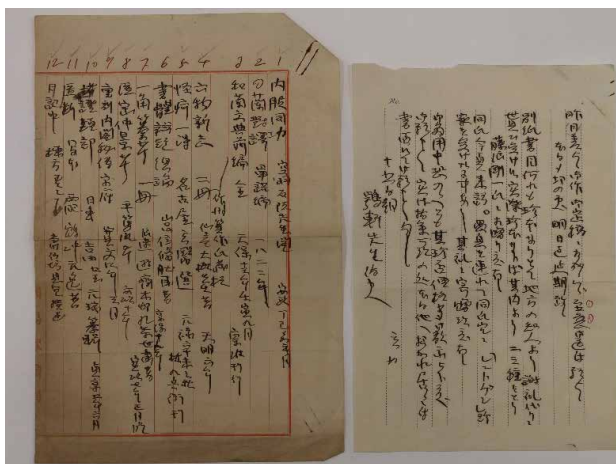
大正12年9月1日の関東大震災は、土肥の住んでいた東京市麹町区にも甚大な被害をもたらした。震災当時、麹町の自宅にいた土肥は、自動車で東京帝国大学に駆けつけて、入院患者や職員の無事を見届け、負傷した同僚を家まで送り届けた。後に土肥は大震災の様子を振り返っている。

我家の三階には多年の丹精によりて蒐め得たる日本詩文集若干あり、復たと獲がたき愛翫に有之然るに地震の際、架上より飛び出したる乱堆中より

## 7. 頼りにされた土肥慶蔵の書籍知識

本解題を締めくくるにあたり、本目録収載資料1点を紹介したい。やはり、本目録末尾に全文翻刻を掲載しているので、適宜、参照されたい。

【整理番号 2024A-3215】(右の写真)「(書状、御定稿ニ付至急御送り願上げる旨および珍本書上)」は、土肥に知人から届いた手紙である。手紙は、この知人が息子のレントゲン診察への礼に珍本を藤浪剛一〈ふじなみ こういち〉(日本初の放射線科医で、慶應義塾大学医学部放射線科学教室初代教授)に贈りたいので、書籍リストにある12冊から珍本を2、3冊見繕って欲しいとの依頼



である。また珍本か否かにかかわらず、書籍の価格についてもご教示願いたいと手紙には書かれている。候補としてあげられた書籍のなかには、日本語と蘭語の対訳書や、薬学書、医学書が列挙してあった。実際に土肥がどういった返事をしたのかは不明のため、リストからどの書籍を選んだのかはわからない。だが、周囲の者が土肥の豊富な知識を頼り、書籍についての助言の提供を依頼したことがわかる史料といえる。(阿久津美紀)

### 【参考文献】

- 上林豊明, 1938, 「古本漁りの先生」『鶚軒先生追懷文集』戊戌会, p.302
- 近藤春雄, 1985, 『日本漢文学大事典』明治書院
- 志麻三十四, 2012, 「温故知新 (11) 巨星の死と雅号「鶚軒」の由来」『性の健康』, p.41
- 土肥慶蔵, 1927, 『鶚軒游戲』改造社
- 土肥慶蔵, 1928 a, 「黴毒起源に関するイスパニア古文書の探索旅行」『体性』10-3
- 土肥慶蔵, 1928 b, 「日本人の詩文集」『文芸春秋』6 (1), pp.14-15
- 土肥慶蔵, 1929, 『鶚軒文庫蔵書目録 和漢書分類之部』(手稿, 国立国会図書館蔵)
- 土肥慶蔵, 1932, 『鶚軒先生遺稿』上下巻, 戊戌会
- 土肥慶蔵先生生誕百年記念会編, 1967, 『土肥慶蔵先生生誕百年記念会誌』土肥慶蔵先生生誕百年記念会
- 長谷川強, 渡辺守邦, 伊井春樹, 日野龍夫, 小倉親雄, 1984, 「カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目録稿」『国文学研究資料館調査研究報告第5号』pp. 340 (1) -261 (80)
- 三井文庫編, 1939, 『鶚軒旧蔵本目録』上下巻, 国文学研究資料館蔵

---

## 鶚軒文庫関係資料中の漢詩文類について 解題（その3）

---

### 1. 土肥鶚軒自筆の3本の目録

土肥慶藏〈どひ／けいぞう〉は医業を専門とする者ではあるが、生涯を尽くして漢学や漢詩文の学習と研鑽にも没頭し、その造詣が深い。土肥は学生時代からすでに漢学に対して興味を示し、古道人総生・岩橋寛〈こどうじん／ふさお・いわはし／かん〉から教を受けていた（本目録解題（その2）阿久津美紀「土肥慶藏と鶚軒文庫について」参照）。漢学の素養を深めると同時に、土肥は漢詩文の蒐集にも尽力した。そのコレクションは、五山以降から昭和初年までの漢文学の精華の凝縮としてよい。

土肥慶藏は「日本人の詩文集」（1928）で、「私は書生時代から日本人の詩文集をぼつぼつ拾い蒐めて、今は五千部ぐらいに達している。勿論玉石同架である。その補訂された新目録は最近出来上がったが、未だ印刷の暇がない。主要書目の解題も先年試みられたが、半成のまま今は停頓している」（傍点は筆者）証言している。

ここでいう「新目録」とは、国立国会図書館蔵『鶚軒文庫 日本詩文書目録』（請求番号 W131-52、以下、「昭和3年目録」と呼ぶ）であろう。この昭和3年目録は土肥慶藏自筆で、本編6冊と追加4冊で構成された全10冊、2帙に収納されている。1冊めの表紙に「大正二年十二月新調／鶚軒文庫／日本詩文書目録・一／土肥慶藏」とあり、昭和3年目録の執筆は大正2年（1913）の年末より開始されたことがわかる。本文は半丁（1面）12行、版心に「12／喜多川製」、項目は各丁の最右行に書かれており、行ごとに基本書誌（題名・著者・成立年・冊数）を記載する。その左に解題がある。この点は上の「日本人の詩文集」の記述と一致する。

昭和3年目録とは別に、大正2年12月に作成されていた同書名の『鶚軒文庫 日本詩文書目録』がある（国立国会図書館蔵 請求番号 317-103）。以下、仮にこれを「大正2年目録」と呼ぶ。大正2年目録は基本書誌のみで、昭和3年目録の本編6冊に相当する。おそらく大正2年目録を完成させてのちに、土肥は解題作業に取り掛かったのだろう。その後、追加購入とともに、目録作成と解題執筆が断続的に行われ、昭和3年（1928）をもって追加4冊が完成されたわけである。本目録に収載した「（鶚軒文庫日本詩文書目録草稿）」（整理番号 2024A-3740、**口絵写真1**）は昭和3年目録の作成過程でできたものと考えられる。

このほかに土肥による三つめの目録として、昭和4年の「鶚軒文庫蔵書目録 和漢書分類之部」（国立国会図書館蔵、請求番号 029.9-D59g、以下、「昭和4年目録」と呼ぶ）がある。この昭和4年目録はゆまに書房から影印本が出版されて、もっともよく知られているものである。昭和4年目録の項目「漢詩文」をみると、大正2年目録と昭和3年目録との重なりが大きいことから、昭和4年目録は大正2年と昭和3年目録を土台に作成されたことが明らかである。



## 2. 鶚軒文庫関係資料の形態的な特徴と一括状況―資料整理過程で得た印象

今回、国文学研究資料館で新たに確認された資料は、仮綴じの写本類が中心である。鶚軒文庫関連資料 683 点のうち、漢詩文に当たる部分の多くは、整理当初二つの束に括られていた。一つの束には札「詩文一括」、もう一つの束には札「鶚軒雑書・㊦」（口絵写真 7）がついていた（一括情報は「書誌情報」の〈備〉の備考注記に記した）。「詩文一括」は内容的には詩稿・詩集・詩抄が多かった。一方、「鶚軒雑書・㊦」はむしろ漢文写しや中国の經典注釈の写しなどが中心であったとの印象である。

「詩文一括」の束のなかには、「鶚」と印字されたカード（口絵写真 7）が貼付または差込まれている資料が発見された。これについては本目録解題（その 2）阿久津美紀「土肥慶藏と鶚軒文庫について」に詳細を譲るが、このカードの上書と、旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』を照合すると、そこに掲載されている書名と一致した。ただし、旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』では刊本とし、一方、当館蔵の鶚軒文庫関係資料では写本であるといった場合もあり、同じ書名であっても『鶚軒旧蔵本目録』記載書籍と鶚軒文庫関係資料は必ずしも同一資料ではないことに注意する必要がある。『鶚軒旧蔵本目録』の刊本の部分的な写しが当館蔵の鶚軒文庫関係資料であるという関係性が推測できる。本目録解題（その 1）藤實久美子「鶚軒文庫関係資料について」で、「本目録は、自筆稿本「鶚軒文庫蔵書目録 和漢書分類之部」・旧三井文庫編『鶚軒旧蔵本目録』にはない資料を多く掲載することに結果している」とする指摘と、筆者の見解は一致している。

このほか、「鶚軒雑書・㊦」の束に入っていた資料のなかには、土肥慶藏の息子・土肥健男が使用した教科書と思われる資料（整理番号 2024A-3716）が見られる。このことから、一括「鶚軒雑書・㊦」に入っていた中国の經典に対する語彙注釈や学習ノートは、土肥健男によるものとの可能性も否定できない。

## 3. 鶚軒文庫関係資料に見られる文化交流の動的な「場」

「仮綴じ、バラの資料への名称付与と、目録編成には難しさがともなう。そこで本目録では資料へのアクションの痕跡が多様であることに着目した」（解題（その 1）藤實久美子）とある。資料に残された多くの「痕跡」（朱点・訓点・添削・評語など）から、「場」の共有や学修、批評など、詩稿の複数の機能を見て取ることができるとしたのである。この指摘を受けて、当時（主は明治期）の文化交流の立体的かつ動的な「場」の発見に努めてみたい。

### ① 詩社・詩会

詩社や文人ネットワークの記録は、地域社会や階級を越えた文化的交流を示しており、江戸期・明治期の文化構造を考察する上で貴重な資料を提供している。日本の詩社は、中国の詩文会に倣い、江戸時代から明治時代にかけて全国各地で盛んに結成された。詩社は単なる趣味の集まりにとどまらず、当時の文学的、社会的、さらには政治的なネットワークを形成し、日本の知識人社会に深い影響を与えた（合山林太郎、2014）。

本目録収載資料には、明治期の大小詩社による詩会がある（整理番号 2024A-3652「門文（紀事一則ほか）」、2024A-3509「文競（吉野懷古）」、2024A-3424「（雑集 九月廿日詩会宿題 秋山／秋夜／骨董囊序／春暁／正月廿一夕詩会ほか）」、2024A-3444「中秋宿題」など）。詩会では、詩の内容や形式に関す

る討論が行われると同時に、詩人たちの社会的地位や人間関係が確認され、再構築される。詩会を通じて、共通の文化的価値観やアイデンティティを強化でき、漢詩文の継承と発展に寄与する。また詩会は、往々にして社会的地位や背景の異なる者同士が参加するので、分野横断の文化交流と新しいネットワークの形成を促進している。

## ② 筆談記録・詩文唱和・交遊詩

漢詩文交流を含めた文化交流に関する筆談記録や詩文唱和の記録、交遊の記録なども注目に値する(整理番号 2024A-3312「贈答詩」、2024A-3321「(詩稿 玉前神社幟揮毫ほか)」、2024A-3465「草稿(岡碕春海名勝詩／中村生将東遊贈詩ほか)」、2024A-3466「草稿(岡碕春海名勝詩／中村生将東遊贈詩ほか)」など)。詩文唱和や筆談の過程で交わされた漢詩は、その場で他者の詩に即応する高い即興性を見せ、それを通じて詩人の文才を窺い知ることでもある。

詩会、唱和、筆談といった活動は、それぞれ異なる形式をとりながらも、詩人グループのネットワークを動的に反映し、強化する機能を果たしている。これらの活動を通じて、詩人たちは共通の文化的・文学的基盤を築きながらネットワーク全体の活性化を促進したのである。

## ③ 添削・批評

詩会や筆談は明治期の漢詩グループの動的ネットワークを反映する「巨視的」なものとするれば、詩稿にみられる「添削」や「批評」は、単なる文学的表現の技法を超えて、ミクロ的なレベルで「動的」な社会的ネットワークや文化交流の特性を反映するものとなる。

とくに整理番号 2024A-3449「(雑集 秋声冰／秋声評／夏冰歌／夏冰歌評ほか)」は、漢詩の本文より、むしろ添削と評語が主体となる資料である。添削や批評は、複数の詩人同士の共同作業を通じて行われている。評語において詩人たちは詩の添削についての意見交換や詩の技法を討議している。本資料は、単に朱筆を入れて詩の技術的な完成度を競う、または評価するものとは異なり、詩人たちの間で思想や感性を共有し、相互に影響を与える場となっている。

整理番号 2024A-3345「(詩稿 丁丑冬辞郷渡最上河ほか)」は、中国文学者任鈞溪・沈少坪・銭子琴によって添削されたものであり、整理番号 2024A-3367「(詩稿 春風ほか)」は鱸松塘(後述)が添削を加えたものである。特定の詩人がどの人物から添削や批評を受けたかを追跡することで、詩人グループのネットワークが浮き彫りになる。文壇の文化的ネットワークの可視化、詩人団体間の関係性の反映として、本資料群は大きな価値を有している。

## ④ 政治家グループ

政治家や政治的グループによるものは、政界と文学界のつながりを示し、注目に値する。

たとえば、「詩文 新樹／夏雨」(整理番号 2024A-3386)は、元老院少書記官山本弘・議員本田親雄・渡辺驥・楠本正隆・元老院幹事山口尚方・議員中村弘毅・元老院御用掛小田切盛徳・元老院権大書記官森正茂・議員伊丹重賢などによる新樹と夏雨を題にした漢詩と和歌である。

「詩文 謁久能山ほか」(整理番号 2024A-3572)は伊藤博文の漢詩の写しで、「詩稿 学宮秋試／泰伯三讓説」(整理番号 2024A-3529)と「手稿 第一章／第二則／本稿／嘉永三庚戌」(整理番号 2024A-3530)は穴戸璣(山県半蔵)によるものとみられる。



#### 4. 医家にとっての漢詩文

土肥慶蔵は医を生業とする者として、明治期の医家との交流も熱心に行っていた。本目録では、浅田宗伯〈あさだ／そうはく〉や浅井国幹〈あざい／こっかん〉などの名医が設けた詩会に関連する資料も数点含まれている。

漢詩は明治以前の儒教的教育体系において高い評価を受けており、多くの医師が若年期から漢学の素養を身につけていた。これにより医師たちは漢詩を通じて自身の教養を表現し、心身の調和を追求する手段として利用した。また、漢詩は医師の社交の場でも重要な役割を果たした。医師たちは詩会や漢詩の交換を通じて互いに知識や見識を深め合い、専門職としての連帯感を形成していた(町泉寿郎編、2020)。

一方では、明治期の医師たちが漢詩を作る理由は単なる伝統の維持にとどまらず、新しい時代の中でアイデンティティを再構築する試みでもあった。西洋医学が急速に台頭する中で、漢詩を詠むことは医師たちにとって伝統的な価値観を再確認し、自身の文化的背景を再認識する手段となったと考えられる。

「新韓集／戊寅一月」(整理番号 2024A-3455)と、「接浅井先生席間賦呈／壬午十月初」(整理番号 2024A-3456)、「詩稿 春風ほか」(整理番号 2024A-3367)という3点に特に注目したい。これらが作成された明治10年代は、漢方存続運動の重要な節目に正確に対応している。漢方医者たちの心境は詩稿の中に如実に反映されている。

「新韓集／戊寅一月」(整理番号 2024A-3455)は、浅田宗伯による「戊寅一月一日雨中偶成」の次韻を集めた詩集で、起句の最後の「韓」、承句の最後の「家」、結句の最後の「花」に韻を踏んだ、浅田宗伯とその門人による詩集である。この資料は写本だが、同書は浅田宗伯により編輯され、明治13年刊の漢詩集『仙桃集』とともに『呉鳳集』として出版されている(町泉寿郎、1997)。『新韓集』の成立年は明治11年で、同年7月に明治政府は脚気病院を設立し、漢洋の治療を比較することを目論んでいた。それを受けて同年8月、浅田宗伯、清川玄道、岡田昌春、下条通春などは、木挽町に脚気の施療病院「博済病院」〈はくさいびょういん〉を設立し、政府の脚気病院に対抗しようとした。いわゆる「漢洋脚気相撲」の開幕である。この年、西洋医学との理論闘争に失敗した漢方医学は西洋医学との治療闘争に突入した(深川晨堂、1934)。

宗伯が抱えたストレス(明治政府の方針、洋医の圧迫)は想像に難くない。宗伯の悩みと憂鬱の気持ちは『新韓集』の冒頭の「戊寅一月一日雨中偶成」にありありと描かれている。

門外新泥已没韓、坐愁無客訪儂家。半庭疎竹唯聞雨、煙裏林梅未看花。

(門外の新しい泥はすでに靴を埋め、座して愁う、訪ねてくる客もない我が家。半ば庭に疎らに生える竹、ただ雨音を聞き、煙る中の林の梅は、まだ花を見ていない。筆者訳)

「接浅井先生席間賦呈／壬午十月初」(整理番号 2024A-3456)は明治15年10月に書かれた。まさに漢方存続運動が白熱と迷走の時期であった。運動の主要団体「温知社」〈おんちしゃ〉は、明治14年5

月の全国大会で和漢医流の医学生の開業許可認証を政府に求めることを中心と定め、一年間に政府に3回上願したが、悉く認められず、漢方は危機存亡の秋に立っていた。何らかの新機軸を出すべく、明治15年10月初旬、浅井国幹は東西奔走し、京都賛育社や熊本春雨社との大同団結を図った（深川晨堂、1934）。本資料（整理番号 2024A-3456）は浅井国幹が熊本県の春雨社に訪問し、村井雲台などの幹部たちが席上賦呈した漢詩となる。

「詩稿 春風ほか」（整理番号 2024A-3367）は、明治17年4月黒岩静山〈くろいわ／せいざん〉や浅田棕園〈あさだ／そうえん〉をはじめとした「如春吟社」〈じょしゅんぎんしゃ〉のメンバーが「春風」を題に作った漢詩集で、漢詩の大家・鱸松塘〈すずき／しょうとう〉が朱筆を加えている。如春吟社の母体は明治7年に浅草蔵前町に開院した、日本最古の漢方病院・如春病院である。その設立は、漢洋医学闘争の開始を象徴している出来事だが、明治17年4月の時点では、すでに医師免許規則および医師開業試験規則が発布され（明治16年10月）、医師開業試験が施行することとなり（明治17年1月1日）、漢方医存続の道が絶たれたのである（町泉寿郎編、2020）。「詩稿 春風ほか」はこのような背景下で作られたものである。

以上の3点の資料は、漢方存続運動という背景に、伝統文化の継承と近代化の狭間における漢方医たちの複雑な動きを反映したものといえよう。そこで、漢詩は医療人としての文化的アイデンティティや社会的役割を探求する一つの方法でもあった。

## 5. 土肥慶蔵の学修過程の記録（『莫須篇』など）

土肥慶蔵はもとより文筆に秀でた人物ではなかったようだ。土肥の友人・呉秀三によれば、「学生時代、君が文章の為いかに苦勞されたかは、余の最も善く知る所である」という（土肥慶蔵、1932）。『鶚軒遊戲』の自序においても、「少年時代に国漢学の素養を欠き」と書かれている（土肥慶蔵、1927、小序）。土肥慶蔵が正式に漢学の学修を始めたのは、その予備校時代、古道人に入門したからである（既述）。

古道人との出会いについて、「古道人総生先生を語る」（土肥慶蔵、1932）に詳しく記載されている。たまたま神田の路次に「詩文添削、古道人総生寛」と書かれた看板に気づき、土肥はその裏店に訪れた。土肥慶蔵の漢学における学風は、その師である古道人から継承されたところが多い。古道人の漢文漢詩教授法の特徴は、その独創の「解剖的批点」である。本目録の中に、どこまでが土肥自筆のものかは定かではないが、古道人からその独特な批点法を継承し、その学修過程で活かしたことは想像にかたくない。

本目録に収載する資料において、土肥慶蔵の学修過程を特に反映しているものに、『莫須篇』〈ばくすへん〉（整理番号 2024A-3203）ほかの、「漢籍の切り貼り」類の資料がある。

『莫須篇』（外題と目録題は「急須篇」）の土台となる書物は仮綴じの写本漢詩集「九如図」であるが、その各丁の上に經典の写しが切り貼りされてできている。外表紙は新聞紙半裁3枚を使用している。柱部に「経」「音」などの項目分類ラベルが貼付されており、朱書・朱点・欄外書入・欄外見出しなどが多く見られる（口絵写真3・4）。

本資料は昭和4年目録にも収載されている。本資料は、「経史沿革一」「訓故約例二」「書体小識／音

韻沿革三」「文字畧説四」「詩文一斑五」「鉛槧瑣要六」「書体七」「講習零訣／六書規成 八」「石經始末九」「歷代小記十」からなる。1 丁めと 2 丁めの上欄に序文らしきものが書かれている（匡郭内は上欄序文の草稿カ）。以下、引用する。

此編既就緒／或問所以命名／予答曰／凡編中所収者／大方之所已知而莫須有也／初学之所不急而莫須有也／況乎内焉莫関性命道德之説／外焉莫係於軍国經濟之用／則得不謂莫須有之書耶／顧予承乏於上庠而不得致尺寸国家／將胡所□有之為哉／予已為莫須有矣／其所編為莫須有／固也於命名亦奚格哉（序文前半）

（この編は既に整ったが、ある者が命名の理由を尋ねた。予は答えて言った。「この編の中に収載されるものは、大方の人が既知のことであり、必要なものではない。初学者が急いで学ぶべきものでもない。まして、人の命や道德に関する説とは無関係であれば、国家の軍事や經濟の実用にも関係しない。ゆえにこれを『不必要な書』と言えないだろうか。さらに言えば、私は郷校での修行が不足し、国家事業に少しの助力もできなかった。ならば、どんな作為を為せるだろうか。私は既に必要とされない人間だ。したがって、私が編纂したのも『不必要な書』である。この命名に何の疑問があらうか。」 筆者訳）

以是論之所謂莫須有／亦惡知不為必須有乎哉／坡翁曰／道上容足之外／皆為無用之地／乃知無用之設固為有用者也／問者曰／昔者荊公以此三言以致天下之解体／不祥無大焉／子今取以題此編／欲以致友朋之／無乃不可乎／曰／盍簪君子小人同行異情（序文後半）

（ただ、以上の理屈をもってこの書を『不必要な書』と論じるのは、その存在の必要性を理解していないためではないか。坂翁（蘇軾）曰く、「道の上で足を置く場所の外は、すべて無用の地である。しかし、無用に見える場所こそが、実は有用であることを知るべきだ」と。ある者は再び問うた。「昔、荊公（王安石）は三つの言葉で王朝の滅亡を招いた。これは不幸で、これよりも酷いものはない。あなたは今、それをもってこの書名とし、さらにこれを友人に贈り、親しみを深めようとしている。それは不適切ではないか」と。予は答えた。「君子と小人は同行しているが、その志は全く異なっている」と。 同上）

興味深いのは、本資料の内題は「莫須篇」、外題・目録題は「急須篇」である点である。上記「序文」の前半では「莫須有也」としているのに対し、後半では「無用之設固為有用者也」を主張している。土肥にとって、漢学經典のような、一見して「莫須」（不必要）であるものは、実のところ「急須」なものであるかもしれない。

『莫須篇』のように、漢籍に經典の写しを切り貼りする学修方法は、かなり独特なやり方であり、土肥慶藏自己流の勉強法といえよう。このような学修方法を踏襲した資料として、小項目「叢書」に収めた「侯雅」（整理番号 2024A-3260）、小項目「辞書・字典」に収めた語彙注釈類の資料がある。（謝蘇杭）

#### 【参考文献】

合山林太郎、2014、『幕末・明治期における日本漢詩文の研究』、和泉書院

土肥慶藏、1927、『鶚軒遊戯』、改造社

土肥慶藏、1928、「日本人の詩文集」『文藝春秋』6（1）（国立国会図書館蔵）

土肥慶藏、1932、『鶚軒先生遺稿』上巻、戊戌会

深川晨堂、1934、『漢洋医学闘争史』、旧藩と医学社

町泉寿郎、1997、「漢詩集『呉鳳集』」『漢方の臨床』44 (10)

町泉寿郎編、2020、『漢学と医学』（講座近代日本と漢学・第3巻）、戎光祥出版

町泉寿郎、2022、「カルフォルニア大学バークレー校所蔵の土肥鶚軒旧蔵日本漢詩文書目録（稿）」『日本漢文学研究』17

# 1. 和漢書

## 1. 和漢書 /1.1. 総記 /1.1.1. 書目

### 2024A-3740

**記載書名1:** (鶚軒文庫日本詩文書目録草稿)

記載著者: 土肥 / 慶蔵・役割: 著

27.3×19.6cm 4枚 写

書誌注記: 〈形〉青色方眼紙(23マス×11行), 上欄に「鶚軒用箋」, 版心に「中井製」と印字あり。〈書〉修正, 朱書あり。〈般〉「問佩集」「玉振集」「征清詩史」について著者・刊行年・解題ほかの書籍情報を墨書で, 書籍の分類を朱書する。

### 2024A-3197

**記載書名1:** (書籍目録)

7丁, 24.1×16.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 汚れあり。10行青色罫紙, 「十行外喜」用箋。〈般〉内容は「写本雑著」「写本之部詩文」「版本之部詩文」。

### 2024A-3200

**記載書名1:** 蔵充閣蔵書

記載著者: 蔵充閣・役割: 著

書写・刊行年: 嘉永6年

6丁, 14.6×21.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈般〉「儒書」「医書」「雑書」に分類された漢籍蔵書目録。蔵充閣(皆川良礎)は福井藩御付人本多家の医者で俳人。

### 2024A-3198

**記載書名1:** (蔵書目録)

記載著者: 本城 / 問亭・役割: 著

66丁, 24.1×15.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。「愛梅書屋」用箋。〈伝〉(印記)「本城蔵書」。〈般〉「経」「史」「子」「集」に四部分類された漢籍蔵書目録。

### 2024A-3271

**記載書名1:** (蔵書目録)

記載著者: 本城 / 問亭・役割: 著

62丁, 24.0×16.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 「愛梅書屋」用箋。〈書〉修正あり。〈伝〉(印記)「本城蔵書」。

### 2024A-3201

**記載書名1:** 蔵書目録稿 / 壺天

記載著者: 本城 / 問亭・役割: 著

87丁, 24.2×16.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 丁子色表紙, 10行黒色罫紙。「愛梅書屋」用箋。〈伝〉(印記)「本城蔵書」。

### 2024A-3493

**記載書名1:** 南郭集目録・内

記載著者: 本城 / 問亭・役割: 著

24.5×16.5cm 5枚 写

書誌注記: 〈形〉10行黒色罫紙, 「愛梅書屋」用箋。〈伝〉(印記)「本城蔵書」。

## 1.1.2. 叢書

### 2024A-3609

**記載書名1:** 温史抄書・外

書写・刊行年: 明治16年

9丁, 19.5×13.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙, 「薫家製」用箋。〈写〉表紙に「明治十六年十二月十四日起業」と墨書あり。〈般〉内容は資治通鑑および漢詩抄録。

### 2024A-3260

**記載書名1:** 侯雅(事物異名録 / 唐書ほか抜書)・扉

87丁, 27.0×17.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉五ツ目綴, 紺色表紙, 部分的に9行黒色罫紙, 土台は和刻本漢籍だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に経典の写しを切り貼りしてできたもの。〈書〉朱書あり。

### 2024A-3274

**記載書名1:** 続印続古逸叢書様本・外

記載著者: 上海商務印書館・役割: 刊

書写・刊行年: 昭和3年

10丁, 39.8×24.4cm 1冊 刊

書誌注記: 〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 受領票1の挟込あり。〈版〉影印版, 版心に「涵芬楼」「商務印書館」とあり。〈伝〉(印記)「予約申込所 / 日華書房」(表紙)。〈備〉3274 ~ 3276は紐一括。

### 2024A-3275

**記載書名1:** 続印続古逸叢書様本・外

記載著者: 上海商務印書館・役割: 刊

書写・刊行年: 昭和3年

10丁, 39.4×24.3cm 1冊 刊

書誌注記: 〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 「預約定単」

の挟込あり。〈版〉影印版、版心に「涵芬楼」「商務印書館」とあり。〈備〉3274～3276は紐一括。

#### 2024A-3763

**統一書名：**升菴外集

**記載書名1：**升菴外集 / 卷之五十九 / 卷之六十・内

記載著者：楊 / 慎・顧 / 起元・役割：著・校

21丁, 28.4×19.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

#### 2024A-3234

**記載書名1：**(東涯弁疑録ほか)

112丁, 25.5×18.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 丁間(袋綴じの間)に下敷き差込あり, 切紙貼付あり。〈書〉欄外書入あり。

#### 2024A-3203

**記載書名1：**莫須篇(經史沿革 / 訓故約例 / 音韻沿革ほか)・内

**記載書名2：**急須篇・目・外

139丁, 28.2×18.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 外表紙は新聞紙半裁3枚(大正11年・同13年『報知新聞』), 部分的に11行黒色罫紙, 「学問所」用箋, 土台は漢詩集「九如図」であるが, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に「経」「音」ほか項目分類ラベル貼付。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入, 欄外見出しあり。

#### 2024A-3770

**記載書名1：**文政乙酉記 / 一・外

記載著者：屋代 / 弘賢・役割：著

23丁, 28.3×20.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 汚れあり。〈般〉表紙に目録「来代状」「横倉記」「鎌倉武鑑」「契沖歌」「弘賢年玉」「元和御幸略記」あり。

#### 2024A-3762

**記載書名1：**(漢書帝王本紀 / 律歴志 / 百官公卿表ほか)

25丁, 29.5×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉朱書あり。

#### 2024A-3235

**記載書名1：**(漢書 / 孟子ほか)

80丁, 25.5×18.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 裏表紙破損, 切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書あり。

#### 2024A-3252

**記載書名1：**(後漢書)

66丁, 23.5×16.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正, 欄外書入, 欄外見出し, 修正液の痕あり。〈備〉3252～3257は紙縫一括。

#### 2024A-3255

**記載書名1：**後漢書 / 坤・外

50丁, 26.0×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉欄外書入, 欄外見出しあり。〈般〉内容は後漢書の注釈。〈備〉3252～3257は紙縫一括。

#### 2024A-3254

**記載書名1：**三國志 / 一・外

40丁, 24.5×17.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙, 「徂来山房」用箋, 虫損甚大。〈書〉修正, 欄外書入, 欄外見出し。〈備〉3252～3257は紙縫一括。

#### 2024A-3256

**記載書名1：**史記文法・外

書写・刊行年：寛政7年

43丁, 25.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 虫損甚大, 切紙貼付あり。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈備〉3252～3257は紙縫一括。

#### 2024A-3242

**記載書名1：**[資治]通鑑 / 一・外

42丁, 26.0×16.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 虫損甚大。〈書〉欄外書入, 欄外見出しあり。

#### 2024A-3243

**記載書名1：**[資治]通鑑 / 二・外

55丁, 26.0×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 虫損甚大。〈書〉欄外書入, 欄外見出しあり。

#### 2024A-3732

**記載書名1：**[資治]通鑑 / 三・外

16丁, 24.5×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損甚大, 仮綴じ, 部分的に9行黒色罫紙。〈書〉欄外書入あり。

#### 2024A-3730

**記載書名1：**(資治通鑑注釈)

25.3×30.7cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉10行黒色罫紙。〈書〉欄外書入あり。

#### 2024A-3488

**記載書名1**：(儒林列伝 荻生徂徠)

2丁, 24.3×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉欄外書入あり。

#### 2024A-3237

**記載書名1**：隋書鈔録・内・外

記載著者：柳南／居士

29丁, 23.0×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 15行黒色罫紙。〈書〉訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3605

**記載書名1**：(通鑑綱目割記ほか)

9丁, 25.2×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉校正の痕あり。

#### 2024A-3222

**記載書名1**：春三月盜刺赤愧于江城桜門外・内

**記載書名2**：通鑑綱目／現帝紀・外

3丁, 24.5×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。

### 1.2. 哲学 /1.2.1. 経子

#### 2024A-3226

**記載書名1**：為山雜誌・外

18丁, 24.3×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈般〉欄外見出しは李斯忠, 蚕入晏出ほか。

#### 2024A-3223

**記載書名1**：(疑也審突然則神徳不可永遺)

24.0×32.5cm 1枚 写

書誌注記：〈般〉冒頭の一行のみ, 以下は白紙。

#### 2024A-3759

**記載書名1**：(淮南子注釈)

6丁, 22.8×15.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉欄外書入あり。

#### 2024A-3207

**統一書名**：韓非子

**記載書名1**：韓非子・内

6丁, 24.2×15.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉7～20巻目次。

#### 2024A-3752

**記載書名1**：君前臣名・内

11丁, 25.2×18.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書(評語), 欄外に注記あり。

#### 2024A-3751

**記載書名1**：君喪・内

5丁, 24.8×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入あり。〈般〉山鹿素行の修教要録ほか。

#### 2024A-3696

**記載書名1**：(經書弁書ほか)

4丁, 25.7×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 汚れあり, 部分的に「足利輸出業懇話会用紙」用箋(12行)。

#### 2024A-3714

**記載書名1**：(經典語彙考)

27丁, 21.2×13.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書あり。

#### 2024A-3768

**統一書名**：經典釈文

**記載書名1**：經典釈文・内

記載著者：陸／徳明・役割：撰

25丁, 25.0×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損甚大, 仮綴じ。〈書〉青筆による句読点と欄外注記あり。〈般〉第11巻と第15巻の一部の写し。

#### 2024A-3482

**記載書名1**：(浩然之章講義ほか)

17丁, 24.4×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 欄外書入あり。

#### 2024A-3766

**記載書名1**：(左伝)

5丁, 25.0×18.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損甚大, 仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉修正液の痕, 欄外書入による注記あり。

**2024A-3737**

**記載書名1**：左伝朱墨別異并文法・外

71丁, 24.9×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行黒色罫紙。  
〈書〉修正, 朱書, 欄外書入あり。〈般〉表紙に墨書  
「寛政乙卯冬卒業」。

**2024A-3517**

**記載書名1**：左伝例 / 壬子春・外

9丁, 24.9×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉修正,  
欄外書入あり。

**2024A-3670**

**統一書名**：産語

**記載書名1**：産語・内・目・序首

記載著者：太宰 / 春台・役割：著

書写・刊行年：寛延2年

5丁, 29.8×21.8cm 1冊 写

書誌注記：〈序〉寛延2年宮田明による序文あり。  
〈形〉仮綴じ, 汚れあり。〈伝〉(印記)「洒竹文庫」。

**2024A-3765**

**記載書名1**：爾雅 / 漢書・外

6丁, 24.4×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱点あり。  
〈伝〉表紙に「林松三郎源正」と墨書あり。〈般〉内  
容は用語解釈。

**2024A-3528**

**記載書名1**：(詩経注疏)

19丁, 24.0×16.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

**2024A-3775**

**記載書名1**：(四書雜抄)

37丁, 28.3×20.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉数十丁を重ねて紐により一括し  
たもの。〈書〉朱書, 朱点, 青筆, 欄外書入による  
注記, 欄外見出しあり。

**2024A-3698**

**記載書名1**：(朱子学習学帳)

27丁, 25.4×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 13行青色罫紙, 「宮崎県  
尋常師範学校」用箋。

**2024A-3257**

**記載書名1**：(春秋正義序 / 通雅)

7丁, 24.5×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 「通雅」の2丁めと3丁め  
の間に切紙1 (墨書「岩溪先生 / 鈴木先生 / 越前  
丹生郡朝日村 / 山田秋甫 / 越中富山市 / 窪美昌  
保」)の挟込あり。〈書〉修正, 訓点の施し, 欄外書  
入, 欄外見出しあり。〈備〉3252 ~ 3257は紙縫  
一括。

**2024A-3644**

**記載書名1**：(尚書注釈)

7丁, 14.5×20.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉尚書にある語彙と  
用語に対する注釈, 「尚書称呼」「尚書連字」「尚書  
虚字」と三つの部分に分かれる。

**2024A-3225**

**統一書名**：醉古堂剣掃

**記載書名1**：醉古堂剣掃抄録・内・外

記載著者：陸 / 紹珩 / 湘客・役割：選

14丁, 24.0×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書  
入あり。

**2024A-3767**

**記載書名1**：(潜夫論後漢王符節信三十六篇ほか)

19丁, 27.1×17.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉異なる規格の紙(11行黒色罫紙  
/ 9行茶色罫紙)を紙縫で綴じたもの。〈書〉修正,  
欄外書入による注記あり。

**2024A-3708**

**記載書名1**：(莊子 学庭叢語ほか)

記載著者：井上 / 哲次郎ほか

49丁, 18.1×13.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 13行青色  
罫紙。〈書〉朱書, 朱点あり。〈般〉学習ノート, 英  
文あり。

**2024A-3693**

**記載書名1**：(莊子釈義)

32丁, 25.0×17.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉返  
点の施しあり。〈般〉三島中洲による写し, 「日夜  
相代乎」から「夫大道不称」まで。

**2024A-3694**

**記載書名1**：(莊子釈義)

3丁, 25.1×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉返  
点の施しあり。〈般〉三島中洲による写し, 「故其



好之也一」から「与其譽堯而非桀也」まで。

#### 2024A-3695

##### 記載書名1：(莊子釈義)

9丁, 25.1×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉返点の施しあり。〈般〉三島中洲による写し, 「子貢曰。然則夫子何方之依」から「此所遊已」まで。

#### 2024A-3699

##### 記載書名1：(莊子釈義)

7丁, 25.1×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉返点の施しあり。〈般〉三島中洲による写し, 「明日又与之見壺子」から「七日而渾沌死」まで。

#### 2024A-3700

##### 記載書名1：(莊子釈義)

5丁, 25.6×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉返点の施しあり。〈般〉三島中洲による写し, 「曰, 然則我内直而外曲成而上比」から「顔回曰, 回之未始得使」まで。

#### 2024A-3750

##### 記載書名1：(徂徠集抄録)

4丁, 26.0×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書あり。〈般〉楽説。

#### 2024A-3774

##### 記載書名1：(孫子注釈)

22丁, 25.5×18.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。切紙貼付あり。〈書〉修正, 欄外書入による注記あり。

#### 2024A-3715

##### 記載書名1：(大学熟語)

5丁, 10.2×13.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉振り仮名付き。

#### 2024A-3507

##### 記載書名1：中庸 / 十二章・内

11丁, 24.6×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正液の痕あり。

#### 2024A-3497

##### 記載書名1：中庸大義 / 卷一・外

書写・刊行年：大正2年

30丁, 25.6×18.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉元来は四ツ目綴じ, 現在は仮綴じ, 小豆色表紙, 題簽は一部欠落。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入, 修正液の痕, 一部にルビあり, 小口に墨書「中庸大義序」。〈伝〉(印記)「菊池図書」, 後ろ表紙見返しに古書店の符号(墨書「大正二・十一・十九 五二式」ほか)あり。

#### 2024A-3721

##### 記載書名1：(中庸注釈)

3丁, 24.8×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈般〉「唯天下至誠為能尽其性章」に対する注釈。

#### 2024A-3746

##### 記載書名1：(鄭玄註 喪大記)

6丁, 24.3×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入による注記, 修正液の痕あり。

#### 2024A-3749

##### 記載書名1：(弁道)

3丁, 24.8×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 欄外に出版に関する注記あり。

#### 2024A-3738

##### 記載書名1：礼記正義抄 / 疑文 / 三礼異同・外

77丁, 24.6×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉朱書と青筆, 朱点, 欄外書入あり。

#### 2024A-3745

##### 記載書名1：(礼記注解)

8丁, 24.5×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入による注記あり。

#### 2024A-3761

##### 記載書名1：(論語 喪則)

5丁, 29.4×17.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

#### 2024A-3739

##### 記載書名1：(論語解義)

4丁, 24.3×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 五言律の書かれた切紙

1. 和漢書/1.2. 哲学/1.2.1. 経子

1の差込みあり。〈書〉修正あり。

## 1.2.2. 神書

2024A-3618

記載書名1:(事变妖怪)

記載著者: 山田/良範・役割: 識

書写・刊行年: 安政7年

5丁, 17.0×24.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 汚れあり。

## 1.2.3. 教育

2024A-3218

記載書名1:建白鎮将府下執事(学校之制)・内

5丁, 20.0×13.3cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点あり。〈般〉文中に「宜政維新側聞登庸賢才」, 「課程 小学近思録」「四書集註」などあり。

## 1.2.4. 人相・占易

2024A-3233

記載書名1:鍔王氏秘伝知人風鑑源理相法全書 / 卷之九・内

25丁, 24.4×17.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書あり。

2024A-3781

記載書名1:(相法)

66丁, 23.8×16.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈序〉巻首に著者自序あり。〈形〉仮綴じ。〈般〉第一伝「陰者ノ補」「童面ノ補」, 第二伝「衣類ノ補」「衣ノ部」「住所ノ補」「食ノ部ノ補」「唇海角ノ相ノ補」「海角タダレタル相ノ補」, 第四伝「死活ノ補」, 第五伝「懷妊ノ補」「双子ノ伝」「難産ノ補」「経行ノ補」「長血白血腰氣ノ補」「蛭虫ノ補」「血ノ道癰症ノ弁ノ補」「遺毒疱瘡ノ弁并ニ疱瘡血色ノ事ノ男女形ヲ分ツ所以ノ事」からなる, 3780は「全附録ノ補, 面図血色ノ部」。

2024A-3780

記載書名1:面図血色之部・内

35丁, 23.8×16.1cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈般〉懷妊の吉凶や出産の難易並びに妊娠諸病の穴所血色について論じるもの。本篇は3781。

## 1.3. 法制 /1.3.1. 政治

2024A-3639

記載書名1:為学説・内・尾

記載書名2:対策・外

記載著者: 木原/万五郎/照景・役割: 著

3丁, 26.7×18.3cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉修正液の痕あり。

2024A-3293

記載書名1:聚集録・外

書写・刊行年: 安政3年

29丁, 25.5×16.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「不許他披章」とあり。修正あり。〈伝〉「鶚/総/聚集録/写(安政3) 1冊」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉内容は京都市政/天保海防ほか。

2024A-3498

記載書名1:攘夷論・内・外

記載著者: 宮川/先生/石崎/雷・役割: 著・写

書写・刊行年: 文久4年

3丁, 24.4×16.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 11行黒色罫紙, 「緑筠堂藏」用箋, 左上の部分破損あり。〈書〉朱点あり。

2024A-3646

記載書名1:防火議・内

4丁, 25.0×17.1cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉朱点あり, 訓点の施しあり。

## 1.3.2. 法律

2024A-3642

記載書名1:(天津条約上書)

記載著者: 殷/兆鏞・役割: 著

6丁, 25.5×17.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉読点の施しあり。

2024A-3227

記載書名1:(天帝祭法)

24.7×17.7cm 1枚 写

書誌注記: 〈形〉破損あり。〈書〉朱点, 訓点の施し, 欄外書入あり。

2024A-3794

記載書名1:民約・内

記載著者: (仏国)/戎雅屈婁騷・役割: 撰

14丁, 16.8×12.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉仏学塾出版局が1882年に出版した『民約訳解』の写し。

### 1.3.3. 経済

2024A-3657

記載書名1：(経済建白書)

書写・刊行年：安政3年

10丁, 27.1×19.5cm 1冊 写

書誌注記：〈写〉墨書「安政三年歳在丙辰正月」(末尾), 後に切り取りの痕跡あり。〈形〉仮綴じ。〈書〉朱点あり。表紙に墨書(「此反古也」)あり。

### 1.3.4. 社会

2024A-3281

記載書名1：浦賀与力合原悦蔵ヨリ聞書(黒船来航に付)・内

書写・刊行年：嘉永6年

3丁, 26.0×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶚／総／浦賀与力合原悦蔵ヨリ聞書」と書かれたカードの挟込あり。

2024A-3787

記載書名1：(下野国各郡村方三役ほか村況)

書写・刊行年：明治1年

33丁, 12.5×18.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 表紙大部分が欠損。4丁めと5丁めの間に米収納に関する切紙1の挟込あり。〈書〉修正あり。〈般〉戊辰戦争中野州知事県下吏大畑春太郎と井伊掃部頭家役人野口英次との問答ほか。〈備〉料紙と内容から村方文書と推定される。鶚軒文庫関係資料であるかは不詳。

2024A-3674

記載書名1：(唐風説書)

記載著者：楊／少棠・役割：著

5丁, 27.1×19.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

2024A-3801

記載書名1：(幕府老中阿部伊勢守正弘触)

書写・刊行年：嘉永6年

5丁, 24.9×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉大目付宛。

2024A-3283

記載書名1：福島県下岩代国耶麻郡磐梯山噴火一件・内

書写・刊行年：明治21年

9丁, 25.6×33.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉単葉装, 仮綴じ。〈伝〉「鶚／総／福島県下岩代国耶麻郡磐梯山噴火一件」と書かれたカードの挟込あり。

2024A-3782

記載書名1：(三河国桑子明眼寺文書／二／御盃被下候家来／慶応四年春時勢ほか)

57丁, 23.3×16.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 朱色表紙, 下敷き丁間(袋綴じの間)に差込あり。〈書〉切紙貼付による修正あり。〈伝〉印記あり(表紙見返し)。〈般〉他の鶚軒文庫本よりも内容は武家寄り。

2024A-3798

記載書名1：両国橋万屋八郎兵衛方二而大酒大食ひの会興行連中之内稀人ヲ書拔之覚・内

2丁, 12.6×32.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

## 1.4. 史伝 /1.4.1. 歴史・記録

2024A-3246

記載書名1：(延喜式)

7丁, 24.5×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施しあり。

2024A-3707

記載書名1：漢文摘稿／巻一・外

記載書名2：漢文摘稿一・柱

25丁, 17.5×12.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈般〉目録あり。

2024A-3760

記載書名1：君相造命／文海披沙／列伝巻第五十／晋書八十・内

3丁, 24.4×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損甚大, 仮綴じ。〈書〉朱点と青点あり。

2024A-3814

記載書名1：(桜田門事件書付)

9丁, 22.5×14.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉包背装。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの差込みあり, 上に「桜田門事件書付」と万年筆書きあり。〈般〉狂歌「井伊きびだ首かなくとも掃部事ハない」を掲載する。

**2024A-3748**

**記載書名1:**三韓ノ濫觴並官位ノ事・外

2丁, 25.0×17.6cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 題簽あり。〈書〉修正あり。

**2024A-3747**

**記載書名1:**三代実録抄・内

記載著者: 藤原時平ほか・役割: 撰

11丁, 25.0×17.3cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 右下に丁数番号あり。

〈書〉修正あり。

**2024A-3508**

**記載書名1:**(史伝 後三条院 / 藤原道信 / 山名時長ほか)

記載著者: 勝田 / 献・役割: 写

13丁, 24.1×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり, 〈般〉勝

田献は昌平鬻儒。

**2024A-3592**

**記載書名1:**(史伝 紀事十二則ほか)

26丁, 25.1×17.6cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙, 部分的に「観生堂」用箋, 切り取りあり。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 修正液の痕, 欄外書入あり。

**2024A-3244**

**記載書名1:**続日本紀・内

18丁, 23.8×17.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書, 修正液の痕, 欄外見出しあり。

**2024A-3251**

**記載書名1:**続日本後紀・内

4丁, 27.0×18.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 切紙貼付剥がれ。〈書〉朱書, 訓点の施し, 修正液の痕あり。〈般〉抜萃。

**2024A-3796**

**記載書名1:**(治世書 / 西山義公の善政を解く)

18丁, 29.6×20.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に綴じ外れ。〈書〉修正あり。〈般〉他の鶚軒文庫本よりも武家寄り。

**2024A-3795**

**記載書名1:**(椿園随筆)

56丁, 18.3×12.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 12行青色罫紙。〈書〉修正, 上欄書入による注記あり。〈般〉内容は「太平記と平家物語」「雅言」「朝鮮国」「前漢書地理志」ほか。

**2024A-3785**

**記載書名1:**通俗漢楚軍談 / 卷之十四・内・目・柱  
41丁, 26.3×17.8cm 1冊 刊

書誌注記:〈版〉(墨印)「小畑屋」。〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙。鼠損あり, 表紙・後ろ表紙ともに破損。〈伝〉(印文)「秋田仙北横堀□屋」「センホクヨコホリ小畑屋」(目次表), 「土草□□曝書」(1丁めオモテ), 後ろ表紙に墨書「明治五年」〈以下破れ〉。〈般〉他の鶚軒文庫本よりも通俗的。

**2024A-3764**

**記載書名1:**(二十一史目録 / 測量志願勸文 / 小学試験表記録式ほか)

19丁, 25.2×18.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉数種の用紙(20行赤色罫紙 / 13行青色罫紙 / 11行青色罫紙 / 9行黒色罫紙)を紙縫で綴じたもの, 一部の柱に「香川県」とあり。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入あり。

**2024A-3788**

**記載書名1:**日記・外

16丁, 16.4×24.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉虫食甚大。〈書〉修正, 朱書あり。〈般〉表紙に「自丙寅三月至丁卯二月」「是歳遇災, 喪母」と墨書あり。料紙と内容から公家またはその周辺の文書と推定される。鶚軒文庫関係資料であるかは不詳。

**2024A-3514**

**記載書名1:**(日記 天気清朗朝九時往医院…)

書写・刊行年: (明治・大正)

17丁, 24.2×17.1cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 8行黒色罫紙。〈書〉修正, 欄外書入あり。〈般〉土肥慶蔵の日記ではない。高一君に植物学, 高健に万国公法, 中川君に簿記法の教えを受けている人物。

**2024A-3249**

**記載書名1:**日本後紀抜萃・凡

記載著者: 藤原 / 緒嗣ほか・役割: 撰

12丁, 24.3×16.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外見出しあり。〈般〉巻首に越前国一百二十六座に関する書上あり。

**2024A-3591**

**記載書名1:**平定教匪紀略 / 巻上・内

記載著者: 小川 / 徳・役割: 編

22.9×14.7cm 3枚 写

書誌注記: 〈形〉破損, 汚れあり, 丁の右下に丁番号あり。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3697**

**記載書名1:**(北史 / 懸窩記ほか)

9丁, 24.7×17.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉修正あり。

**2024A-3245**

**記載書名1:**文徳実録・内

2丁, 24.0×16.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書あり。

**2024A-3812**

**記載書名1:**(横浜表居留各国商人名前ほか / 未六月御開港より申閏三月迄入港各国)

3丁, 12.8×33.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 切紙1の貼付あり(1丁裏)。〈伝〉「鵜 / 総」と印字されたカードの差込みあり, 上に「(安政六年)未六月御開港より申閏三月迄入港各国左之通」と万年筆書きあり。

**1.4.2. 伝記・系譜**

**2024A-3800**

**記載書名1:**(一休宗純説話)

11丁, 26.1×16.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉1丁め欠, 綴じ外れ, 丁の右下に丁番号あり, 最終丁の丁間(袋綴じの間)に下敷きの差込みあり。〈書〉読み仮名の施し, 修正, 修正液の痕あり。

**2024A-3264-6**

**記載書名1:**学中著名ノ学士小伝・目

28.7×40.3cm 1枚 写

書誌注記: 〈書〉裏面に書込みあり。〈般〉目次のみ。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3224**

**記載書名1:**(熊沢蕃山小伝)

6丁, 24.7×17.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 破損あり。

**2024A-3789**

**記載書名1:**御年譜(徳川将軍家)・外

21丁, 21.8×15.9cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉四ツ目綴, 青色表紙, 1丁めに下げ札(墨書「御年譜」)の貼付あり。書籍の地を裁断。〈書〉修正あり。〈伝〉(印記)「岡頼」(後ろ表紙見返し)。

**2024A-3549**

**記載書名1:**(人物略伝 武田信玄 / 鳥居強右衛門ほか)

5丁, 22.5×16.2cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 9行灰色罫紙。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 修正液の痕あり。

**2024A-3743**

**記載書名1:**朱博鳥集・内

2丁, 25.1×16.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書あり。〈般〉朱博伝記に対する注釈。

**2024A-3496**

**記載書名1:**(先哲叢談 / 山崎闇齋)

7丁, 28.2×20.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 一部破損, 汚れ。〈書〉修正あり。

**2024A-3553**

**統一書名:**先哲叢談

**記載書名1:**(先哲叢談 / 書抜き)

6丁, 27.0×19.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施し, 貼紙による修正あり。

**2024A-3518**

**記載書名1:**宋遺民鄭所南小伝 / 清水筆語・内

記載著者: (明) / 盧 / 熊・役割: 志

17丁, 24.5×17.2cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 黒色匡郭紙, 柱刻「大全巻」。〈書〉修正, 欄外書入による注記あり。

**2024A-3228**

**記載書名1:**[宋朱晦菴先生]名臣言行録輯釈・内

**記載書名2:**名臣言行録・外

書写・刊行年: 文政10年

4丁, 24.6×16.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱点, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3753

記載書名1: 宋朱晦菴先生名臣言行録前集 / 卷之一・内

記載書名2: 宋朱晦菴先生名臣言行録 卷一・外  
記載著者: (宋) / 朱 / 晦庵 / 先生・田中 / 次郎・役割: 著・写

書写・刊行年: 明治26年

31丁, 24.6×16.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈写〉朱書「田中次郎写終 / 明治二十六年十二月廿八日写」(末尾)。〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 欄外書入あり。〈伝〉(印記)「田中次郎」, (印記)「田中畏天」, 裏表紙に墨書「吉富石丸」。

#### 2024A-3264-3

記載書名1: (中国歴代名医系譜図)

69.0×25.3cm 1枚 写

書誌注記: 〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3736

記載書名1: 琵琶法師・内

記載著者: 桜公

7丁, 24.6×16.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉振り仮名付き, 訓点の施しあり。

### 1.4.3. 武鑑

#### 2024A-3269

記載書名1: 正月三十日御束帯行列附・内

書写・刊行年: 安政4年

22.0×28.7cm 2枚 刊

書誌注記: 〈形〉二枚1組。〈般〉摺り物武鑑。無刊記。

### 1.4.4. 兵書

#### 2024A-3712

記載書名1: 種嶋虎ノ巻 / 大唐流ノ巻 / 西洋書(鉄砲)・内

42.1×28.8cm 2枚 写

書誌注記: 〈形〉汚れあり。〈伝〉「小河様」宛。

## 1.5. 地理 / 1.5.1. 地誌・紀行

#### 2024A-3793

記載書名1: 華胥国記・外

31丁, 13.3×19.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉赤色表紙, 仮綴じ。〈書〉修正あり。〈般〉内容は道中記(音戸の瀬戸, 宇治川, 豊川稲荷ほか), 内容年代は弘化3年。

#### 2024A-3206

記載書名1: (紀行 仙台 / 北上 / 那須 / 福島)

26丁, 24.3×17.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙(1丁のみ)。〈書〉修正, 朱書, 修正液の痕, 欄外書入あり。

#### 2024A-3554

記載書名1: 峡中 / 下・尾

24丁, 22.6×14.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉紐で一括。〈書〉修正, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3220

記載書名1: (信濃人名 / 地名考)

11丁, 24.0×16.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙(部分) / 10行赤色罫紙「国幣中社王前神社」用箋(部分), 8丁め表に切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入あり。〈般〉内容は今井兼平 / 軀絵(巴御前) / 多田嘉助 / 佐久間象山 / 上田駅 / 松本 / 高島城 / 松代ほか。

#### 2024A-3684

記載書名1: 南遊雜記・内

記載著者: 正庸・役割: 著

書写・刊行年: 安政3年

18丁, 24.9×17.2cm 1冊 写

書誌注記: 〈写〉墨書「安政三辰七月東征前写之 / 正庸」(末尾)。〈形〉仮綴じ。

#### 2024A-3804

記載書名1: 西久保鎮守八幡宮御縁記・内

記載書名2: 西久保鎮守八幡宮御縁記之路・外

記載著者: 荏原 / 岩太郎・役割: 写

書写・刊行年: 天保6年

4丁, 25.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 修正液の痕あり。

#### 2024A-3221

記載書名1: 游歴日本図経(序 / 公門図ほか)

記載著者: 雲竜・役割: 述

10丁, 25.0×16.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。

#### 2024A-3702

記載書名1: 瑤池紀聞・外

46丁, 22.8×16.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉四ツ目綴, 丁子色表紙, 10行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 青色書入, 欄外

書入、欄外見出しあり。〈般〉内容は論語／左伝ほかの学習ノート。

#### 2024A-3803

**記載書名1**：渡良瀬堤防事歴大要・内・外

9丁, 24.5×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉表紙に墨書「下毛国足利郡山前村／大字大前」。〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 「天田製」用箋。〈書〉修正あり。〈奥〉(奥書)「字数五七百ニ止む碑ノ大さ四尺ニ四尺五寸之中ニ納むる事壹字の大壹寸式三分」。

### 1.5.2. 地図

#### 2024A-3779

**記載書名1**：(2万分の1地図 鯖江／栗田部)

記載著者：日本帝国陸地測量部・役割：刊

書写・刊行年：明治43年

82.0×102.5cm 1枚 刊

書誌注記：〈版〉仮製版。〈書〉武岡鉄道本線／同支線／鯖江予定線などの書入あり。

### 1.6. 文学・語学・字書 /1.6.1. 国文学

#### 2024A-3247

**記載書名1**：(源氏物語)

22丁, 24.5×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 下敷きの挟込あり。〈般〉巻ごとの事績を年譜形式でまとめる。

#### 2024A-3769

**記載書名1**：(源氏物語)

10丁, 28.8×20.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉注釈書入あり。〈般〉冒頭部分から「夕顔」まで。

### 1.6.2. 和歌

#### 2024A-3388

**記載書名1**：国詩稿・外

書写・刊行年：明治13年

17丁, 20.7×13.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に書入れ, 修正, 朱書あり。〈伝〉(印記)「武田」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

### 1.6.3. 草双子

#### 2024A-3211

**記載書名1**：草々雑記(根南志草序ほか)

15丁, 26.0×15.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。

#### 2024A-3434

**記載書名1**：(星岡生戯作／伊香保紀行)

記載著者：星岡／生・役割：著

13丁, 19.6×13.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉「乙酉夏日雄香山客次為木村氏之星岡生戯作併題」(末尾)。〈書〉朱書, 校正痕あり。〈般〉星岡生戯作の冒頭「何国如何なる郷とも定かならねど在昔一人の有髪僧ありたり」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

### 1.6.4. 辞書・字典

#### 2024A-3703-2

**記載書名1**：(欧南遣使考緒言・内

記載著者：平井／希昌・役割：著

書写・刊行年：明治9年

2丁, 23.2×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉欄外書入あり。〈備〉3703-1の表紙と1丁めの間に挟込。

#### 2024A-3706

**記載書名1**：(習学帳)

102丁, 15.8×11.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 12行青色罫紙。〈書〉欄外書入あり。〈般〉学習ノート, 英文も所々あり。

#### 2024A-3776

**記載書名1**：(語彙集抄ほか)

11丁, 28.9×19.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 11行茶色罫紙。

#### 2024A-3253

**記載書名1**：(語彙注釈 沈約宋書ほか)

30丁, 24.5×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 丁間(袋綴じの間)に下敷差込あり, 虫損甚大。〈書〉欄外見出しあり。〈備〉3252～3257は紙綴一括。

#### 2024A-3258

**記載書名1**：(語彙注釈 時刻干支星晨方位ほか)

92丁, 28.0×19.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 11行黒色罫紙, 「学問所」用箋ほか, 土台は写本「五大史和解」などだが表面を裏返して使用し, 各頁の上に経典の写し

を切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に「時刻」「干支」「星晨」「方位」ほか項目分類ラベル貼付。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3259

##### 記載書名1:(語彙注釈 車両, 馬具ほか)

125丁, 27.2×18.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 表紙欠, 後ろ表紙(紺色)あり, 土台は和刻本(和製漢籍)だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に項目分類ラベル貼付, 末尾に明治45年3月27日八王子町馬乗 松本欣三郎/早川亀寿の近火見舞礼状1(印刷)の挟込あり。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外見出し, 小口に墨書「四」ほかあり。

#### 2024A-3273

##### 記載書名1:(語彙注釈 釈古今ほか)

108丁, 27.2×18.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉五ツ目綴, 紺色表紙, 部分的に9行黒色罫紙。〈書〉朱書, 欄外書入による注記, 小口に墨書「六」とあり。〈般〉土台は和刻本(和製漢籍)だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。見返しに「釈古今」「釈歳紀」「釈春秋」「釈月日」「釈昼夜」「釈干支」「釈時刻」「釈通令」「釈雑」「釈克択」「釈方位」「釈節氣」「釈星晨」「釈年号」と目録あり。

#### 2024A-3277

##### 記載書名1:(語彙注釈 時間, 節氣ほか)

89丁, 28.0×19.3cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 11行黒色罫紙, 「学問所」用箋。〈書〉訓点の施し, 欄外見出しあり。〈般〉土台は写本または答案書「三国志問目」などだが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。

#### 2024A-3278

##### 記載書名1:(語彙注釈 儀容儀礼ほか)

71丁, 27.5×18.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に9行黒色罫紙, 土台は和刻本(和製漢籍)だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に項目分類ラベル貼付。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入による注記あり, 小口に墨書あり。〈般〉「頭容」「手容」「坐容」ほか。

#### 2024A-3296

##### 記載書名1:(語彙注釈 人物人稱ほか)

76丁, 27.3×17.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉五ツ目綴, 紺色表紙, 部分的に黒色罫紙, 版心「心齊」, 土台は和刻本(和製漢籍)だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に項目分類ラベル貼付。〈書〉朱書, 訓点の施しあり, 小口に墨書「八」とあり。〈伝〉表紙の右上に「目録記載了」と書かれたラベルの貼付あり。

#### 2024A-3818

##### 記載書名1:(語彙注釈 天文節氣ほか)

128丁, 27.6×17.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 紺色表紙, 土台は和刻本(和製漢籍)だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に項目分類ラベル貼付あり。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入, 小口に墨書あり。〈般〉内容は「節」「歳」「干支」「吉凶」ほかに関する類書にある語彙への考証と注釈。

#### 2024A-3819

##### 記載書名1:(語彙注釈 鬼神ほか)

209丁, 27.4×18.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 紺色表紙, 土台は和刻本(和製漢籍)だが表面を裏返して使用し, 各頁の上に經典の写しを切り貼りしてできたもの。1.1.2. 叢書の「侯雅」(3260)に形状が類似している。柱部に項目分類ラベル貼付, 表紙に下げ札(墨書「霊」)貼付あり。〈書〉朱書, 欄外見出しあり, 小口に墨書あり。〈般〉内容は「鬼神」「霊」「天」ほかに関する類書にある語彙への考証と注釈。

#### 2024A-3703-1

##### 記載書名1:集説録・外

10丁, 24.0×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉読みルビ, 欄外見出しあり。〈伝〉(印記)「登玖藏本」。〈般〉「骨董集」の一部の写し。

#### 2024A-3784

##### 統一書名:商売往来

##### 記載書名1:商売往来・内

##### 記載書名2:商売・柱

11丁, 25.7×17.9cm 1冊 刊

書誌注記:〈版〉見返しに「万億商売往来福德藏」とあり。〈形〉仮綴じ, 紺色表紙, 題簽欠, 汚れあり。〈般〉他の鶚軒文庫本よりも初歩的。



**2024A-3786****記載書名1: 日知鈔録(学習帳)・内・外**

50丁, 15.6×11.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 10行青色罫紙, 24丁と25丁の間に切紙1 (墨書「有邵有苗 / 是文語解…」)の挟込あり。〈書〉修正, 欄外見出し, 欄外書入による言葉の訂正あり。

**2024A-3631****記載書名1: 北溟録・外**

4丁, 25.0×16.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施しあり。〈般〉内容は古典の漢字注釈。

**1.6.5. 語学****2024A-3288****記載書名1: 字音仮字・内**

4丁, 24.8×16.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 汚れあり。〈書〉修正あり。〈伝〉印「本庄」(表紙)「鶚 / 総 / 字音仮字」と書かれたカードの挟込あり。

**1.6.6. 漢詩文****2024A-3597****記載書名1: (哀悼詩)**

2丁, 24.2×16.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 「内務省」用箋。

**2024A-3675****記載書名1: (哀悼詩 劉先生)**

記載著者: 竹郊 / 温・役割: 著

書写・刊行年: 文化2年

5丁, 27.6×19.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈著〉巻首に墨書「文化乙丑十有一月 / 小子温謹奉書」あり。〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

**2024A-3381****記載書名1: (哀悼詩集 福井藩4代藩主松平光通・10代藩主松平宗矩ほか)**

40丁, 24.8×18.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 元は黄色の表紙があったが除去されている。〈書〉修正あり。〈伝〉見返しに「桂春」と墨書あり, 後ろ表紙のあった場所からみて後ろ表紙見返しに古書店の符号印(印文は判読不明)がある。〈般〉内容は福井藩第4代藩主松平光通70回忌法語, 10代藩主松平宗矩祭文ほか。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3407****記載書名1: 愛梅説・内**

25.1×18.2cm 2枚 写

書誌注記: 〈形〉11行黒色罫紙, 「学問所」用箋。〈書〉修正, 「十一月十日 / 田舎御割合 / 菅野」と裏書きあり。〈般〉二枚めの内容は, 4月15日の江都火災・地震と日光例幣使の日付など年表風に書付。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3456****記載書名1: 接浅井先生席間賦呈 / 壬午十月初・外**記載著者: 志賀 / 栗 / 十時 / 有璞ほか・役割: 著  
3丁, 24.3×17.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 2丁裏に切取りあり。〈般〉明治15年10月浅井国幹が熊本県に赴く前の壮行会で作られた漢詩集。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3489****記載書名1: 安積良斎文抄(呉梅村詩鈔序ほか)・外**

記載著者: 安積 / 良斎・役割: 著

14丁, 24.7×17.2cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 欄外書入, 訓点の施しあり。〈伝〉「鶚 / 詩文 / 1204 / 良斎文略 / 上巻・中巻ニアリ」と書かれたカードの挟込あり(表紙の丁間)。

**2024A-3622****記載書名1: 記阿富事・内**

記載著者: 前園 / 玄祥・役割: 著

24.0×31.6cm 1枚 写

書誌注記: 〈書〉訓点の施しあり。

**2024A-3669-3****記載書名1: 次有礪先生秋日十五首之韻内五首・内**

2丁, 24.7×17.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈書〉欄外書入あり。

**2024A-3212****記載書名1: (井伊直弼建碑会創立主旨)**

3丁, 24.3×16.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。〈書〉修正, 朱点あり。〈般〉冒頭は「建碑総代某等謹テ本日来会ノ諸君ニ白ス」, 発起人は旧彦根藩士武笠資節。

**2024A-3685****記載書名1: 宇多松原記・内**

2丁, 25.5×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉綴じ外れ。〈書〉朱書修正，訓点の施しあり。

**2024A-3248**

**記載書名1：(游雲門山記ほか)**

記載著者：王／元美・役割：著

11丁，25.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正，朱書，青色訓点の施し，欄外見出しあり。

**2024A-3422**

**記載書名1：会幹評・外**

記載著者：斗南／老人・役割：撰

3丁，23.8×15.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書，朱点，欄外書入による評価，末尾に朱書「総是清奇可驚／粗率下筆不免唐突之罪／幸恕」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3420**

**記載書名1：課外集(初夏舟遊ほか)・外**

10丁，26.3×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，8行青色罫紙，「第七大区三区」用箋。〈書〉朱書，朱点，訓点の施し，欄外書入による甲～丁の評価，末尾に「六月念三日／陽崖散人妄言多罪」の批語あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3394**

**記載書名1：各詠・外**

記載著者：木仙堂／雅契・役割：著

14丁，21.8×14.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「乞正／斗南先生」，修正，朱点，朱書，甲乙丙評価，斗南による批語あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3368**

**統一表記：花月吟**

**記載書名1：花月吟・内・外**

記載著者：菅／茶山・役割：著

9丁，19.0×12.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施し。〈伝〉朱印あり。〈般〉内題の下に「寄平安故人／倣唐伯虎體」とあり，附録に唐伯虎の花月吟あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3526**

**記載書名1：(漢詩奉和 輯斎老丈閑坐偶作芳韻ほか)**

記載著者：貞風／重光ほか・役割：著

2丁，20.6×13.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

**2024A-3635**

**記載書名1：頑夫論・内・外**

4丁，24.2×16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正，朱書，評価あり。

**2024A-3754**

**記載書名1：(漢文賀状 開先生宛 君值新年赴上州…)**

記載著者：武廉・役割：著

27.6×38.2cm 1枚 写

書誌注記：〈般〉七律漢詩の後に「右聞新年／開先生赴温泉固奉贈之／武廉／頓首々々」とあり。

**2024A-3755**

**記載書名1：(漢文賀状 某文宛 傷此甲陽道山陰不易行…)**

記載著者：武廉・役割：著

27.5×37.7cm 1枚 写

書誌注記：〈般〉五律二首の後に「右／送某文行甲州／武廉」とあり。

**2024A-3756**

**記載書名1：(漢文賀状 開小先生宛 林風飛雪自紛然…)**

記載著者：武廉・役割：著

27.6×38.3cm 1枚 写

書誌注記：〈般〉七律一首の後に「右奉贈雪中／開小先生机下／武廉／百拜」とあり。

**2024A-3522**

**記載書名1：(漢文書簡)**

記載著者：林／子平・役割：著

24.2×16.9cm 1枚 写

書誌注記：〈伝〉水藩岡野子言宛。

**2024A-3590**

**記載書名1：(漢文書簡 野呂天然云…)**

記載著者：野呂／天然・役割：著

書写・刊行年：文化14年

3丁，24.7×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行黒色罫紙，柱刻「生象独断」「巻第」。〈書〉訓点の施しあり。〈伝〉上野武七郎宛。

**2024A-3378-2****記載書名1:記事(藤原秋田敏実伝)・内**

3丁, 23.9×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入, 喬による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括, 3778-1に挟込まれる。

**2024A-3610****記載書名1:(妓与画数/三)**

記載著者:秋/水龍・秀/睡龍・周/粹龍・役割:著・算・訂

4丁, 17.7×11.6cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 丁子色表紙, 10行黒色罫紙。〈奥〉(奥書)「于時文化徒維撰提格春正月辛丑日正午試筆」。〈伝〉(印記)「岡崎之印」, (印記)「周子能之」。

**2024A-3540****記載書名1:吟弄窓随筆・内・外**

6丁, 23.8×16.3cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 後ろ表紙に切紙1(墨書「石氏豪奢…」)の貼付あり。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 観瀾居士/天放居士による批語あり。

**2024A-3305****記載書名1:衣川詩稿・外**

記載著者:盃/文興・役割:写

10丁, 16.5×11.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 8行黄色罫紙。〈伝〉(印記)「又煉竈」「瓜葛」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括/3298～3310まで紐で一括。

**2024A-3474****統一書名:嚮風草****記載書名1:嚮風草/二編/卷之四・内**

27.6×19.8cm 2枚 写

書誌注記:〈形〉緑色匡郭紙。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3332****記載書名1:近製詩稿・内**

3丁, 12.1×32.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3443****記載書名1:琴譜(小操/偶成ほか)・外**

記載著者:勝/読書屋・役割:写

10丁, 24.4×17.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。〈書〉中国語での読み方を朱書で注記してある。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3438****記載書名1:愚亭遺稿(読史有感ほか)・内**

3丁, 25.1×17.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3486****記載書名1:(敬字文集 江村石合先生墓碑銘)**

記載著者:中村/正直/敬字・役割:著

書写・刊行年:明治6年

24.9×17.8cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉青色方眼紙(18マス×18行)。〈伝〉「鶚/詩文/九〇六/敬字文集/巻十/三丁ニアリ」と書かれたカードの貼付あり(丁間)。〈般〉江村石合は田口文蔵。

**2024A-3513****記載書名1:奎堂遺稿序・内・外**

記載著者:服部/穰・役割:撰

書写・刊行年:慶応3年

5丁, 23.0×16.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉包背装, 10行青色罫紙。〈奥〉(識語)哲太郎(末尾)。〈書〉本文赤字, 読点の施し, 欄外書入による注釈あり。〈般〉服部穰は尾張藩士。

**2024A-3396****記載書名1:迎陽詩稿・外**

記載著者:陽崖/雪湍ほか・役割:著

8丁, 22.5×15.1cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 8行青色罫紙, 陽崖山人による自筆漢詩(裏面に画のある切紙1)と鈴木松塘漢詩印刷物1(黄色切紙, 裏面は桃色)の挟込あり。〈書〉欄外に甲～丁の評価, 末尾に益松妄評と批語あり。〈伝〉印記あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3314****記載書名1:蔽君遺稿/詩・外**

2丁, 23.7×15.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉朱点, 訓点の施し, 欄外に〇印評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3398**

**記載書名1：原稿・外**

記載著者：陽崖／雪湍ほか・役割：著

6丁, 22.1×14.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱点, 欄外書入による甲～丁の評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3298**

**記載書名1：兼好草・外**

41丁, 19.4×9.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 部分的に5行黒色罫紙。〈書〉朱書, 訓点の施し, 朱点あり。〈般〉漢詩集。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括/3298～3310まで紐で一括。

**2024A-3351**

**記載書名1：倦遊稿・内**

記載著者：海南／紫瀾／漁史・役割：著

17丁, 24.5×16.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 8行青色罫紙, 「司法省」用箋。〈書〉修正, 句読点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3470**

**記載書名1：甲寅詩稿／春夏秋冬・外**

10丁, 24.3×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 2丁めウラから3丁めオモテにかけて切紙貼付1あり。〈書〉修正, 緑墨の訓点の施し, 修正液の痕あり。〈伝〉(印記)「菅野」, (印記)「文淵卅二年四百卅四ヵ」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3425**

**記載書名1：甲寅小稿・内・外**

書写・刊行年：(甲寅～丙辰)年

16丁, 23.7×16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 10行青色罫紙, 巻首に切紙1 (墨書「当外ノモノ所蔵ニアリ除ク」)の挟込あり。〈書〉修正, 朱書, 欄外に○印による評価あり。〈伝〉(印記)「岩本蔵書」, 後ろ表紙に俳句墨書(「うかうかと／年よる人や／ふる暦」)あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3397**

**記載書名1：江山吟社／第十集・内**

記載著者：天野／耕・役割：輯

10丁, 18.5×11.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐

一括。

**2024A-3623**

**記載書名1：孝女白菊詩・内**

記載著者：井上／巽軒・役割：著

6丁, 23.9×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行緑色罫紙。〈書〉朱書あり。

**2024A-3334**

**記載書名1：鴻漸齋詩文・内**

記載著者：(大概／磐溪)・役割：著

6丁, 24.6×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉句読点の施し, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3416**

**記載書名1：高帝斬丁公論／烈婦伝／新婦怨・内**

記載著者：長岡／微山・役割：写

書写・刊行年：明治13年

5丁, 21.9×15.1cm 1冊 写

書誌注記：〈写〉墨書「明治十三年七月廿七日／長岡微山写」(末尾)。〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3741**

**記載書名1：弘道館記・内**

記載著者：齊照・役割：撰

書写・刊行年：天保9年

3丁, 25.0×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉篆額縮図あり。

**2024A-3563**

**記載書名1：江風山月書樓記・内**

5丁, 24.9×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉訓点の施し, 欄外書入, 末尾に山県亮による批語あり。〈般〉安政2年と安政3年に書かれた遊記2篇。

**2024A-3688**

**記載書名1：酬甲府督学田辺某八十韻・内**

2丁, 25.7×18.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書あり。

**2024A-3401**

**記載書名1：書黄葉夕陽邨舍詩卷後・内**

24.5×36.0cm 1枚 写

書誌注記：〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3626

記載書名1：小金一月寺略縁記・内

2丁, 26.9×18.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉欄外書入による評価あり。

#### 2024A-3593-2

記載書名1：古今成敗由人存亡繫才・内

11丁, 24.4×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈般〉内容は「伴孝子碑陰記」「田井氏墓表」「房州国分寺碑略写」ほか漢文の写し。〈備〉3593-1～2は紐一括。

#### 2024A-3371

記載書名1：寿藤田正伯医仙四十初度・内

19丁, 24.0×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 切紙の貼付と挟込が随所にあり(切紙数は計22)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3303

記載書名1：古梅園記・内

書写・刊行年：天保14年

3丁, 18.4×12.0cm 1冊 写

書誌注記：〈序〉文末に「天保癸卯之秋余来遊有所感聊作記贈之」とあり。〈形〉仮綴じ, 6行青色罫紙, 「沢愛堂」用箋。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括/3298～3310まで紐で一括。

#### 2024A-3656

記載書名1：鼓缶説・内

記載著者：越融／仲通・役割：著

書写・刊行年：寛政11年

5丁, 24.6×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈写〉墨書「寛政十一歳写(末尾)」。〈形〉仮綴じ。〈書〉藤原武による訓点の施しあり。

#### 2024A-3390

記載書名1：在陰詩社主人間見・外

記載著者：松本／元珣／文斎／川本／貞ほか・役割：著

84丁, 25.0×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 虫損甚大。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付さ

れ紐一括。

#### 2024A-3630

統一書名：西園雅集

記載書名1：西園雅集図記・内

記載著者：(北宋)／米／南宮・役割：著

2丁, 28.1×18.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈奥〉(識語)あり。

#### 2024A-3300

記載書名1：雑詩稿・外

記載著者：島田／仁卿ほか・役割：著

23丁, 12.4×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 丁間(袋綴じの間)に下敷き差込あり。〈書〉朱書あり。〈伝〉後ろ表紙に「甲寅孟陽／寫田仁卿」と墨書あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括/3298～3310まで紐で一括。

#### 2024A-3239

記載書名1：雑詩文(大村／長崎ほか)・外

記載著者：従／容処／向山／黄邨／堀川／春江ほか・役割：著

38丁, 22.2×15.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 「上田」用箋, 青色方眼紙(20マス×10行), 10行赤色罫紙, 「東京府」用箋, 8行青色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 欄外書入あり。〈伝〉(印記)「容庵」。

#### 2024A-3236

記載書名1：(雑集 杜工部五律／左氏伝／昇平日新録抄ほか)

36丁, 24.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

#### 2024A-3272

記載書名1：(雑集 淮南子摘要／鶴林玉露摘要拔書／灸法指南ほか)

44丁, 13.2×18.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴。茶色表紙。11行茶色罫紙。〈書〉修正液の痕あり。〈般〉元禄14年林鳳岡／林信充／林信廉の漢詩文ほか。

#### 2024A-3389

記載書名1：雑集(歳暮書懷／癸卯元日試筆ほか)・外

記載著者：陶溪／小石ほか・役割：著

21丁, 24.0×17.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙, 部分的に10行赤色罫紙, 切取りあり。〈書〉朱書,

朱点, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3404

記載書名1:(雑集(立春ほか)・外

記載著者: 松溪/主人・役割: 著

8丁, 22.5×16.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉包背装, 赤色方眼紙(22マス×13行), 「司法省」用箋。〈書〉朱点あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3424

記載書名1:(雑集 九月廿日詩会宿題 秋山/秋夜/骨董囊序/春暁/正月廿一夕詩会ほか)

記載著者: 栗田/川崎/山辺ほか・役割: 著

14丁, 25.0×16.5cm 1綴 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 部分的に9行青色罫紙, 「狂蘭社」用箋。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3449

記載書名1:(雑集 秋声冰/秋声評/夏冰歌/夏冰歌評ほか)

42丁, 25.3×17.1cm 10冊1綴 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 9冊合綴, 10行青色罫紙, 「富嘉山」用箋/12行赤色罫紙。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3460

記載書名1:(雑集 飲酒/奉送大滝老君丈広/新洞竹枝ほか)

53丁, 23.9×16.3cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 切紙貼付数か所, 前から24丁めの丁間(袋綴じの間)に切紙2, 後ろから16丁め・12丁め・10丁めの丁間にそれぞれ切紙1の差込, 後ろから5丁めと6丁めの間に切紙1(墨書「藩幹(ママ)譜第一/第二」ほか)の挟込あり。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入あり。〈般〉「天保十乙亥初春」(9丁め裏)などとある。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3506

記載書名1:(雑集 前太平記/和文天祥正気歌/三省録ほか)

31丁, 26.5×18.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, ほぼ11行黒色罫紙(無地紙もある), 「学問所」用箋。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3548

記載書名1:(雑集 公之治斎也…ほか)

6丁, 28.2×19.5cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉無地紙4丁綴り, 無地紙3枚, 仮綴じ1冊, 黒色方眼紙(21マス×10行)1枚。このうち, 無地紙2枚(墨書「竜炎院殿如水円清大居士碑銘」「君式先生紀行文」)および1冊(仮綴じの詩稿 山際操著)は4丁綴りに差込み。〈書〉修正, 朱書, 読点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3550

記載書名1:(雑集 送丸山峯卿帰省故郷序ほか)

8丁, 25.1×17.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 緑色方眼紙(20マス×10行), 反古紙を使用。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3562

記載書名1:(雑集 十三夜小集得夜字/明心楼記ほか)

47丁, 27.6×18.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 部分的に青色方眼紙(18マス×18行), 部分的に10行青色罫紙, 紙の切り取りあり。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3569

記載書名1:(雑集 送児玉士常遊九国四国叙ほか)

記載著者: 吉田/矩方/淡庵ほか・役割: 著

6丁, 24.5×16.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈著〉墨書「浚尾未定草」(末尾)。〈形〉綴じ外れ, 最初の一丁は青色方眼紙(10行×20マス), 「東京南鍋町第一街/回春堂」用箋, 2丁め以降は無地紙。〈書〉修正, 朱書あり。

#### 2024A-3558

記載書名1:(雑集 題南陵先生遺稿/閑居雜詠唱和ほか)

記載著者: 高橋/栗/大島/桃年ほか・役割: 著

32丁, 25.0×18.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 1丁めは黒色匡郭紙, 2丁め以降は10行青色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3589

記載書名1:(雑集 偶成/青柳家譜/詠檀浦)

記載著者: 飯村/庸徳ほか・役割: 著

40丁, 28.3×19.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈著〉飯村庸徳/鈴木重宣/鈴木翠軒ほか。〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 虫損, 拓本なども綴じ込まれている。〈伝〉印記あり。

**2024A-3595****記載書名1:(雑集 題楠公像ほか)**

記載著者:杜牧/精里ほか・役割:著

5丁, 24.3×16.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に9行青色罫紙, 部分的に10行黒色罫紙, 表紙に破損あり。〈伝〉表紙に習字練習の痕あり。

**2024A-3604****記載書名1:(雑集 楠石論/岳武穆画像賛ほか)**

記載著者:釈/大我/絶外ほか・役割:著

22丁, 25.1×18.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に10行黒色罫紙。

**2024A-3661****記載書名1:(雑集 送中川強甫序/清先霊神小伝)**

3丁, 24.6×16.9cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に灰色方眼紙(20マス×9行)(16マス×8行)。〈書〉訓点の施し, 修正液の痕あり。〈般〉それぞれの冒頭に「強甫戸田侯之聘…」「霊神…其族朝日氏武蔵国岩淵郷赤羽村祠守也…」とあり。

**2024A-3676****記載書名1:(雑集 三遊堅田記侯別荘詩歌序ほか)**

記載著者:松平/乗一/子貫ほか・役割:著

22丁, 24.5×17.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に11行罫紙, 「静寄東軒」用箋, 部分的に11行灰色罫紙, 部分的に10行黒色罫紙, 2丁めと3丁めの間に切紙1(墨書「此五種目録記載了」)の挟込あり。〈書〉朱書, 訓点の施し, 修正液の痕, 欄外書入あり。

**2024A-3677****記載書名1:(雑集 范蠡伍員孰優論/銚江斎藤先生墓碣銘ほか)**

記載著者:斎藤/謙/野田/逸ほか・役割:著・撰

13丁, 25.2×17.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 汚れ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入による評価, 篠崎小竹による批語あり。〈般〉野田は丹後の人。

**2024A-3690****記載書名1:(雑集 世俗君子有言曰…)**

22丁, 26.5×17.9cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。異なる種類の罫紙を綴じたもの(10行青色罫紙/12行青色罫紙/10行赤色罫紙/11行赤色罫紙ほか), 4丁めと5丁めの間に切紙2, 5丁めと6丁めの間に切紙1の挟込あり。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入, 評語あり。

**2024A-3691****記載書名1:(雑集 痛繩/学館而草稿/諭即仏檄/白石僑屋襟詩ほか)**

23丁, 27.7×19.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉数冊の稿本を紙縫で合綴したもの。〈書〉修正, 朱書あり。

**2024A-3729****記載書名1:(雑集 侯鯖録ほか)**

記載著者:(宋)/聊復翁/趙/徳麟ほか・役割:著

12丁, 24.2×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正あり。〈伝〉印記あり(1丁表), (印文)「文淵四十壹□三百五十一」。

**2024A-3773****記載書名1:(雑集 晩春即事ほか)**

51丁, 26.9×17.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 9行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱点, 欄外書入による注記あり。

**2024A-3772****記載書名1:(雑集 晴雨傘賛并序ほか)**

38丁, 26.8×18.4cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 紺色有紋様表紙, 部分的に10行黒色罫紙, 「学問所」用箋, 11行黒色罫紙, 切紙1(墨書「与人論学書」)の差込あり。〈書〉修正, 朱書あり。〈般〉後ろ表紙に墨書「陸剗犀兕水伐鯨孟勞万古伝其名呉鉤大櫓亦」とあり。

**2024A-3208****記載書名1:雑文輯録・外**

6丁, 24.7×16.6cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点あり。〈伝〉墨書「今村了庵」(末尾)。

**2024A-3408****記載書名1:賀三秀亭前生芝三年及主人不惑之辰・内**

記載著者:村井/百間・役割:著

2丁, 25.2×16.9cm 1冊 写

書誌注記:〈序〉「寄題三秀亭」と題にした切紙1の貼付あり。〈形〉仮綴じ。〈般〉墨書「慈斧/村井百間/未定稿/拜具」(末尾)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3744****記載書名1:(詩韻集抄)**

9丁, 25.5×17.9cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

## 2024A-3355

記載書名1：四季課題 / 丁卯・外

3丁, 22.8×16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 「金花堂」用箋。〈書〉欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3547

記載書名1：(詩言 螟蛉有子蜾蠃負之伝…)

28.8×17.6cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉綴じ穴あり。〈書〉修正あり。〈般〉裏面に漢詩一首あり。

## 2024A-3205

記載書名1：(詩稿 答原叔豫ほか)

25丁, 25.0×17.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 綴じ外れ。切紙貼付, 切紙貼付剥がれ。〈書〉切取り, 修正, 朱書あり。

## 2024A-3279

記載書名1：(詩稿 夢登富岳ほか)

24.4×188.0cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉継紙, 部分的に10行黒色罫紙, 末尾に切紙14を糊付けして巻き込み。〈書〉修正あり。

## 2024A-3302

記載書名1：(詩稿 庚申新年作ほか)

14丁, 12.5×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, ○印評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括 / 3298～3310まで紐で一括。

## 2024A-3318

記載書名1：(詩稿 題画ほか)

11丁, 24.0×16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3320

記載書名1：詩稿(元旦ほか)・内・外

92丁, 22.7×15.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 丁子色表紙, 10行青色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, ○印評価, 欄外書入あり, 見返しに羅鄴の漢詩あり。〈伝〉後ろ表紙見返しに墨書「至静圭蔵」ほか, 後ろ表紙見返し裏に(印)「文淵卅年千二百七十一」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」

と札が付され紐一括。

## 2024A-3321

記載書名1：(詩稿 玉前神社幟揮毫ほか)

5丁, 24.6×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行赤色罫紙, 「国幣中社玉前神社」用箋。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3322

記載書名1：(詩稿 鴉噪暮雲帰故蝶…)

記載著者：蔵叟 / 奇人・役割：写

34丁, 21.5×15.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行茶色罫紙, 破損, 汚れあり。〈書〉朱点, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3323

記載書名1：(詩稿 輪評詩元本)

記載著者：冬嶺 / 哲・役割：著

6丁, 23.5×15.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正液の痕あり, 後ろ表紙に墨書「伏乞 / 正」, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外に○印評価ほかあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3326

記載書名1：(詩稿 復池士明書ほか)

書写・刊行年：文化14～文政5年

10丁, 24.6×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 虫損甚大。〈書〉修正あり。〈般〉表紙に「自文化丁丑至文政壬午」とあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3327

記載書名1：(詩稿 乙亥歳)

46丁, 22.7×15.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行黒色罫紙, 「金花堂」用箋, 切紙貼付あり, 虫損甚大。〈書〉朱書, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

## 2024A-3328

記載書名1：(詩稿 鯨澤夜帰途上ほか)

11丁, 24.7×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。



**2024A-3329****記載書名1：(詩稿 美人磨鏡ほか)**

記載著者：杉本／生・役割：著

5丁, 24.9×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉1丁め表の右側に墨書「十一月二十五日 杉本生」, 修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入, 評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3333****記載書名1：詩稿(芳野懷古ほか)・外**

記載著者：大槻／先生・役割：著

書写・刊行年：(万延1～文久2)年

13丁, 23.2×15.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施しあり。〈般〉大槻磐溪の漢詩写し, 表紙に「庚申／辛酉／壬戌」と墨書あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3335****記載書名1：(詩稿 題北越紀行後／桂步居士之碑并銘ほか)**

記載著者：大橋／清・役割：撰

3丁, 24.7×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 7行赤色罫紙, 切取りあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3336****記載書名1：(詩稿 読処士劉因燕歌行慨然賦長篇ほか)**

記載著者：伊奈／実卿・役割：著

2丁, 31.7×20.8cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「謙堂真逸伊奈颯実卿拝稿」(末尾)。〈形〉仮綴じ。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3339****記載書名1：(詩稿 三成路上ほか)**

24丁, 26.4×18.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉朱書, 文中および欄外書入による注記あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3340****記載書名1：(詩稿 倡門観燈／奉呈宮津侯ほか)**

4丁, 28.6×19.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 黄色方眼紙(20マス×10行), 切紙貼付(内1枚剥がれ)。〈書〉朱点, 欄外書入による注記あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3341****記載書名1：(詩稿 冬夜作ほか)**

記載著者：武田／信義・役割：著

3丁, 24.5×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり, 末尾に「諸作皆佳作矣／而詩中間用宋人語言／猶耳作唐調／是以不免方鑿圓柄之態也／向來目不下唐人／諸集則或自解耳／改寅孟夏十八日／東里澄拝志」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3343****記載書名1：詩稿(元日ほか)・外**

記載著者：松壑窠／高／正貞・役割：著

14丁, 27.0×18.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損, 仮綴じ, 後ろから4丁めの丁間(袋綴じの間)に紙2「春日口号」ほか墨書)の差込あり。〈書〉欄外ほか○△印評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3345****記載書名1：(詩稿 丁丑冬辞郷渡最上河ほか)**

9丁, 21.2×16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行赤色罫紙, 「馮畊山」用箋。〈書〉修正, 欄外書入による評価, 末尾に任鈞溪／沈少坪／銭子琴による批語あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3346****記載書名1：(詩稿 路上ほか)**

記載著者：姫井／元哲／埜田／成ほか・役割：著

6丁, 24.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3349****記載書名1：(詩稿 己未歳四季)**

30丁, 21.7×15.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 「印徳山／▲印関口／○印井岡」(末尾), 欄外に○△などの書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3350****記載書名1：(詩稿 橋下浅水ほか)**

12丁, 12.3×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3352**

**記載書名1：詩稿(天保九年戊戌歳詩稿／天保十年己亥歳詩稿ほか)・外**

8丁, 25.0×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈伝〉(印記)「文淵卅二年四百卅四」(最終丁裏)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3353**

**記載書名1：(詩稿 訪鵬斎ほか)**

記載著者：仁科／源蔵／小石／元瑞ほか・役割：著

11丁, 25.0×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に11行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3354**

**記載書名1：詩稿(元夜ほか)・内**

記載著者：滄海／膝憲・役割：著

11丁, 25.0×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に「伏乞正」, 朱書による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3356**

**記載書名1：(詩稿 訪隠者不遇ほか)**

25丁, 25.0×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3357**

**記載書名1：(詩稿 遊佃島ほか)**

11丁, 24.5×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3359**

**記載書名1：(詩稿 閑中富貴ほか)**

記載著者：蛭雪／吟社・役割：著

4丁, 24.5×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「乞叱正」, 朱点, 訓点の施し, 朱書による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3360**

**記載書名1：(詩稿 雨後秋山／秋日閑居ほか)**

記載著者：正亮／迂生・役割：著

9丁, 22.7×14.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「敢奉斧鉞是仰／畏軒先生閣下」, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3361**

**記載書名1：(詩稿 元旦／立春／癸亥年冬夜讀書作ほか)**

12丁, 21.8×13.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 墨付の最終丁の丁間(袋綴じの間)に下敷き差込あり。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3362**

**記載書名1：詩稿(客夜聞雁ほか)・外**

記載著者：安田／式部・役割：著

19丁, 24.0×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 10行黒色罫紙, 「高蔵版」用箋, 「慶応二年寅晩冬極旬廿三日是改」ほかの切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書, ○印評価書入, 欄外書入あり。〈伝〉後ろ表紙に墨書(「此主／房州長狹郡／六村峯／安田式部／詩稿」)とあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3363**

**記載書名1：(詩稿 蠟梅ほか)**

11丁, 24.7×16.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切取りあり。〈書〉朱点, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3364**

**記載書名1：(詩稿 感懷／詠元冠記略ほか)**

5丁, 26.9×19.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3365**

**記載書名1：(詩稿 桃花／春尽有作ほか)**

3丁, 27.5×18.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価, 末尾に朱書「卷中諸作富乎滋麗／而乏于沈澁／此余之所以有後卷之評也／老兄若有取焉幸甚／章妄批」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3367****記載書名1：(詩稿 春風ほか)**

記載著者：如春／吟社・役割：著

9丁, 23.8×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉「黒岩静山君／竹崖君／松園君／世馨君」「浅田棕園／梗陰／拝見」(後ろ表紙墨書)。朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価, 末尾に墨書「叱正」, 朱書「甲申四月念八日於七曲草堂南楹牡丹花下閱了／松塘鱸彦之妄批」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3372****記載書名1：(詩稿 暮春偶成ほか)**

記載著者：武／敏／生・役割：著

12丁, 24.8×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「乞／大正」, 修正, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3373****記載書名1：詩稿(明治十一年元旦試筆ほか)・外**

書写・刊行年：明治11年

13丁, 23.0×14.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に9行黒色罫紙, 部分的に12行青色罫紙, 4丁めと5丁めの間に切紙2の挟込あり。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外に○印評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3375****記載書名1：詩稿(除夕ほか)・外**

7丁, 24.4×16.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切紙貼付あり。〈書〉修正, 朱書, 修正液の痕, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3377****記載書名1：(詩稿 春霽／梅花下小飲ほか)**

60丁, 24.3×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 22丁めと23丁めの間に切紙1(青色罫紙, 墨書「中秋望月」)の挟込あり。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, ○印および欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3383-1****記載書名1：(詩稿 放船ほか漢詩三十五首)**

記載著者：覆堂／信恭ほか・役割：著

5丁, 24.3×18.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 黒色方眼紙(20マス×9

行), 「窠軒叢書」用箋。〈著〉覆堂／信恭／綾北／惟章／矩正／信功／秀和／一徳ほか。〈書〉欄外朱書による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括, 3383-1・2は紙縫り一括。

**2024A-3384****記載書名1：(詩稿 十三夜／秋夜偶成)**

24.4×33.5cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉13行赤色罫紙, 「大蔵省」用箋。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3387****記載書名1：(詩稿 妙光院石道碑)**

24.1×32.5cm 1枚 写

書誌注記：〈書〉朱書, 欄外書入による評価, 新吾による批語あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3391****記載書名1：詩稿(発布師田ほか)・外**

記載著者：大町／庸・役割：著

5丁, 24.6×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉「丙辰暮秋／大町庸／稿」(末尾)。〈形〉仮綴じ。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3393****記載書名1：(詩稿 鎌倉郡平戸村薬師堂由緒)**

記載著者：杉浦／行篤・役割：著

24.2×33.5cm 1枚 写

書誌注記：〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3399****記載書名1：(詩稿 問月ほか)**

記載著者：高井／健・役割：著

3丁, 27.0×18.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3406****記載書名1：(詩稿 紙鳶ほか／丁酉二月会／丁酉三月会)**

4丁, 25.8×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉綴じ外れ。〈書〉修正, 欄外に書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3410**

**記載書名1：(詩稿 初冬山居ほか)**

記載著者：横塘／陽崖ほか・役割：著

11丁, 23.1×15.5cm 1冊

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行青色野紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価, 末尾に朱書「在宿長者之跡評長者之事則難／有劣者之中極劣者之聊猶難／笑予以易入功不成累々閑筆歟／茲于時十一年十一月春／鳴水妄評」あり。〈伝〉後ろ表紙に「冬暁／冬暖／炉辺夜話／舍幹／鳴水」(墨書)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3417**

**記載書名1：(詩稿 季秋念九訪藤伯敬賞菊花分韵得支時予携酒ほか)**

記載著者：寛制・役割：著

26.7×19.5cm 2枚 写

書誌注記：〈形〉綴じ外れ。〈書〉修正液の痕あり, 末尾に「拜草／伏乞／玉斧」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3418**

**記載書名1：(詩稿 過古戰場ほか)**

記載著者：角田／先生／下田／武七郎ほか・役割：著

23丁, 24.0×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入, 後ろから3丁めに棗山批評あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3419**

**記載書名1：(詩稿 読書ほか)**

27丁, 21.9×14.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行灰色野紙, 「運壁斎」用箋, 前欠。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外に○印評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3421**

**記載書名1：(詩稿 山居／落葉松説ほか)**

25.0×17.5cm 5枚 写

書誌注記：〈序〉明治12年跋あり。〈形〉綴じ外れ, 11行黒色野紙, 前欠。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。紙の大きさが揃いのため, 1枚めは別史料と合わせてみる必要がある。

**2024A-3426**

**記載書名1：(詩稿 上原先生植シ／寒斎夜座ほか)**

5丁, 23.8×16.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価, 末尾に批語あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3429**

**記載書名1：(詩稿 和集議電口占韻／移封／発田中ほか)**

10丁, 24.5×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「正斧」, 修正あり。〈伝〉表紙と後ろ表紙に漢字と漢文の練習痕あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3452**

**記載書名1：(詩稿 美人集落花作情字風吹不成／初夏即事)**

記載著者：昌・役割：著

25.1×17.3cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉綴じ外れ。〈書〉朱書, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3453**

**記載書名1：(詩稿 曳庵記／血鬪腰／牽牛花ほか)**

24.1×16.9cm 3枚 写

書誌注記：〈形〉綴じ外れ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 欄外書入, 批語「美和僧評多罪」「孝安多罪」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。3枚めは大きさが小さく, 綴じ穴痕もほかの2枚と違うため, 他本より外れたものカ。

**2024A-3458**

**記載書名1：(詩稿 愛宕山眺望ほか)**

13丁, 22.5×14.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 8丁めと9丁めの間に切紙1 (墨書「音想 鯨魚ホシカノ類…」)の挟込あり。〈書〉朱書(評価と添削)あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3461**

**記載書名1：詩稿／全(奉陪舟尊者自狭河至具茨山八絶ほか)・外**

書写・刊行年：明和1年

16丁, 24.2×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。後ろから3丁めに「明和元甲申年孟冬」とあり。

**2024A-3462**

**記載書名1：詩稿(良夜／秋日即事／初冬夜坐ほか)・外**

20丁, 24.1×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 表紙の丁間(袋綴じの間に)切紙2(墨書「清和一七代 (小笠原)長清」「酉年ニ生ル、人一代ノ卦…」), 3丁めの丁間に継紙1(ただし, 糊外れ, 前欠の常右衛門宛書状), 後ろから6丁めの丁間に切紙1(年齢祝いの漢文書付)の差込, 切紙貼付数か所にある。〈書〉修正あり。〈般〉書名は「詩稿」だが, 碑文「幸清水 碑面新津村村外秋葉山へ行道右ニ在り」(1丁めオモテ), 漢方薬「柴胡湯」(2丁めオモテ)に関する記事もある。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3467**

**記載書名1：(詩稿 春晚遺興／春晚書懷ほか)**

記載著者：元辰・役割：著

5丁, 26.7×19.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切紙1の貼付あり(3丁表)。〈書〉表紙に墨書「稿／伏乞／刪正」, 朱書, 朱点, 欄外書入による評価, 末尾に墨書「一片丹心」とあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3471**

**記載書名1：(詩稿 秋夜書懷／桃源図ほか)**

記載著者：辰・役割：著

9丁, 27.5×19.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 4丁と5丁の間に切紙2(墨書「不願立功名…」「賤貧於吾不須患…」)の挟込あり。〈書〉表紙に墨書「伏乞／刪正」, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 末尾に批語「若信王侯同螻蟻／何疑富貴是浮雲」とあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3472**

**記載書名1：(詩稿 六言詩)**

記載著者：淳信・役割：著

7丁, 24.6×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「平伏」, 修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3475**

**記載書名1：(詩稿 次諸同盟会唯某宅被示／上巳陪宴ほか)**

記載著者：田中／信靖・役割：著

3丁, 28.0×19.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞／公正」, 修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」

と札が付され紐一括。

**2024A-3476**

**記載書名1：(詩稿 江樓新秋／夜涼ほか)**

記載著者：舩山／樵夫／堀口／泰／倭南／儒夫／瘦石／頑仙・役割：著

5丁, 24.0×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 切紙1の貼付あり(3丁表)。〈書〉末尾ほかに墨書「伏乞／太政」, 欄外書入あり。〈般〉森春涛の門下による漢詩。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3477**

**記載書名1：(詩稿 一夜月光清朗舎外梅花殊有幽趣…／秋山晚帰ほか)**

記載著者：池田／鉦太郎・役割：著

25.3×17.1cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉10行青色罫紙, 「咬蘂書屋」用箋。〈書〉末尾に墨書「伏乞／正」とあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3478**

**記載書名1：(詩稿 春日書懷／春日送人ほか)**

記載著者：岩溪／晋・役割：著

24.1×16.5cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉汚れ。〈書〉末尾に墨書「正」とあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3494**

**記載書名1：(詩稿 擬上書／秋日經古戰場ほか)**

記載著者：新島／敬幹・役割：著

2丁, 24.3×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞／叱正」, 朱書あり。

**2024A-3516**

**記載書名1：(詩稿 買牽牛花ほか)**

記載著者：三上／徴・役割：著

2丁, 24.1×16.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞／郢斧」, 朱書, 朱点あり。

**2024A-3520**

**記載書名1：(詩稿 早発小田原駅向熱海途中作ほか)**

記載著者：古賀／遷・役割：著

7丁, 25.0×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙, 「熙熙堂

蔵]用箋。〈書〉4丁めウラに「叱正」, 修正, 朱書, 朱点, 読点の施し, 欄外書入による評価あり。

**2024A-3521**

**記載書名1:(詩稿 花下興友人飲ほか)**

23.2×15.8cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉修正, 欄外に甲~戊の評価あり。

**2024A-3525**

**記載書名1:(詩稿 不語怪力乱神論)**

記載著者: 奥野/小山・役割: 著

2丁, 25.0×17.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 読点の施し, 欄外書入による評価, 末尾に朱書批語「一篇暗影射慕南蛮缺舌者而不/特影射南蛮缺舌其所及遠矣/信乎有德者必有言也/虚字斡旋皆妙所以全篇/活動潔淨也/臘八後一日、機妄批」あり。

**2024A-3529**

**記載書名1:(詩稿 学宮秋試/泰伯三讓説)**

記載著者: 山県/半蔵/璣・役割: 著

書写・刊行年: 嘉永2年

3丁, 24.0×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈奥〉(奥書)「是/嘉永二年歳次己酉秋八月秋試/鄙文章書/敬宇主人璣識」。〈著〉「宍戸璣手稿」(最終丁)。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3533**

**記載書名1:(詩稿 今日之務何為急)**

記載著者: 上原/義幾久ほか・役割: 著

10丁, 24.5×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈著〉上原義幾文/清郷/坂正臣/伊藤精一。〈形〉仮綴じ, 前半は8行青色罫紙, 「玉川堂」用箋, 中ごろは13行赤色罫紙, 最後は無地紙。〈書〉各末尾に墨書「伏乞/斧正」「伏乞/慈批」ほか, 修正, 朱書, 朱点, 訓点の施しあり。

**2024A-3535**

**記載書名1:(詩稿 元日/破格用人論ほか)**

記載著者: 那古屋/恒往ほか・役割: 著

10丁, 25.2×18.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に10行黒色罫紙。〈書〉後ろから3丁めウラに「乞叱正」, 修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価, 修正液の痕, 草鹿による批語あり。

**2024A-3536**

**記載書名1:(詩稿 東里劉先生書)**

記載著者: 東武/劉煜・役割: 著

53.0×16.7cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉修正, 欄外書入あり。

**2024A-3537**

**記載書名1:(詩稿 題趙中令読論語図ほか)**

22.4×15.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉11行赤色罫紙。〈書〉修正液の痕, 訓点の施し, 欄外書入あり。

**2024A-3541**

**記載書名1:(詩稿 王世名論/三獸説)**

記載著者: 西都・役割: 著

書写・刊行年: 卯年

2丁, 23.4×16.1cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3543**

**記載書名1:(詩稿 蟪蛄以斧似当竜車…)**

記載著者: 林光/妙高房・役割: 著

4丁, 25.3×17.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施しあり, 末尾に批語「寂光有桐」あり。〈伝〉今村了庵(末尾)。

**2024A-3561**

**記載書名1:(詩稿 晩雪/春日雑詩ほか)**

8丁, 27.3×19.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 最終丁の丁間(袋綴じの間)に半紙1(漢文「再送士懷之江城」の差込あり。〈書〉朱書添削, 朱点, 訓点の施し, 貼紙貼付による修正, 修正液の痕, 切り取り箇所, ○印評価あり。

**2024A-3564**

**記載書名1:(詩稿 題美人撲蝶図/湖村暮帰賦十二韻ほか)**

記載著者: 村田/峰次郎・役割: 著

2丁, 24.4×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 赤色方眼罫紙(20マス×10行), 「丸屋」用箋。〈書〉修正あり, 末尾に墨書「鴻教」。

**2024A-3571**

**記載書名1:(詩稿 新鶯/新柳ほか)**

記載著者: 佐藤/劉二・役割: 著

24.2×33.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉8行青色罫紙。〈書〉末尾に墨書「伏乞/叱正」あり。

## 2024A-3577

記載書名1:(詩稿 乙卯八月訪蘇堂老人…)

記載著者: 藤井 / 森・役割: 著

2丁, 24.2×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。〈書〉修正, 末尾に墨書「伏乞 / 郢斧」とあり。

## 2024A-3578

記載書名1:(詩稿 観挿秧 / 次森春濤先生自贈原均奉賀移居)

記載著者: 青木 / 咸一・宍 / 信・役割: 著

24.5×17.2cm 2丁 写

書誌注記:〈形〉綴じ外れ, 赤色方眼紙(20マス×10行), 「夕陽残雨楼蔵梓」用箋と, 赤色方眼紙(23マス×10行)。〈書〉それぞれの末尾に墨書「痛正」「乞正」とあり。

## 2024A-3579

記載書名1:(詩稿 咬菜農夫礼助)

記載著者: 根本 / 礼助・役割: 著

2丁, 16.5×12.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉糊で貼り合わせたもの, 9行青色罫紙。〈書〉末尾に墨書「乞高正 / 咬菜根本礼助 / 未定稿 / 奉呈 / 森春濤先生 / 玉机下待史」とあり。

## 2024A-3580

記載書名1:(詩稿 燕 / 芳原看桜花)

記載著者: 少南 / 荒川 / 義太郎・役割: 著

24.8×34.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉11行青色罫紙, 「紙儀」用箋。〈書〉末尾に墨書「伏乞細正」。〈般〉著者は東京の人。

## 2024A-3581

記載書名1:(詩稿 澹水藤井此賢)

22.9×32.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉9行青色罫紙。〈書〉末尾に墨書「乞正」とあり。

## 2024A-3585

記載書名1:(詩稿 戊寅十一月四日 / 遊円山与船楼国手同賦)

記載著者: 省所 / 市隠 / 晋・役割: 著

19.3×27.3cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉10行赤色罫紙。

## 2024A-3596

記載書名1:(詩稿 非花不言之□先笑曾波之眼…)

24.7×17.0cm 4枚 写

書誌注記:〈形〉綴じ外れ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 乙下ほかの評価, 欄外書入による評価あり。

## 2024A-3598

記載書名1:(詩稿 観楓記 / 観花記ほか)

記載著者: 竹堂 / 先生ほか・役割: 著

書写・刊行年: 明治16年

4丁, 24.8×16.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 13行赤色罫紙, 「大蔵省」用箋, 最終丁欠損部分あり。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施しあり。

## 2024A-3603

記載書名1:(詩稿 與武知伯慮墓誌銘議)

記載著者: 高橋 / 晃・役割: 著

書写・刊行年: 明治1年

27.5×37.8cm 1枚 写

書誌注記:〈著〉墨書「明治新元戊辰秋尽日識於修来軒窓下高橋晃肅拜」(末尾)。〈書〉修正あり。

## 2024A-3606

記載書名1:(詩稿 送高橋君暉遊江都序 / 観回車桜記ほか)

7丁, 24.0×17.4cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉弘化4年の跋あり。

## 2024A-3612

記載書名1:(詩稿 論好色心 / 游山観桜花記ほか)

記載著者: 小林 / 基 / 林 / 慎 / 小林 / 格ほか・役割: 著

28丁, 25.2×17.4cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 「叢栗堂蔵版」用箋。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 修正液の痕, 欄外書入, 後ろの方に「伏乞玉政」「伏乞大政」とあり。〈般〉詩集と詩稿織り交ぜ。

## 2024A-3613

記載書名1:(詩稿 送宮崎温恭序ほか)

記載著者: 巖倉 / 謙・役割: 著

12丁, 24.2×16.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉虫損, 仮綴じ, 10行黒色罫紙, 「五車楼」用箋。〈書〉修正, 朱書, 評価, 末尾に墨書「伏乞正削」あり。〈伝〉巻首に墨書「寺尾巳吉」とあり。

## 2024A-3614

記載書名1:(詩稿 吾亀溪翁治水腫鯉魚湯方中有赤豆…)

記載著者: 寺尾 / 長・役割: 著

5丁, 24.0×17.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 黒色匡郭紙。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入による注記あり。

**2024A-3617**

**記載書名1：(詩稿 送仲松蔭之東都ほか)**

13丁, 24.2×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 2丁めと3丁めの間に切紙  
1〔漢文「鎧兜之古字」〕の差込あり。〈書〉修正, 朱書  
あり。

**2024A-3627**

**記載書名1：(詩稿 西南戦争)**

書写・刊行年：明治12年

10丁, 25.1×18.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の  
施し, 欄外書入による評価あり。〈奥〉墨書「明治  
十二年大呂芝生雨後美晴之日筆捫南窓之下以記  
之」(末尾)。

**2024A-3628-1**

**記載書名1：(詩稿 読漢張仲景傷寒論題後)**

3丁, 27.2×19.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉朱書,  
朱点, 欄外書入による評価あり。

**2024A-3628-2**

**記載書名1：(詩稿 題蒲生子闇横浜烈女記事文後)**

書写・刊行年：元治1年

2丁, 27.2×19.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉修正,  
朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。

**2024A-3628-3**

**記載書名1：(詩稿 竹村先生遺硯銘)**

2丁, 27.2×19.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉朱書  
あり, 上欄に評語あり。

**2024A-3633**

**記載書名1：(詩稿 游野火留平林寺記)**

記載著者：田中 / 信靖・役割：著

3丁, 24.1×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉10行黒色罫紙。〈書〉末尾に墨  
書「伏乞 / 公正」, 修正, 訓点の施し, 欄外書入に  
よる評価あり。

**2024A-3640**

**記載書名1：(詩稿 散説 / 遊玉川詩序ほか)**

記載著者：岡 / 思潜ほか・役割：著

20丁, 25.0×17.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に11行黒色罫紙。  
〈書〉訓点の施し, 欄外書入あり。

**2024A-3645-1**

**記載書名1：(詩稿 向山黄村)**

25.1×35.0cm 4枚 写

書誌注記：〈形〉二つ折り, 綴じ穴なし。〈書〉朱  
点, 訓点の施しあり。

**2024A-3645-2**

**記載書名1：(詩稿 頼三樹草墓)**

24.6×32.8cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉二つ折り。〈書〉訓点の施しあり。  
〈伝〉表題の下に「摸大橋順蔵所表在東碑本」と墨書  
あり。

**2024A-3647-3**

**記載書名1：(詩稿 逢原先生)**

24.2×33.8cm 1枚 写

書誌注記：〈書〉墨書「逢原先生玉案下 / 仲冬既  
望」(末尾)。

**2024A-3648**

**記載書名1：(詩稿 祈運文)**

記載著者：曩 / 裕・役割：著

2丁, 21.7×15.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行朱色罫紙。〈書〉修  
正, 訓点の施し, 朱書修正, 欄外書入あり。

**2024A-3653**

**記載書名1：(詩稿 入遠記行)**

8丁, 23.5×14.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 切紙貼  
付による修正, 訓点の施し, 欄外書入あり。

**2024A-3654**

**記載書名1：(詩稿 多田君一郎墓表ほか)**

記載著者：松田 / 相尹・役割：撰

6丁, 24.7×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 綴じ外れ, 部分的に10  
行青色罫紙, 「蛾術館」用箋。〈書〉朱書修正, 訓点  
の施し, 末尾に朱書「此篇相交ルノ厚ヲ述ヘ胼絡  
シテ文ヲ為ス / 而シテ未得タリトスヘカラサル  
ヲ覚フ / 因テ之ヲ削リ定テ高意ニ辜クヲ知也  
是高明載之広之 / 寺松維正僭批 / 多罪」。

**2024A-3659**

**記載書名1：(詩稿 与西洋学者書 / 表忠観碑ほか)**

19丁, 28.9×19.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に9行黒色罫紙,  
合綴史料。〈書〉朱点, 訓点の施し, 欄外書入に  
よる評価あり。



**2024A-3660****記載書名1：(詩稿 千字考証序ほか)**

記載著者：木雍・田知雄・役割：著・写

4丁, 28.4×19.6cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「信濃木雍書於江戸芙蓉窩」(末尾)。〈写〉「含章堂／田知雄／写」(末尾)。〈形〉仮綴じ, 部分的に茶色方眼紙(20マス×9行), 「蓮池書屋」用箋。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3664****記載書名1：(詩稿 読情史ほか)**

記載著者：亀谷／省軒ほか・役割：著

書写・刊行年：庚午年

2丁, 24.6×16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入, 尚志齋学人章と藤田九万による評語あり。

**2024A-3669-1****記載書名1：(詩稿 題吳宮教戦図ほか)**

記載著者：近藤／常助・役割：著

書写・刊行年：寅年

3丁, 28.3×19.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉11行黒色罫紙, 「学問所」用箋。〈書〉朱書による添削あり。〈般〉近藤常助は加賀の人。

**2024A-3669-2****記載書名1：(詩稿 今日我所頼矢石亦為彼所不恐…)**

22.7×28.2cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉9行黒色罫紙。〈書〉修正, 訓点の施し, 修正液の痕, 欄外書入あり。

**2024A-3687****記載書名1：(詩稿 読竹村詞盟富士紀行ほか)**

22.5×32.7cm 1枚 写

書誌注記：〈書〉修正, 朱書, 欄外書入, 末尾に「閏月十六田敬妄批死罪」(批語)。

**2024A-3692****記載書名1：(詩稿 筆説／山田天籟未定草)**

記載著者：山田／善太郎・役割：著

5丁, 25.0×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 2段形式で上段は批語などを記入できる赤色方眼紙(8マス×12行), 下段は赤色方眼紙(20マス×8行)。〈書〉末尾に墨書「伏乞厳斧」, 上段に評価あり。

**2024A-3500****記載書名1：(詩山堂書話)**

4丁, 23.7×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉元は四ツ目綴(現在は仮綴じ), 横刷毛目表紙(後ろ表紙のみあり), 題籤「詩山堂書話／完」は表紙と1丁めの間に挟込, 切紙貼付あり。〈伝〉(印記)「文淵卅三年式(カ)百九十一」と古書店の符号1 (読めず)あり(後ろ表紙見返し)。

**2024A-3240****記載書名1：(詩集 読明建文紀ほか)**

32丁, 24.3×17.0cm 1冊 刊

書誌注記：〈形〉仮綴じ, コロタイプ。〈書〉万年筆と鉛筆による修正あり。

**2024A-3241****記載書名1：(詩集 交易利害論ほか)**

25丁, 24.3×17.6cm 1冊 刊

書誌注記：〈形〉仮綴じ, コロタイプ。〈書〉万年筆による修正あり。

**2024A-3299****記載書名1：詩集・外**

記載著者：信・役割：著

書写・刊行年：元治1年

31丁, 12.1×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括/3298～3310まで紐で一括。

**2024A-3370****記載書名1：(詩集 鍋島閑叟／梁田星巖／松平春嶽／蒲生君平ほか漢詩抄)**

43丁, 24.8×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3378-1****記載書名1：詩集・外**

書写・刊行年：天保3年

41丁, 23.9×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉修正, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。3378-2を挟込む。

**2024A-3431****記載書名1：(詩集 謁菅公廟得東韻ほか)**

38丁, 23.1×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴の痕跡(丁子色表紙)、現在は仮綴じした後に三ツ目綴じ、9行黒色罫紙、前欠、後ろから15丁めと16丁めの間に紙1(村山義自筆墨書二篇「与友人論廢学書」「備忘録序」)の挟込、葉1本の挟込あり。〈書〉小口に墨書「詩稿ノ二」あり。〈伝〉表紙と後ろ表紙に漢文の練習痕あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3432

記載書名1：(詩集 夏日遊山ノ夏夕遊不忍ほか)

7丁, 22.3×14.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴、茶色表紙、10行青色罫紙。〈書〉朱点、訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3435

記載書名1：(詩集 竹山先生詩ノ頼蟻庵先生詩ノ祇南海先生詩ほか)

記載著者：竹山ノ先生・菅野ノ鸞・役割：著・写  
書写・刊行年：文政7年

11丁, 24.3×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正、欄外書入あり。〈伝〉(印記)「菅野」、墨書「菅野鸞」(後ろ表紙)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3439

記載書名1：(詩集ノ完・外)

書写・刊行年：明治15年

30丁, 23.0×15.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴、共紙表紙。〈書〉訓点の施し、読み仮名あり。〈奥〉「明治十九年国会開設、草秋治庵居士父生清風一陣」「草刈熹埠」(末尾)。〈伝〉(印記)表紙に「王馬之印」ほか1あり、表紙に「草秋所持」と墨書あり。〈般〉内容は竹外ノ河野鉄兜ノ藤田東湖ほかの漢詩文。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3440

記載書名1：(詩集 元旦ノ東京詞ほか)

記載著者：江見ノ翕如ノ徳ノ大沼ノ厚ノ枕山ほか・役割：著

9丁, 24.1×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正、訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3441

記載書名1：(詩集 咏蠹魚ほか)

7丁, 24.6×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉内容は摩島松南ノ沈徳潜ノ欧北ノ菊池溪琴ほかの漢詩文。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3448

記載書名1：(詩集 緋山鶴ノ暮秋山行ほか)

15丁, 24.3×17.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ、表紙欠、後ろ表紙丁子色。〈書〉朱書、訓点の施しあり。〈般〉木梨平太左衛門(柳洲)ノ由美虎毛(東塾)ノ小瀬甫元(四溟)ノ湯浅吉太夫(蘭皐)ノ乾新四郎(莊岳)ほか石川県の人による漢詩。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3459

記載書名1：(詩集(余訪大義禪師次韻ほか)・外)

記載著者：雲華ノ含ノ釈ノ日謙ノ道光ほか・役割：著

42丁, 24.2×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴、茶色表紙、11行緑色罫紙。〈書〉修正、訓点の施し、欄外書入あり。〈伝〉後ろ表紙に墨書「湖辺春峰主」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3464

記載書名1：(詩集 始聴横山村訟ノ戊午歳旦ほか)

24.7×34.4cm 4枚 写

書誌注記：〈形〉シミあり、各丁の右下に丁番号あり。〈書〉修正、欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3468

記載書名1：(詩集(苦熱ノ五雜俎ほか)・外)

12丁, 27.0×18.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ、切紙1の貼付あり(2丁めオモテ)。〈書〉訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3473

記載書名1：(詩集ノ卜居集ノ卷之上ノ抜書)

記載著者：予南ノ先生ノ林ノ祭酒ほか・役割：著  
28.0×18.7cm 6枚 写

書誌注記：〈形〉緑色匡郭紙。〈書〉欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3515

記載書名1：(詩集 紅霧初開上曉霞…ノ奉納)

記載著者：菊太郎ノ高橋ノたつほか・役割：著  
書写・刊行年：明治1～4年

10丁, 21.3×15.0cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ, 8行黒色罫紙, 1丁めオモテに切紙1あり。〈書〉修正, 欄外書入あり。

#### 2024A-3545

**記載書名1:** (詩集 夜坐有感ほか)

10丁, 24.4×16.6cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

#### 2024A-3546

**記載書名1:** (詩集 上何公如璋書ほか)

7丁, 24.8×16.7cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

#### 2024A-3555

**記載書名1:** (詩集 坊者王承福伝ほか)

5丁, 24.9×16.6cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ, 1丁めオモテの前に切紙2あり。〈書〉修正, 朱書, 修正液の痕, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈般〉巻首に柳文注(切紙の1枚め)。

#### 2024A-3559

**記載書名1:** (詩集 紀微妙事/紀新田義興事ほか)

13丁, 23.4×16.7cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正, 訓点の施しあり, 修正液の痕, 欄外書入あり。

#### 2024A-3643

**記載書名1:** (詩集 月無盈虧/回文錦字詩ほか)

16丁, 24.8×16.8cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3662

**記載書名1:** (詩集 赤穂浪士/詠盆山石歌一首并序ほか)

記載著者: 高岡/秀成/真福/千幹ほか・役割: 述・撰  
書写・刊行年: 文化10年  
44丁, 29.0×20.4cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ, 最終丁の丁間(袋綴じの間)に切紙1 (墨書「達道亮禅/黙宝良要/岩つき」)の差込あり。

#### 2024A-3673

**記載書名1:** (詩集 紀石川重之之事/三宅所助訓墓碑ほか)

記載著者: 穀斎/先生ほか・役割: 著

8丁, 24.4×17.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3683

**記載書名1:** (詩集 過田中二丞宅ほか)

30丁, 25.0×17.2cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3310

**記載書名1:** 詩集草稿/庚辰・内

**記載書名2:** 詩集草稿・外

44丁, 19.9×12.8cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉包背装。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 修正液の痕あり。〈備〉3298~3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括/3298~3310まで紐で一括。

#### 2024A-3325

**記載書名1:** (詩抄 梁南和尚道行ほか)

32丁, 26.3×19.0cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 訓点の施しあり。〈備〉3298~3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3348

**記載書名1:** 詩抄(桃谷ほか)・外

記載著者: 竹窓/閑人・篷屋/閑人・役割: 著/校・写  
書写・刊行年: 明治1年  
9丁, 23.4×15.9cm 1冊 写  
書誌注記:〈著〉朱書「江都竹窓閑人著/篷屋閑人校」(末尾)。〈写〉表紙に「戊辰仲冬写之/篷屋閑人」とあり。〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈備〉3298~3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3491

**記載書名1:** (詩抄 管仲晏嬰/老子ほか列伝/送秘書晁監還日本図并序/常州西山碑ほか)

17丁, 22.6×16.0cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ, 9行茶色罫紙。〈書〉修正, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3495

**記載書名1:** (詩抄 孝子宰助伝/護良王論ほか)

記載著者: 芳野/金陵・役割: 写  
29丁, 24.1×16.2cm 1冊 写  
書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 修正液の痕, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入あり, 和歌

「うそ八百を擲き出したる歌／雲か雪かとそことも知らぬ雲井遥にながむ水鳥秋日／芳野金陵翁作／八拾九才」(末尾)。〈伝〉末尾および後ろ表紙に書名(芳陵文集／金陵文集ほか)／漢文の練習痕あり。

**2024A-3510**

**記載書名1：(詩抄 百一新論／眩篋)**

記載著者：西／周／莊子・役割：著

6丁, 24.9×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 後ろ3丁分は9行黒色罫紙で「桃斎藏」用箋。〈書〉修正, 修正液の痕, 朱点, 読点の施しあり。

**2024A-3551**

**記載書名1：(詩抄 樊宗師／絳守居園池記)**

3丁, 24.4×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

**2024A-3552**

**記載書名1：(詩抄 書扶桑拾葉集後と久世氏ほか)**

6丁, 28.0×20.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

**2024A-3599**

**記載書名1：(詩抄 論時務／松平孤松君詩稿跋／赤穂義人纂書序)**

記載著者：長野／瑋君／輝・役割：撰

5丁, 25.3×17.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, シミあり。〈書〉修正, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈般〉著者は松山儒員。

**2024A-3600**

**記載書名1：(詩抄 鳧藻集本伝ほか)**

記載著者：検軒ほか・役割：識

5丁, 26.0×17.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施しあり。〈般〉中国明の詩人高啓(号青邱子)に関する漢文。

**2024A-3608**

**記載書名1：(詩抄 見盆中紅梅有感ほか)**

29丁, 16.8×12.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 丁子色表紙, 題簽欠, 黒色匡郭紙。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈伝〉(印記)「小篠閣」。

**2024A-3620**

**記載書名1：(詩抄 憩金川駅ほか)**

9丁, 24.6×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 破損注意。〈書〉欄外書入あり。

**2024A-3641**

**記載書名1：(詩抄 上羅浮先生書ほか)**

6丁, 24.7×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 破損あり, 汚れ。〈書〉朱書あり。

**2024A-3735**

**記載書名1：(詩抄 文房器具箋／揚子法言巻第四／尊生八牋序／和漢算法序)**

記載著者：東海／屠隆ほか・役割：著

7丁, 25.9×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱点, 欄外書入あり。

**2024A-3301**

**記載書名1：詩戦・外**

5丁, 19.8×12.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉後ろ表紙見返しに墨書「伏請／大正」, 修正, 甲乙ほかの評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括／3298～3310まで紐で一括。

**2024A-3306**

**記載書名1：詩草稿(晩行ほか)・内**

19丁, 20.5×13.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 最後の丁の丁間(袋綴じの間)に下敷き差込あり。〈書〉修正液の痕あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括／3298～3310まで紐で一括。

**2024A-3219**

**記載書名1：(詩文 水門駅騷強項弄兵…)**

23.9×16.8cm 1枚 写

書誌注記：〈書〉裏面に金銀換算の問い(事例は漢方薬購入)のメモ書きあり。

**2024A-3264-11**

**記載書名1：(詩文 十歳早秋矣)**

15.4×7.5cm 1枚 写

書誌注記：〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3369**

**記載書名1：(詩文 余移居園有薜荔因以名之ほか)**

4丁, 27.8×19.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 切紙貼付あり。〈書〉修正, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3385****記載書名1：(詩文 送森柏堂赴若松幕)**

24.0×32.0cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉10行黒色罫紙。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3386****記載書名1：(詩文 新樹 / 夏雨)**記載著者：山本 / 弘 / 本田 / 親雄ほか・役割：著  
23.8×33.1cm 2枚 写書誌注記：〈形〉10行赤色罫紙,「大蔵省」用箋。  
〈般〉元老院少書記官山本弘 / 議官本田親雄 / 渡辺驥 / 楠本正隆 / 元老院幹事山口尚方 / 議官中村弘毅 / 元老院御用掛小田切盛徳 / 元老院権大書記官森正茂 / 議官伊丹重賢による新樹と夏雨を題にした漢詩と和歌。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。**2024A-3400****記載書名1：(詩文 題游於工芸稿ほか)**記載著者：東山 / 与荒 / 斎游 / 居士・役割：著  
3丁, 27.1×18.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3403****記載書名1：(詩文 新柳ほか)**

25.4×18.7cm 3枚 写

書誌注記：〈形〉11行黒色罫紙,「学問所」用箋。  
〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。**2024A-3409****記載書名1：(詩文 証作者亦竹竟竹魄ほか)**

24.5×17.0cm 3枚 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ外れ, 10行薄青色罫紙, 破損あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3412****記載書名1：(詩文 感事 / 初夏即景)**記載著者：高橋 / 仁右衛門・役割：著  
24.5×14.3cm 2枚 写

書誌注記：〈般〉同詩題2枚, 但しそれぞれに異なる添削の跡あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3413****記載書名1：(詩文 鍋島直茂之在感興也憐朝鮮二王子令釈是琢賦詩贈之ほか)**

記載著者：栗山 / 二洲ほか・役割：著

4丁, 24.4×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3414****記載書名1：(詩文 瓶中桃色ほか)**記載著者：長門 / 山縣 / 禎・役割：著  
24.0×17.0cm 1枚 写書誌注記：〈形〉仮綴じ外れ(紙縫りのみ残る)。  
〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。**2024A-3436****記載書名1：(詩文 奉祝 / 伯舅枉君六十初度)**

1丁, 23.5×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3463****記載書名1：(詩文 辛卯新年ほか)**

記載著者：中村 / 徳寅 / 長谷部 / 祁 / 平井 / 信行・役割：著

25.0×33.4cm 3枚 写

書誌注記：〈形〉3枚とも10行青色罫紙だが, 3枚めは匡郭が異なり, 1枚めと2枚めは紙の色が異なる。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。  
〈般〉1枚めと2枚めは「塩田君」を共通とする。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。**2024A-3480****記載書名1：(詩文 頃日閑旧詩卷… / 春園即興ほか)**

記載著者：鹿山 / 石 / 克・役割：著

書写・刊行年：辛巳年

2丁, 24.5×19.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 下げ札1(墨書「ク」)の貼付あり(表紙)。〈書〉朱点あり。〈伝〉(印記)「石克」「燕子日丞堂之印」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3501****記載書名1：(詩文 数尺之椽方丈之食我得志弗為也…)**

27.2×34.3cm 1枚 写

**2024A-3519****記載書名1：(詩文 遊墨堤記)**

記載著者：谷山 / 初・役割：著

書写・刊行年：明治30年  
24.4×16.6cm 1枚 写  
書誌注記：〈著〉墨書「明治三十年四月十五夜十二点鐘記於浅街風雨之窓／谷山初」(末尾)。  
〈書〉修正あり。

**2024A-3524**

**記載書名1：(詩文 川人遭地神ほか)**

記載著者：菅／清成・役割：著  
3丁, 26.0×16.3cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 黄色方眼紙(20マス×9行)。  
〈書〉読点の施しあり。〈伝〉(印記)「馬島蔵印」。

**2024A-3531**

**記載書名1：(詩文 余嘗遊鹿沼…)**

記載著者：東海／浪人・役割：著  
2丁, 24.8×17.5cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 左上破損あり。

**2024A-3532**

**記載書名1：(詩文 峰次郎君事略)**

3丁, 27.0×19.7cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉五ツ目綴, 小豆色表紙, 虫損甚大。  
〈書〉修正あり。

**2024A-3534**

**記載書名1：(詩文 受戒願文／贈丹治生序)**

4丁, 24.2×16.3cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 前半は10行青色罫紙, 「再刻玉林堂製」用箋, 後半は9行黒色罫紙, 1丁めと2丁めの間に切紙1の挟込みあり。  
〈書〉修正, 朱書による訓点あり。

**2024A-3544**

**記載書名1：(詩文 答加川元厚書)**

記載著者：平賀／晋民・役割：著  
2丁, 24.5×17.2cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 欄外書入あり。

**2024A-3565**

**記載書名1：(詩文 送吉田雋石之長崎ほか)**

記載著者：省所／市隱／晋・役割：著  
書写・刊行年：明治13年  
23.2×32.5cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉10行半緑色罫紙。

**2024A-3566**

**記載書名1：(詩文 觀碁戲作)**

記載著者：鷗波／客漁／厚積

24.8×16.6cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉10行半青色罫紙。

**2024A-3567**

**記載書名1：(詩文 播州村舍値重九ほか)**

記載著者：北総／老逸・役割：著  
24.5×32.5cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉10行青色罫紙。

**2024A-3572**

**記載書名1：(詩文 謁久能山ほか)**

記載著者：春畝／山人／伊藤／博文ほか・役割：著  
2丁, 19.1×13.5cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉糊で貼り合わせたもの, 9行青色罫紙。

**2024A-3574**

**記載書名1：(詩文 村居雜興ほか)**

記載著者：梅軒／叟・役割：著  
12.0×13.5cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉切紙。

**2024A-3575**

**記載書名1：(詩文 苦吟ほか)**

記載著者：煙波／散人／高橋／武・役割：著  
14.6×14.0cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉切紙, 青色罫紙, 漢詩は朱書。  
〈般〉著者は越後の人。

**2024A-3678**

**記載書名1：(詩文 破壁ほか)**

記載著者：坂口／恭ほか・役割：著  
19.4×36.4cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉継紙。

**2024A-3679**

**記載書名1：(詩文 庭際晚菊ほか)**

18.1×29.0cm 1枚 写  
書誌注記：〈形〉継紙。〈書〉朱書あり。

**2024A-3680**

**記載書名1：(詩文 水府景山老侯望遠鏡銘ほか)**

2丁, 25.1×17.3cm 1冊 写  
書写・刊行年：弘治1年  
書誌注記：〈形〉仮綴じ外れ。〈書〉修正, 句読点の施しあり。〈伝〉墨書「蟹江七本槍」の署名(末尾)。

#### 2024A-3682

**記載書名1:**(詩文 風月相知社小菊関根痴堂詩  
先成乃次具韻以贈ほか)

記載著者: 五峯/坂口/恭ほか・役割: 著

16.4×134.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉継紙。〈書〉修正,一部に朱点あり。

#### 2024A-3713

**記載書名1:**(詩文 観踏舞於牛車楼云々)

2丁, 27.6×19.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。

#### 2024A-3720

**記載書名1:**(詩文 勤王志士赤座恒太郎事績)

35.0×48.0cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉修正あり。

#### 2024A-3722

**記載書名1:**(詩文 紀源為朝事)

書写・刊行年: 明治16年

7丁, 25.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 13行赤色罫紙,「大蔵省」用箋。〈書〉修正, 朱書, 訓点の施し, 上欄に訓点を施した日にちを記す。

#### 2024A-3724

**記載書名1:**(詩文 此去嵐山駅路嘆…)

23.7×29.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉破損あり。〈書〉修正あり。

#### 2024A-3725

**記載書名1:**(詩文 柳岸垂釣ほか)

24.7×33.2cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉墨書「速記料/金五拾銭」(末尾), 修正あり。

#### 2024A-3731

**記載書名1:**(詩文 冬暖ほか)

23.7×32.1cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉修正, 朱書による添削あり。

#### 2024A-3405

**記載書名1:**(詩文会/惜陰軒会夜題并席上作/乙未十二月)

記載著者: 新田/高橋/桐陽ほか・役割: 著

書写・刊行年: 天保8年

11丁, 26.1×17.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 綴じ外れ。〈備〉3298~3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3402

**記載書名1:**詩文会宿題/十月十七日・内

記載著者: 武知/立/河東/竹溪ほか・役割: 著  
13丁, 24.9×17.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 最終丁に切紙1貼付あり。〈書〉修正あり。〈備〉3298~3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括,「九月十七日宝積房会詩文録」(1冊)を合綴。

#### 2024A-3229

**記載書名1:**詩文稿・外

記載著者: 浅香/愛之助ほか・役割: 著

6丁, 24.0×16.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入あり, 墨書「浅香愛之助謹記」。〈般〉内容は読日本外史/常山紀談ほか。

#### 2024A-3479

**記載書名1:**詩文雑記(桃ほか)・内

**記載書名2:**詩文雑録・外

記載著者: 古市/熊三・役割: 著

20丁, 24.7×16.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈著〉武州行田古市熊三(末尾)。〈書〉末尾に墨書「伏乞/玉成」とあり。〈般〉古市熊三は深谷高等小学校訓導。〈備〉3298~3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3611

**記載書名1:**詩文集(易下経/家蔵二十四子全書跋ほか)・外

記載著者: 岡本/伯信/如病/忍斎ほか・役割: 著  
32丁, 22.5×15.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 源氏車に薦摺り表紙。〈書〉修正, 朱書添削, 朱点, 欄外書入, 批語あり。

#### 2024A-3709

**記載書名1:**詩文集/克堂先生・内

**記載書名2:**草稿・外

記載著者: 中尾/生・役割: 著

36丁, 15.6×10.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 茶色表紙, 8行黒色罫紙,「金花堂」用箋, 一部の柱に「草稿/克堂先生」とあり。〈書〉朱点, 欄外書入, 欄外に「甲/乙/丙/丁」の評価記載あり。〈伝〉表紙に墨書「新見所持」, 後ろ表紙見返しに墨書「駿州静岡岡瀬村/宮原塾/孔堂外史」思帳然/源直房」とあり。

#### 2024A-3433

**記載書名1:**詩文草案(予年五十而無子今春請ほか)・外

記載著者: 正満・役割: 著

書写・刊行年：弘化3年  
16丁, 11.3×15.2cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。〈備〉  
3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3324

**記載書名1：詩文草稿・外**  
記載著者：蘭洲・役割：著  
19丁, 21.3×15.0cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 8行黒色罫紙。〈書〉修正,  
朱書, 朱点, 訓点の施し, 修正液の痕あり。〈伝〉  
墨書「蘭洲」(末尾), 朱印あり。〈備〉3298～3481  
は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3380

**記載書名1：肆曼詩・内**  
29丁, 24.1×16.8cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 8行黒色罫紙, 内題の一  
部に欠損あり, 最終丁の丁間(袋綴じの間)に下敷  
き差込あり。〈書〉欄外書入による注記あり。〈備〉  
3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3199

**記載書名1：四明集／卷之三・内**  
**記載書名2：菱華集・見**  
書写・刊行年：文政2年  
24丁, 23.0×15.8cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 藍色表紙, 10行黒色罫  
紙。〈書〉修正, 朱書あり。〈伝〉墨書「諱善則／字  
伯応／書」(後ろ表紙)とあり。〈般〉墨書「菱花鏡  
亭詩稿」(表紙)。

#### 2024A-3307

**記載書名1：秋雨歎詞・外**  
記載著者：窪木／俊・役割：著  
書写・刊行年：文化8年  
8丁, 19.8×12.8cm 1冊 写  
書誌注記：〈序〉文化八年自序あり。〈形〉包背装,  
後ろから2丁めの丁間(袋綴じの間)に下敷き差  
込あり。〈書〉朱書, 訓点の施しあり。〈備〉3298  
～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括 / 3298  
～3310まで紐で一括。

#### 2024A-3557

**記載書名1：習爛集・外**  
20丁, 21.5×15.2cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉四ツ目綴, 青色表紙, 10行黒色  
罫紙, 5丁めと6丁めの間に切紙1 (墨書「通財  
…」), 11丁めと12丁めの間に切紙1 (七郎君と  
山伏町関根氏に関する返書)の差込あり。〈書〉修  
正, 欄外書入あり。

#### 2024A-3530

**記載書名1：(手稿 第一章／第二則／本稿／嘉  
永三庚戌)**  
記載著者：山県／璣・役割：著  
書写・刊行年：嘉永3年  
4丁, 24.6×16.4cm 1冊 写  
書誌注記：〈著〉1丁めに「穴戸璣手稿」とあり。  
〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 欄外書入あり。

#### 2024A-3383-2

**記載書名1：春雨／仲春念日楽山書房小集・内**  
記載著者：覆堂／信恭ほか・役割：著  
7丁, 24.3×18.2cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈著〉覆堂／関／思敬／  
山内／信恭／山内／一徳／神／惟徳／神／惟章  
／高橋／矩正／梨本／信功／皆川／秀和ほか。〈書〉  
欄外朱書による評価, 末尾に12名の評価一覧あり。  
〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付さ  
れ紐一括, 3383-1・2は紙縫り一括。

#### 2024A-3586

**記載書名1：春日閑居・内**  
7丁, 27.8×19.8cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ。

#### 2024A-3304

**記載書名1：春風詩集・外**  
記載著者：葛西／老圃ほか・役割：著  
11丁, 19.5×13.0cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 7行青色罫紙, 表紙に  
題簽「春風詩集／集諸家元旦之作其他者」あり。  
〈書〉訓点の施し, 評価印あり。〈備〉3298～3481  
は「詩稿一括」と札が付され紐一括 / 3298～3310  
まで紐で一括。

#### 2024A-3337

**記載書名1：春來近作十六首・尾**  
記載著者：小舟／黍／漁／釣夫・役割：著  
書写・刊行年：安永9年  
3丁, 27.9×20.7cm 1冊 写  
書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉欄外  
書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿  
一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3264-12

**記載書名1：(松溪山上先生筆記)**  
16.6×15.3cm 1枚 写  
書誌注記：〈般〉冒頭に「碎死道人雲涛…」とあ  
り。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。



**2024A-3411****記載書名1:小峴山行・内・序首****記載書名2:草稿・外**

記載著者: 隄 / 増蔵・役割: 著

6丁, 24.3×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3668****記載書名1:消日一助・内・外**

記載著者: 退翁 / 秋月 / 種封・役割: 著

3丁, 26.8×18.6cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉包背装。〈書〉朱書修正, 欄外書入あり。

**2024A-3672****記載書名1:記上毛災変・内**

記載著者: 田 / 友直・役割: 撰

2丁, 25.6×17.1cm 1冊 写

書誌注記:〈著〉墨書「九月既望 / 洪川村民田友直 / 撰」(末尾)。〈形〉仮綴じ, 灰色方眼紙(20マス×9行)。〈書〉訓点の施しあり。〈般〉田は洪川村の人, 天明の浅間山噴火を題材とする。

**2024A-3665****記載書名1:使上毛記・内・外**

記載著者: 曹 / 好微・役割: 著

11丁, 23.3×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 後ろ表紙欠, 10行灰色罫紙, 数か所に切り取り, 1丁めと2丁めに切紙1ずつ差込み, 3丁めと4丁めの間に切紙5の差込み数枚あり。〈書〉修正, 訓点の施し, 欄外書入による評価あり。

**2024A-3490****記載書名1:諸賢文章録(増註国語序 / 国語定本題言ほか)・外**

記載著者: 冢田 / 虎 / 秦 / 鼎 / 新川 / 先生・役割: 註・編

10丁, 24.8×17.3cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 柱刻「卷之」。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3483****記載書名1:(恕軒文鈔 浅野長政罵豊公論ほか)**

記載著者: 恕軒 / 学人・役割: 著

7丁, 27.5×20.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 赤色匡郭紙, 「東京府」用箋。〈書〉訓点の施しあり。〈伝〉「鶚 / 詩文 / 一七五一 / 恕軒文鈔二編ニアリ」と書かれたカー

ドの貼付あり(1丁め丁間)。

**2024A-3455****記載書名1:新韓集 / 戊寅一月・外**

書写・刊行年: 明治11年

3丁, 24.2×16.7cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙, 汚れあり。〈書〉朱書修正あり。〈伝〉(印記)「吉田蔵書」。〈般〉内容は明治11年1月1日に浅田宗伯が設けた宴の臨席者による漢詩集。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3395****記載書名1:人日小集・内**

記載著者: 陽崖 / 雪濤ほか・役割: 著

20丁, 21.6×14.1cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価, 末尾に柳津悦楽による朱書の批語, 後ろ表紙に成績あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3423****記載書名1:新柳吟社詩稿 / 廿五首・外**

6丁, 27.4×19.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉墨書「乙酉九月第三回」(表紙)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3447****記載書名1:水玉詩鈔・外**

16丁, 24.5×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点あり。〈伝〉(印記)「重本之印」ほか1あり(後ろ表紙見返し)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3250****統一書名:西園雅集****記載書名1:西園雅集図記・内**

記載著者: (米) / 芾・役割: 書

24.5×32.5cm 1枚 写

書誌注記:〈写〉墨書「明董玄宰戲鴻堂法帖之抄録」。〈形〉10行黒色罫紙, 「華易堂蔵」用箋。

**2024A-3331****記載書名1:関氏余稿・内**

記載著者: 関 / 雪翁・役割: 著

17丁, 24.3×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。後ろ5丁は欧文を書いた紙の反古。〈備〉

3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3315**

**記載書名1：拙稿・外**

記載著者：羽瀬／愿・役割：著

6丁, 24.8×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 切り取られた部分あり。  
〈書〉朱書(評価), 句読点の施し, 後ろ表紙に墨書「拜請刪正」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3469**

**記載書名1：拙稿・外**

**記載書名2：草稿・内**

10丁, 27.0×18.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉包背装。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3499**

**記載書名1：拙稿(書論范増後／読韓信伝ほか)・外**

記載著者：田口／乾三・役割：著

3丁, 23.1×15.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞／大斧」, 修正, 朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。

**2024A-3505**

**記載書名1：拙稿(利不百不变法説／送家兄厚斎君帰藩序ほか)・外**

記載著者：江坂／正位・役割：著

6丁, 24.5×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 切紙1(墨書「新潟県士族／当時司法省等外二等／江坂正位／三十二歳」)の貼付あり(表紙)。〈書〉修正あり。

**2024A-3523**

**記載書名1：拙稿(菅公画像記ほか)・外**

記載著者：平田／宗克・役割：著

10丁, 24.5×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行赤色罫紙, 「東京外国語学校」用箋。〈書〉表紙に墨書「謹乞叱正」, 読点の施し, 切紙貼付による修正あり。

**2024A-3442**

**記載書名1：石香小集／宇田川・内**

4丁, 24.5×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3616**

**記載書名1：拙文草稿(田中先生閣下序／贈犬飼君台下賀序)・外**

5丁, 24.5×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 5行緑色罫紙。〈書〉朱書, 訓点の施し, 切紙貼付による修正あり。

**2024A-3624**

**記載書名1：先考賜致仕都講府君行実・内**

記載著者：大島／桃年・役割：撰

52丁, 24.4×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 「東京経済雑誌社」用箋, 欄外に丁番号あり。〈書〉後ろ表紙に墨書「四十九枚」, 朱書, 訓点の施し, 欄外書入による注記あり。〈伝〉巻首余白に墨書「嵯峨氏持／永山氏分／六月廿二日代済」。(印記)「望月」。

**2024A-3376**

**記載書名1：詹松余韻・外**

書写・刊行年：明治11年

51丁, 25.0×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「明治十一著雍撰提枯八月」あり(表紙)。〈形〉鼠損, 仮綴じ, 後ろから16丁めと17丁めの間に切紙1(日本紀／続日本紀ほかの万年筆による書上)の挟込, 切紙3の貼付あり。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入による注記あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3309**

**記載書名1：草稿・内**

書写・刊行年：天保9年

17丁, 18.2×12.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉題簽欠, 四ツ目綴, 茶色雲文型押し表紙, 8行緑色罫紙。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括／3298～3310まで紐で一括。

**2024A-3316**

**記載書名1：草稿・外**

記載著者：実之・役割：著

4丁, 24.9×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 茶色方眼紙(20マス10行)。〈書〉朱書, 訓点の施し, 朱点, 欄外書入による評価, 末尾に朱書「之今説此作如皴目／皴摸器其己解者／非賓卿之過／而余不解棋之罪耳／庚申夏五月／耕重生妄評」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3344**

**記載書名1：草稿(種菊組ほか)・外**

4丁, 25.0×18.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損甚大，仮綴じ，3丁めと4丁めの間に青色原稿用紙／無地用紙に墨書のある計9の切紙の差込あり，随所に半丁分程度の切り取り，切紙貼付あり。〈書〉朱書，朱点，欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3347

**記載書名1：草稿(秋夜郎事ほか)・外・内**

12丁，24.5×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，8行黒色罫紙。〈書〉朱書，朱点，訓点の施し，欄外書入，末尾に韓精による批語あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3379

**記載書名1：草稿・外**

記載著者：如為／居士・役割：著

13丁，25.4×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，部分的に11行黒色罫紙，切取りあり。〈書〉櫻井政保による批語あり，修正，朱書，訓点の施し，欄外書入による評価あり。〈般〉桜井友二郎「論語里仁篇」「論語顔淵篇」の講義の写し(末尾)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3392

**記載書名1：草稿(暮秋閑行ほか)・外**

記載著者：素堂・役割：著

6丁，24.7×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「改正／伏乞」，修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3428

**記載書名1：草稿／午橋先生批・外**

記載著者：恭二郎・役割：著

2丁，24.0×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞正教」，朱書，朱点，表紙に墨書「午橋先生批」あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3465

**記載書名1：(草稿 岡崎春海名勝詩／中村生将東遊贈詩ほか)**

記載著者：岡崎／春海／中村／生将ほか・役割：著

30丁，26.8×19.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉後欠カ，仮綴じ，10行青色罫紙，各丁の右下に丁番号あり。〈般〉岡崎春海／中村生将／櫛田千里／百武万里／広瀬吉甫ほか多く

の医師や詩人との交遊詩。本史料は清書で，3466は本史料の草稿(ただし途中まで)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3466

**記載書名1：草稿(岡崎春海名勝詩／中村生将東遊贈詩ほか)・外**

記載著者：岡崎／春海／中村／生将ほか・役割：著

17丁，24.5×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正，朱書，欄外〇記書入による評価あり。〈般〉岡崎春海／中村生将／櫛田千里／百武万里／広瀬吉甫ほか多くの医師や詩人との交遊詩。本史料は3465の草稿(ただし途中まで)。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3527

**記載書名1：草稿(上小参事巽堂柳先生書ほか)・外**

記載著者：三上／徴・役割：著

2丁，24.5×16.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞／正教」，朱書，朱点，訓点の施しあり。

#### 2024A-3560

**記載書名1：草稿(謁鎌倉宮／蓮蕩夜帰／夏山飲雨)・外**

記載著者：栗原／彝三・役割：著

2丁，25.0×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

#### 2024A-3637

**記載書名1：草稿(贈石崎融思書／紀夢)・外**

記載著者：峯／左右藏・役割：著

5丁，27.0×18.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，9行黒色罫紙。〈書〉末尾に墨書「伏請／麟政」，修正，朱書，訓点の施しあり。

#### 2024A-3594

**記載書名1：草稿集(榎屋紅記／寄横田桐陽書ほか)・外**

記載著者：翠梧／散人ほか・役割：著

11丁，28.5×20.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正，朱書，訓点の施し，修正液の痕あり。

#### 2024A-3313

**記載書名1：草創集・外**

35丁，24.4×16.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，切紙1の挟込あり。〈書〉

朱書, 朱点, 訓点の施し, 末尾に評価あり。〈伝〉表紙に墨書「本郷生蔵」抹消。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3312

##### 記載書名1: 贈答詩・外

7丁, 25.4×18.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉包背装。〈書〉欄外書入, 4丁表に太山誠による批語あり。〈般〉岡本花亭と西村茂樹の贈答詩/漢詩文/筆談ほか。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3311

##### 記載書名1: 争鹿稿・外

記載著者: 左仲/某・役割: 著

37丁, 24.5×17.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 部分的に7行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外に書入に評価「追試」あり。〈伝〉(印記)「木崎愛書」。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3686

##### 記載書名1: 俗々堂狂詩集序・内

記載著者: 大町/庸・役割: 著

24.6×33.8cm 1枚 写

書誌注記: 〈形〉10行青色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入による評価あり。

#### 2024A-3484

##### 記載書名1: (息軒遺稿 管子纂詁/序)

記載著者: 安井/衡・役割: 撰

書写・刊行年: 元治1年

2丁, 24.5×18.0cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉10行黒色罫紙, 「軒々房」用箋。〈書〉朱点, 欄外書入あり。〈伝〉「鶯/詩文/二二八九/息軒遺稿/巻二/四三・四四丁ニアリ」と書かれたカードの貼付あり(1丁め丁間)。

#### 2024A-3342

##### 記載書名1: 俎陵集・外

12丁, 24.0×17.1cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 3丁の丁間(袋綴じの間)に切紙1の差込あり。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3593-1

##### 記載書名1: 記滝鉄次郎諫死事・内

記載著者: 増田/貢・役割: 著

5丁, 24.4×16.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈著〉墨書「増田大參事/諸有志青照」(末尾)。〈形〉仮綴じ, シミあり。〈備〉3593-1 ~ 2は紐一括。

#### 2024A-3317

##### 記載書名1: 達人堂抄書/巻之二・内

17丁, 23.9×16.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 破損あり。〈書〉修正, 訓点の施し, 欄外書入あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3446

##### 記載書名1: 惜竹軒近体詩鈔・内

9丁, 25.4×17.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 部分的に9行青色罫紙, 「狂簡社」用箋, 後ろ2丁は罫なし。〈書〉修正, 訓点の施しあり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3655

##### 記載書名1: 惜竹軒小藁・内

12丁, 24.6×16.3cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉修正あり。

#### 2024A-3330

##### 記載書名1: 茶水鮓沫/塵間一唾・内

書写・刊行年: 弘化2年

22丁, 24.5×16.7cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 欄外書入による評価あり。〈伝〉朱印あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3444

##### 記載書名1: 中秋宿題・内

記載著者: 清暉/吟社/社員・役割: 著

4丁, 24.4×17.9cm 1冊 写

書誌注記: 〈著〉墨書「清暉吟社々員/三谷/海鷗/雪洲/蜻洲/致和/梅庭/竹友/柳処」(末尾)。〈形〉破損あり, 仮綴じ, 8行青色罫紙。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3619

##### 記載書名1: 仲秋望夜賞月詩并序・内

記載著者: 鈴/双鶴・役割: 著

2丁, 24.6×15.9cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施しあり。

**2024A-3487****記載書名1**：(中洲文稿 山高月小亭記)

記載著者：三島 / 毅 / 中洲・役割：撰

2丁, 23.8×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。〈伝〉切紙1 (「詩文 / 二四九七 / 中洲文稿 / 第一集中ニアリ」) の貼付あり(末尾)。

**2024A-3663****記載書名1**：贈冲漢師序・内

記載著者：蓋 / 忠通・役割：著

3丁, 25.4×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙, 「高山房」用箋。

**2024A-3757****統一書名**：長松同風集 / 初編長松同風集 / 初編・柱

記載著者：垚 / 禹昌・役割：著

6丁, 26.4×18.5cm 1冊 刊

書誌注記：〈版〉柱に「長松館蔵」とあり。〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙, 切り取りあり。〈書〉欄外書入あり。〈伝〉朱印多数あり。

**2024A-3358****記載書名1**：長楽寺小集・見

記載著者：田 / 以忠・役割：著

9丁, 25.8×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 6行黒色罫紙。〈書〉修正, 朱書, 欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3503-2****記載書名1**：(鉄心遺稿 / 松本尺木詩稿ほか)・内

30丁, 22.5×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉綴じ外れ, 表紙に墨書「鉄心 / 松本尺木 / 艮斎 / 枕山 / 梅墩」とあり, 「鉄心遺稿」の後ろの内題切り取り。〈書〉朱点, 読点の施し, 欄外書入あり。〈伝〉松田氏図書印(印)。〈備〉3503-1・2は紐一括

**2024A-3601****記載書名1**：天鏡公宝納記・内

記載著者：虎伯 / 叟 / 大宣 / 和尚・役割：著

書写・刊行年：寛文5年

2丁, 25.4×19.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉内容は松山藩3代藩主松平定長の来歴。

**2024A-3658****記載書名1**：電囑(与松田春沢書ほか)・外

記載著者：菅原 / 遵・役割：著

3丁, 24.6×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉包背装。〈書〉表紙に墨書「伏乞」, 修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3338****記載書名1**：転輪蔵上梁文・内

記載著者：当山仙州 / 杜多・役割：誌

書写・刊行年：文化11年

2丁, 28.0×19.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙, 「一貫堂」用箋。〈書〉欄外見出しあり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3430****記載書名1**：闕藻(初夏即事)・外・内

6丁, 23.9×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に朱書「晩歩 / 五月六日限り / 体七絶」, 朱書, 朱点, 欄外に評価書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3701****記載書名1**：童年入学読史日抄・外

記載著者：精里 / 先生・役割：著

6丁, 23.3×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行黒色罫紙。〈伝〉表紙に「精里先生 / 先考手稿」(墨書)とあり。

**2024A-3652****記載書名1**：門文(紀事一則ほか)・外

記載著者：江橋 / 熊四郎ほか・役割：著

書写・刊行年：明治14年

4丁, 24.5×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「明治十四年八月二十日席上門文 / 江橋熊四郎 / 山口芳之助 / 河合光雄 / 古川清次 / 須永富夫 / 関口精一 / 新井音五郎 / 田山實弥登 / 各拝稿 / 加藤甲鉢 / 木元甲子太郎 / 管 / 伏乞 / 玉斧」(末尾)。〈形〉仮綴じ, 青色方眼紙(20マス×10行)。〈書〉朱書, 訓点の施し, 評価あり。

**2024A-3427****記載書名1**：闕文稿 / 観月記 / 第壹集・外

記載著者：日下部 / 隼太郎 / 橋本 / 長次郎・役割：著 / 著・浄

書写・刊行年：明治15年

3丁, 24.4×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に切紙貼付あ

り。墨書「伏乞叱正」, 朱書, 朱点, 欄外書入による評価あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3210

##### 記載書名1:(都下名士流品題弁ほか)

6丁, 24.5×17.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 14行黒色罫紙, 「蘇圃藏版」用箋。

#### 2024A-3454

##### 記載書名1:匿名詩集(金竜尺牘開卷和/早梅ほか)・外

記載著者:篤行/(花押)・役割:写

書写・刊行年:嘉永2年

19丁, 21.7×15.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉修正, 欄外書入あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3584

##### 記載書名1:長井先生大叱・外

記載著者:明倫舎/明善舎/生徒・役割:著

3丁, 23.8×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 切り取りあり。〈書〉朱書, 朱点, 訓点の施し, 欄外書入による評価, 末尾に朱書「諸作風詞雖不高頗即情趣者惜一・二布置未明/其處耳再思為妙/東陵主人妄批多々罪々」あり。

#### 2024A-3723

##### 記載書名1:次長井大夫感遇詩韻・内

記載著者:土井/力・役割:著

23.6×33.6cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉修正あり。

#### 2024A-3204

##### 記載書名1:(長門国明倫館記抄/与徳夫書ほか)

書写・刊行年:大正1年

7丁, 24.0×17.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 虫損甚大, 9行黒色罫紙, 「青梧園」用箋ほか。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3415

##### 記載書名1:南窓詩鈔・内・跋

記載著者:三上/南窓・役割:著

書写・刊行年:明治31年

7丁, 25.0×17.3cm 1冊 写

書誌注記:〈序〉男三上謙三と弟子長井尚賢による跋文あり。〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙, 「清水」

用箋。〈書〉卷首に朱書「詩鈔四五十改十行廿字/右之評語但拔萃ノヨシ/越後中頸城郡七ヶ村大字山谷/長井準平来囑/詩鈔評語講求/蒲生襲亭/堀中徹蔵/之ヲ知ルト云。』, 訓点の施しあり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3666

##### 記載書名1:新渴遊来・内

##### 記載書名2:客遊詩草・序首

記載著者:青山/延寿/岡/千仞/振衣・役割:著・撰

書写・刊行年:明治24年

5丁, 25.3×17.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙, 1丁めのみ「本三紙常」用箋。〈書〉訓点の施しあり。

#### 2024A-3717

##### 記載書名1:日本詩・外

11丁, 17.0×12.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 鼠損あり, 部分的に10行青色罫紙。〈書〉欄外書入。

#### 2024A-3647-2

##### 記載書名1:題梅逸画史戲墨書画絵図・内

記載著者:随斎/塩田/華・役割:著

24.1×34.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉10行青色罫紙。〈書〉訓点の施し, 冒頭に墨書「懲愚刊行/予聞而喜之/所以不得不付一言也/天保辛丑清和月/津邸教授伊賀随斎塩田華/書於太白樓中」。

#### 2024A-3504

##### 記載書名1:梅下雜録・外

29丁, 15.7×11.1cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉四ツ目綴, 丁子色表紙, 10行黒色罫紙。〈書〉修正あり。〈伝〉(印記)「鈴木氏印」。

#### 2024A-3647-1

##### 記載書名1:陪游観梅記・内

24.1×34.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉綴じ穴あり, 10行黒色罫紙, 「止至善塾蔵」用箋。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3632

##### 記載書名1:游白山記・内

3丁, 23.2×15.3cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 黒色罫紙10行。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

**2024A-3451****記載書名1**：巴調 / 四章・外

記載著者：棚橋 / 彬 / 稲垣 / 信 / 堀 / 櫟・役割：著

書写・刊行年：文久3年

1丁, 24.4 × 16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉評価(六点、四点、三点), 朱書あり。〈伝〉後ろ表紙見返しに朱書「此主 / 信斎(稲垣信)」あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3450****記載書名1**：巴調 / 三十一章 / 有鄰先生評・外

記載著者：棚橋 / 彬 / 稲垣 / 信 / 堀 / 櫟・役割：著

書写・刊行年：文久3年

7丁, 23.7 × 16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉包背装。〈書〉朱書, 訓点の施しあり, 添削, 評価(甲科、乙科中ノ下、一詩不整ほか)あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3232****記載書名1**：鄙見問答・外

記載著者：白井 / 洌・役割：著

6丁, 27.0 × 18.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙, 「自笑堂製」用箋。〈般〉内容は「立志全体行之大用」。

**2024A-3445****記載書名1**：鄙稿・外

記載著者：顕熙・役割：著

4丁, 24.2 × 17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に墨書「伏乞 / 大政」とあり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3481****記載書名1**：鄙稿 / 壬戌(新年作 / 新正出遊ほか)・外・内

25丁, 23.9 × 16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉包背装(ただし剥がれ)。〈書〉修正, 朱書, 朱点, 修正液の痕, ○印評価あり。〈備〉3298 ~ 3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

**2024A-3538****記載書名1**：鄙稿(文帝論 / 光武論ほか)・外

記載著者：奥平 / 正衡・役割：著

10丁, 24.1 × 17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「伏乞 / 正」。

**2024A-3539****記載書名1**：鄙稿(両余山荘記ほか)・外

記載著者：三宅 / 弘基・役割：著

3丁, 24.7 × 16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。〈書〉訓点の施しあり。

**2024A-3568****記載書名1**：鄙稿(江上春興次希黄先生均)・内

記載著者：梧岡 / 石井 / 鼓・役割：著

2丁, 24.8 × 16.9cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 破損あり。〈書〉末尾に墨書「伏乞 / 是正」あり。

**2024A-3570****記載書名1**：鄙稿(歳晩書懷ほか)・外・内

記載著者：丸山 / 発・役割：著

2丁, 24.4 × 16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉貼り紙(剥がれ)による修正あり。

**2024A-3576****記載書名1**：鄙稿(橋辺納涼ほか)・内

記載著者：福田 / 吉乎・役割：著

3丁, 19.2 × 13.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 14行青色罫紙。〈書〉末尾に墨書「伏乞 / 斧正」とあり。〈般〉著者は飛騨高山の人。

**2024A-3634****記載書名1**：鄙稿(盆仮山記 / 富岳記)・外

記載著者：荒城 / 矯・役割：著

3丁, 24.2 × 16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉「鶴梁林先生叱正」と墨書あり。

**2024A-3636****記載書名1**：鄙稿(東坡論ほか)・外

記載著者：窪田 / 久徴・役割：著

4丁, 24.9 × 17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉表紙に墨書「伏乞 / 是正」, 訓点の施し, 野田邊 / 柳沢信兆 / 五十嵐沙夢による評語あり, 評語は切紙3 (黄色)に朱書して貼付(1丁表)。

**2024A-3573****記載書名1**：鄙章(立秋偶成ほか)・外

記載著者：根本 / 礼輔・役割：著

6丁, 18.2 × 12.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。〈書〉末

尾に墨書「乞高正／森春濤先生侍史」あり。〈伝〉(印記)「根本」。

#### 2024A-3319

**記載書名1：鄙章日新集・外**

記載著者：菅／真敏・役割：著

27丁, 24.7×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉見返しに「仲秋從十四夜到百首載之／蘭台菅真敏」と墨書あり。〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 「済世堂蔵」用箋。〈書〉修正, 欄外書入, 欄外○印評価, 冒頭に「柿本先生之受点削」とあり。〈伝〉後ろ表紙に(印)「文淵卅一年千七百卅」。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3671

**記載書名1：(筆談雜抄 韻選序ほか)**

記載著者：秋儀／子羽／玉山ほか・役割：著

10丁, 23.5×14.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3587

**記載書名1：肥遯賦并序・内**

書写・刊行年：庚申年

3丁, 29.3×20.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 黄色方眼紙(20マス×10行)。〈書〉修正, 朱書添削, 訓点の施し, 欄外書入あり。

#### 2024A-3621

**記載書名1：(碑文 円通寺建)**

記載著者：村田／継儒・役割：撰

書写・刊行年：文政2年

4丁, 24.2×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 乱丁カ。

#### 2024A-3689

**記載書名1：(碑文集 東山松川君墓表ほか)**

記載著者：太田／元貞／公幹ほか・役割：著

8丁, 25.2×17.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 12行青色罫紙。〈書〉修正あり。〈般〉諸学舎碑文の写し, 碑文の松板の寸法を示す図あり。太田元貞は加賀の人。

#### 2024A-3602

**記載書名1：平山子竜上書・内**

記載著者：平山／潜・役割：著

書写・刊行年：文化4年

5丁, 27.1×17.3cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「文化四年丁卯七月小臣平山潜誠惶誠恐頓首謹言」(末尾)。〈形〉仮綴じ, 虫損。〈書〉修正, 訓点の施しあり。

#### 2024A-3629

**記載書名1：記復讐事・内**

記載著者：藤澤／甫・役割：撰

書写・刊行年：天保9年

3丁, 25.0×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「天保九年戊戌六月下浣／大阪寓客東讃藤澤甫撰」(末尾)。〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。〈書〉訓点の施しあり。

#### 2024A-3583

**記載書名1：蕪稿・外**

記載著者：栗本／満／季竜・役割：著

24.3×33.0cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉表紙のみ。〈書〉「政」と墨書あり。

〈般〉著者は下総の人。

#### 2024A-3556

**記載書名1：蕪章・外**

記載著者：佐野／正繩・役割：著

7丁, 28.1×20.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。

#### 2024A-3509

**記載書名1：文競(吉野懷古)・内・外**

記載著者：村尾／節三ほか・役割：著

書写・刊行年：明治29年

6丁, 24.0×16.2cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉「作者／足利於菟磨／山井景建／佐藤仁之助／村尾節三」(内表紙に墨書)。〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書, 欄外書入による評価あり。〈般〉明治29年3月黒川大人の家における歌会の作品集。

#### 2024A-3615

**記載書名1：文稿・外**

記載著者：霽山ほか・役割：著

26丁, 23.3×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉霽山／犬塚甚三郎貞一／亀山敬佐美和／永田三象成業／吉川辰蔵章甫／吉澤瀬大夫介福。〈写〉表紙に墨書「十一日写／同十三日畢ル／返却」。〈形〉虫損, 仮綴じ, 表紙綴じ外れ。〈書〉訓点の施しあり。

#### 2024A-3542

**記載書名1：文集(読万国公法／子罕言利説ほか)・外**

10丁, 24.0×16.8cm 1冊 写



書誌注記：〈形〉包背装。〈書〉修正，朱書，訓点の施し，欄外書入，修正液の痕あり。

#### 2024A-3625

**記載書名1：文鈔(続八大家文読本序 / 前哲林子平碑)・外**

記載著者：頼 / 襄大槻 / 清崇・役割：著

5丁，26.0×18.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書，朱点，訓点の施し，欄外書入による評価，頼襄「続八大家文読本序」の末尾に佐藤坦による批語あり。

#### 2024A-3650

**記載書名1：文章・外**

28丁，25.7×16.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，汚れあり。〈書〉訓点の施しあり。1丁めに墨書「臨樂天招山寺詩其間所書帖中之一首以似鶴蘿君」。

#### 2024A-3758

**記載書名1：文体明弁・内**

8丁，22.8×15.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉虫損甚大，仮綴じ，10行黒色罫紙。〈書〉欄外見出しあり。

#### 2024A-3719

**記載書名1：放翁詩抄 / 七言律卷之上・内**

**記載書名2：陸放翁詩鈔七言律卷之上・尾**

記載著者：陸 / 放翁・役割：著

17丁，20.0×13.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行青色罫紙。〈書〉朱点あり。

#### 2024A-3649

**記載書名1：奉賀 / 工藤君六十寿・内・序首**

3丁，23.1×15.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行茶色罫紙。

#### 2024A-3492

**記載書名1：(墓標 先配植木氏)**

記載著者：内藤 / 恥叟・役割：撰

23.6×16.5cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉料紙に緑色で萩(印刷)。〈書〉修正，訓点の施しあり。〈般〉植木氏は下野国都賀郡栗野村勝右衛門のこと。

#### 2024A-3374

**記載書名1：万智詠草・外**

記載著者：生田 / まち子・役割：著

2丁，24.8×17.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行黒色罫紙。〈書〉朱書，欄外書入あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3667

**記載書名1：松本奎堂伝・内**

記載著者：松林 / 伯鴻・役割：著

2丁，24.2×16.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行青色罫紙。〈書〉句読点の施しあり。〈伝〉(印記)「史林」。〈般〉松林は肥前の人。

#### 2024A-3485

**記載書名1：源義家論・内**

記載著者：松本 / 亦太郎・役割：著

2丁，22.8×15.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，16行青色罫紙。〈書〉末尾に墨書「伏乞 / 大斧」，朱書，朱点あり。

#### 2024A-3718

**記載書名1：(名所紀行 新橋鉄道局記ほか)**

27丁，15.4×11.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，ガリ版，表紙と後ろ表紙に破れあり。〈書〉一部に句読点と訓点の施しあり。

#### 2024A-3209

**記載書名1：若問金銭ト秋雨過瀨橋**

6丁，25.2×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，部分的に8行青色罫紙，10行黒色罫紙，「宝素堂鈔本」用箋，10行茶色罫紙，10行黒色罫紙，「大熊氏」用箋。〈書〉修正，朱書，欄外書入あり。〈伝〉墨書「片倉元孝」(末尾)。

#### 2024A-3366

**記載書名1：旧之華書窓藁・内**

記載著者：平安 / 渠陽山人・役割：選

3丁，23.6×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，11行黒色罫紙。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3651

**記載書名1：於野夫稿・外**

27丁，22.5×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉朱書，欄外書入による評価添削あり。〈伝〉印記あり。

#### 2024A-3264-5

##### 記載書名1：結城神君碑銘・内

23.8×33.0cm 1枚 刊

書誌注記：〈書〉朱点あり，右下に朱書による丁番号「三十七」とあり，表題の隣に「是ハ無論相省キ之方」と朱書あり，切紙貼付けによる修正あり，「記名之義ハ此兩名トモ記載相成 / 其末へ今回ノ筆者即チ藤谷先生之名ヲ記載相成候様希望仕候」と書かれた切紙貼付あり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3588

##### 記載書名1：幽篁瑣言・内・外

記載著者：喜寿 / 山翁 / 鹿門・役割：著

書写・刊行年：嘉永5年

3丁，24.8×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈書〉訓点の施し，欄外書入による注釈あり。〈伝〉後ろ表紙見返しに「喜寿山翁鹿門君 / 幽清館主退翁 / 窃呈愚草」と書かれた切紙1の貼付あり。

#### 2024A-3457

##### 記載書名1：陽谷芳洲贈答詩抄

記載著者：陽谷 / 芳洲 / 晴湾ほか・役割：著

21丁，23.1×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉結綴じ，表紙欠，後ろ表紙(緑色巾繫ぎに葵型押し)のみあり，5丁め表ほかに切取りあり，10行赤色罫紙。〈書〉修正あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3382

##### 記載書名1：浴瀑作・内

24.3×16.6cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉13行赤色罫紙，「大蔵省」用箋。〈書〉欄外書入による評価あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3308

##### 記載書名1：(楽水謾草 / 洙泗仁説抄ほか)

33丁，19.2×13.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行赤色罫紙。〈書〉修正，朱書，訓点の施し，欄外書入による注記あり。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括，3298～3310まで紐で一括。

#### 2024A-3437

##### 記載書名1：竜雲録 / 採葵録 / 辟金集 / 金蘭集・外

##### 記載書名2：甲子三月三日素行堂小集 / 後・内

記載著者：素行堂 / 主人

15丁，24.2×16.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，10行青色罫紙，「清風堂」

用箋。〈書〉修正，朱書あり。〈般〉成富清風 / 原口元照 / 久米邦武ほかの漢詩文。〈備〉3298～3481は「詩稿一括」と札が付され紐一括。

#### 2024A-3238

##### 記載書名1：菱亭詩稿 / 卷之四・内

記載著者：秦 / 知則・役割：著

42丁，23.0×15.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴，茶色表紙，12行黒色罫紙。〈書〉修正，朱書，朱点，欄外書入あり。

### 1.7. 医学・本草

#### 2024A-3607

##### 記載書名1：(黄帝内経素問)

18丁，17.6×11.4cm 1冊 写

書誌注記：〈著〉墨書「乙卯九月二十二日夜 / 秋風さむし」(末尾)。〈序〉表紙に著者による序文あり。〈形〉仮綴じ，6丁めの丁間(袋綴じの間)に継紙1の差込あり。

#### 2024A-3264-1

##### 記載書名1：(波爾麻和解 / 新元会図題詩 / 稲村氏墓誌銘)

書写・刊行年：寛政4～8年

33.3×42.2cm 5枚 刊

書誌注記：〈般〉印刷。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-7

##### 記載書名1：宝花散 / 此治痧之仙剂・内

18.0×18.3cm 1枚 写

書誌注記：〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3217

##### 統一書名：麻疹精要

##### 記載書名1：麻疹精要・内

記載著者：張 / 璐・上月 / 専庵・役割：著・撰

書写・刊行年：享保16年

23.0×17.0cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉9行黒色罫紙。〈書〉訓点の施し，欄外書入あり。〈般〉序文。

#### 2024A-3264-9

##### 記載書名1：(藥剂处方)

15.5×16.3cm 1枚 写

書誌注記：〈般〉冒頭に「本方竹葉石膏湯竹葉…」とあり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

## 1.8. 理学・博物

### 2024A-3264-4

記載書名1: エンファイルドスニデル銃分解及ヒ名称図

52.4×37.2cm 1枚 刊

書誌注記: 〈形〉洋紙, 破損あり。〈書〉上部余白に「Mdie II …Doi」と青色の英字の書込みあり。〈般〉印刷。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

### 2024A-3806

記載書名1: 火薬の吟味・内

16丁, 24.6×17.9cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈伝〉墨書「加州大野浦佐々木薫る, 但し助習」(表紙), 「鶚 / 総 / 火薬の吟味」と書かれたカードの挟込あり。

### 2024A-3264-10

記載書名1: 砒石 / アルセニック / ホーレル氏

16.0×8.0cm 1枚 写

書誌注記: 〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

## 1.9. 芸術・諸芸 /1.9.1. 金石

### 2024A-3771

記載書名1: (由緒書)

2丁, 23.7×16.9cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈書〉末尾に4月23日付の病状に関する記述あり。〈般〉栗田口 / 来 / 了戒ほか名刀工各派由緒書。

## 1.9.2. 音楽・歌謡

### 2024A-3231

記載書名1: 大つゝみ

7丁, 24.0×14.6cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈伝〉墨書「菊亭」(表紙)。〈般〉墨書「羽衣 / 芭蕉 / 小塩」(表紙)。

### 2024A-3230

記載書名1: (鼓譜面)

4丁, 25.5×15.3cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈伝〉墨書「菊亭」(表紙)。

## 1.9.3. 碁・将棋・遊戲

### 2024A-3727

記載書名1: (囲碁 / 方円社設立趣意)

4丁, 24.5×16.4cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。

### 2024A-3726

記載書名1: 棋道保続法(方円社)・内

6丁, 24.8×17.2cm 1冊 写

書誌注記: 〈序〉筆者自序あり。〈形〉仮綴じ, 10行青色罫紙。〈書〉修正あり。

### 2024A-3512-2

記載書名1: 鞠乃三声の事・内

19.1×12.3cm 1枚 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈備〉3512-1～2は合綴。

### 2024A-3512-1

統一書名: 蹴鞠口伝集

記載書名1: 蹴鞠秘抄・内

記載著者: 藤原 / 頼輔・役割: 著

3丁, 25.0×16.8cm 1冊 写

書誌注記: 〈形〉仮綴じ。〈備〉3512-1～2は合綴。

### 2024A-3728

記載書名1: 七香斎類函 / 卷之六十七・内

17.9×12.1cm 7丁 写

書誌注記: 〈形〉8行赤色罫紙, 「七香斎藏」用箋, 柱に「棋」と丁番号あり。〈書〉修正あり。〈般〉術芸類棋部の写し。

### 2024A-3638

統一書名: 箏曲弾法譜

記載書名1: 箏曲弾法譜序・序首

6丁, 22.0×15.3cm 1冊 写

書誌注記: 〈序〉蒔田寛による序文あり。〈形〉仮綴じ, 9行黒色罫紙。

## 2. 書画・拓本・写真

### 2. 書画・拓本・写真 /2.1. 書

#### 2024A-3264-13

記載書名1：(書 / 節序入秋先可驚…)

記載著者：秋川・役割：書

131.6×22.0cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉(印記)「東平之印」「長剣倚而」。

〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-14

記載書名1：(書 / 人必堪忍常信庭遊)

記載著者：翁 / 千生・役割：書

115.0×34.0cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉印記あり。〈形〉破損あり。〈備〉

3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-15

記載書名1：(書 / 宝海忘憂物…)

記載著者：精・役割：書

126.5×28.5cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉(印記)「橘精之印」ほか。〈形〉破損あり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-16

記載書名1：(書 / 常夜酒聖賢…)

記載著者：男 / 健・役割：書

95.2×30.0cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉「自寿八十老人雪翁」(本文末尾)，(印記)「不息斎」ほか。〈形〉破損あり。〈備〉

3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-17

記載書名1：(書 / 夢裏折梅朵…)

記載著者：西芸園・役割：題

78.0×35.8cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉破損あり。〈伝〉(印記)「西園之書」ほか。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-18

記載書名1：(書 / 春花生筆下…)

記載著者：西芸園・役割：題

79.7×35.8cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉(印記)「西園之書」ほか。〈形〉破損あり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3264-19

記載書名1：(書 / 尋蟹不仮燭…)

記載著者：西芸園・役割：題

83.0×36.8cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉(印記)「西園之書」ほか。〈形〉破損あり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

#### 2024A-3266-2

記載書名1：(書 / 旧銃宜重兵新銃宜輕兵此理二不可不知)

記載著者：佐久間 / 象山・役割：書

39.7×28.2cm 1枚 刊

書誌注記：〈般〉軍備に関する漢詩文。

#### 2024A-3502

記載書名1：(書状, 齒痛強く延行のよし)

記載著者：石川 / 巳之助・役割：著

36.4×13.5cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉厚手の台紙に貼付，包紙あり。大きさは台紙。〈奥〉(識語)「石田巳之助号梧堂羽州之人也 / 善詩 / 当年家在不忍湖東岸」。

### 2.2. 画

#### 2024A-3262

記載書名1：(画 / 儒者肖像)

記載著者：椿岡 / 枕庵・役割：画・書

90.5×39.0cm 1軸 写

書誌注記：〈形〉絹，彩色あり，劣化破損あり。〈著〉(印記)「椿岡画印」。

#### 2024A-3263

記載書名1：(画 / 武家行列絵図)

48.2×93.5cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉彩色あり。〈伝〉「岡崎養健所持」と墨書あり。

#### 2024A-3264-20

記載書名1：(画 / 牡丹に桜と木蓮)

記載著者：西芸園・役割：画

82.7×36.5cm 1枚 写

書誌注記：〈著〉(印記)「芸園」ほか。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-21****記載書名1:(画/柳下之蟹二匹)**

記載著者:西芸園・役割:画

74.0×36.8cm 1枚 写

書誌注記:〈著〉(印記)「芸園」ほか。〈形〉破損あり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-22****記載書名1:(画/梅)**

記載著者:西芸園・役割:画

83.3×36.8cm 1枚 写

書誌注記:〈著〉(印記)「芸園」ほか。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-23****記載書名1:(画/蘭)**

記載著者:西芸園・役割:画

78.5×37.5cm 1枚 写

書誌注記:〈著〉(印記)「芸園」ほか。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-24****記載書名1:(画/竹に菊)**

記載著者:西芸園・役割:画

78.1×36.5cm 1枚 写

書誌注記:〈著〉(印記)「芸園」ほか。〈形〉破損あり。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-25****記載書名1:(画/松竹梅ほか)**

188.2×27.7cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉5葉あり,剥がれ。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-26****記載書名1:(画/葡萄に竹)**

133.5×27.5cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉3葉あり,後欠。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-27****記載書名1:(画/枇杷)**

38.5×27.7cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉1葉。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-28****記載書名1:(画/蘭)**

43.4×27.7cm/32.5×27.8cm 2枚 写

書誌注記:〈形〉虫損,3葉,前後欠。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-29****記載書名1:(画/梅に薔薇ほか)**

181.3×27.8cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉虫損,8葉,剥がれ,後欠。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3264-30****記載書名1:(画/菊)**

74.5×27.8cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉虫損,4葉。〈備〉3264-1～30は巻き込み一括。

**2024A-3266-1****記載書名1:(孔子肖像)**

記載著者:鈴木/鶯湖・役割:画

39.7×28.2cm 2枚 刊

書誌注記:〈序〉佐久間象山による賛文あり。

**2024A-3276****記載書名1:(国士の声/見本の壺部・袋)**

記載著者:有田/音松・役割:画

53.0×29.3cm 46枚 刊

書誌注記:〈形〉袋入,図46枚。〈備〉3274～3276は紐一括。

**2.3. 拓本****2024A-3704-1****記載書名1:(拓本 郭奎勛)**

記載著者:郭/奎勛・役割:書

21.6×27.5cm 1枚 刊

書誌注記:〈形〉破れ。〈般〉本文「美人香草」。

**2024A-3704-2****記載書名1:(拓本 扇)**

27.0×47.2cm 1枚 刊

書誌注記:〈形〉破れ。

**2024A-3270****記載書名1:(朝鮮海州清聖廟碑・内)**

310.0×100.6cm 1枚 写

書誌注記:〈版〉百世清風碑拓本,碑陰。〈伝〉大正十年十一月三井合名会社山林課長柴田栄吉より寄贈。

## **2.4. 写真**

### **2024A-3264-2**

**記載書名1:(大槻如電)**

28.0×20.5cm 1枚 刊

書誌注記:〈著〉写真の隣に墨書「大槻如電」とあり, (印記)「電」。  
〈形〉洋紙。〈般〉印刷。〈備〉3264-1 ~ 30は巻き込み一括。

### **2024A-3265**

**記載書名1:(手控 ペプシン / グリセリンほか酵素について)**

39.0×54.3cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉写真版カ, 汚れ, 破れあり。

## 3. 古文書

### 3. 古文書 /3.1. 福井藩

#### 2024A-3282

##### 記載書名1：大御番筆頭日記書抜

書写・刊行年：(嘉永1年)

14丁, 25.8×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。切紙1の貼付あり(6丁表)。〈伝〉「鶚／総／大御番筆頭日記書抜」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉「江戸を御国へ引越」[在江戸之面々]、文政12年「相沢庄左衛門閉門」などの文言があることから、藩の大番筆頭の記録と推定。

#### 2024A-3805

##### 記載書名1：(被仰出)

53丁, 25.8×16.7cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈形〉1丁めに切紙貼付、3丁めと4丁めの間に継紙1(「御札所之由来／覚」)の挟込あり。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの挟込と貼付あり、挟込カードに「元文元辰十月五日被仰出候御書付／左之通／明和元年八月御家老中被申渡之覚／安永八亥七月／小役人跡目之事／安永十巳三月御国を申来ル／御触諸役方／覚諸願」と書かれている。〈般〉「大安院様御代」「探源院様御代」「徳正院様御代」(挟込の継紙)とあり。24丁めウラに継紙1貼付あり。

#### 2024A-3284-1

##### 記載書名1：御書付之写(軍制改革／役替ほか触留)・外

書写・刊行年：安政4年

11丁, 24.6×16.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ、3284-2とも。〈伝〉「鶚／総／安政四巳年御書付之写」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉勘定吟味役河村三左衛門江戸詰に伴う増扶持と席次は橋本佐内次などの文言があることから、福井藩大番記録と推定(福井県立図書館ほか「福井藩士履歴」参照)。

#### 2024A-3284-2

##### 記載書名1：御扶持方大法積(改正猶予願い)

12.1×14.5cm 1枚 写

書誌注記：〈形〉書状。3284-1の末尾に括り付け。〈般〉17人扶持75石4斗1升4合ほか扶持米に付書上。

#### 2024A-3807

##### 記載書名1：(憲法十七条／御式目／小役人跡目之事ほか)

23丁, 26.2×16.5cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。後ろから3丁めの丁間(袋綴じの間)に紙1(墨書「安政六未二月廿二日目付中々(中略)御国内御暇」)差込あり、最終丁の丁間に下敷き差込あり。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの差込みあり、カードに鉛筆で「上宮皇子憲法十七条／御式目／文化十四年十一月七日御用人中／覚書之内御大／安永八年七月小役人跡目之事」と史料の内訳に関する記載あり。

#### 2024A-3797

##### 記載書名1：(諸士法度ほか)

137丁, 13.5×19.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉四ツ目綴、薄青色表紙・継紙・切紙の貼付あり。〈書〉朱書、修正液の痕あり。〈般〉内容は「御条目」「御関所下証文之心得」「郡県城櫓并近国其外所々丁数里数大概 遠敷郡上中郡大飯郡」ほか／「御家格考」として「御家若狭国主と称シ之考」ほか。

#### 2024A-3297

##### 記載書名1：(半人扶持支給書付)

4丁, 12.8×32.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉記載される者たちの苗字から福井藩と推定(福井県立図書館ほか「福井藩士履歴」参照)。

### 3.2. 福井藩士本庄家 /3.2.1. 藩役務

#### 2024A-3808

##### 記載書名1：暮切米并御合力役料物成共小以帳

書写・刊行年：天保8年

10丁, 12.7×32.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ、切紙貼付多数。〈書〉朱書あり、表紙に墨書(「酉亥亥年三ヶ年半減、酉七月五日被仰付」)あり。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの差込みあり、カードに「天保八酉暮切米并御合力役料物成共小以帳」と万年筆書きあり。

#### 2024A-3813

##### 記載書名1：春切米并御合力共渡方小以帳

記載著者：御切手方／佐藤幸右衛門／之節

書写・刊行年：天保9年

9丁, 12.7×32.8cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶯／総」と印字されたカードの差込みあり，上に「天保九戌春切米并御合力共渡方小以帳」と万年筆書きあり。〈般〉表紙に墨書「酉亥迄三ヶ年半減，酉七月廿五日御借米被仰付」あり。〈般〉「裏書惣高寄」（最後の丁）にある地名（砂子坂／南居など）から福井藩と推定。

#### 2024A-3815

##### 記載書名1：御國村銘以呂波分ヶ帳

記載著者：本庄／氏

書写・刊行年：安政4年

70丁，13.6×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ，墨付き最終丁の丁間（袋綴じの間）に下敷き差込みあり。〈伝〉「鶯／総」と印字されたカードの差込みあり，上に「御国村銘以呂波分ヶ帳／写（安政4）／1冊」と万年筆書きあり。

### 3.2.2. 家

#### 2024A-3802

##### 記載書名1：（進し申銀子訳書之事）

記載著者：実父作左衛門判／母／兄孫十郎

書写・刊行年：安政6年

5丁，28.8×18.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。前欠。〈書〉朱書あり。〈般〉内容は家屋敷のこと。

#### 2024A-3291

##### 記載書名1：家屋鋪土蔵買求諸入用覚帳

記載著者：本庄／氏

書写・刊行年：文政8年

5丁，38.7×14.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶯／総／家屋鋪土蔵買求諸入用覚帳」と書かれたカードの挟込みあり。

#### 2024A-3816

##### 記載書名1：入湯覚書

記載著者：福井大工町／三番軒／本庄作左衛門／倅／本庄作平

書写・刊行年：安政2年

15丁，12.8×16.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶯／総」と印字されたカードの差込みあり，上に「入湯覚書」と万年筆書きあり。〈般〉表紙に墨書「下女お千代／およつ／おみつ」ほかあり。

#### 2024A-3817

##### 記載書名1：入湯出立ヨリ諸入用留帳

記載著者：福井大工町／本庄作左衛門

書写・刊行年：安政2年

9丁，12.8×32.4cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶯／総」と印字されたカードの差込みあり，上に「入湯出立ヨリ諸入用留帳／写」と万年筆書きあり。〈般〉表紙に墨書「安政二卯五月廿二日お出立」「大聖寺領分山代大野屋…」「下女お千代／同およつ／おみつ」ほかあり。

#### 2024A-3289

##### 記載書名1：（本庄）治平妻縁一件

書写・刊行年：安政3年

7丁，12.2×31.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉本庄治平の縁組のこと。

#### 2024A-3292

##### 記載書名1：善光寺参詣夫江戸見物致シ中仙道并岐阜嶋大智坊ニテ目療治共諸入用仕訳帳（越中国境番所切手および関所通手形写）

記載著者：（本庄氏）

書写・刊行年：安政6年

13丁／2丁，37.5×14.7cm 2冊合綴 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。綴りの1冊めは反古紙を使用，1冊めの9丁と10丁の間に切紙1（墨書「覚（差引 7月12日源左衛門へ渡す）」の挟込みあり。〈書〉朱書による訂正あり。〈伝〉「鶯／総／善光寺参詣夫江戸見物致シ中仙道并岐阜嶋大智坊ニテ目療治共諸入用仕訳帳／（安政6）」と書かれたカードの挟込みあり。〈般〉出発と帰宅地はともに福井，綴りの1冊めは人足・買物帳，2冊めは切手／通手形写。

#### 2024A-3280

##### 記載書名1：中仙道中記

記載著者：本庄氏

書写・刊行年：安政7年

14丁，14.7×18.6cm 1冊 写

書誌注記：〈伝〉「鶯／総／中仙道中記／写1冊」と書かれたカード差込みあり。〈般〉善光寺から江戸を経て伏見，今宿（現，滋賀県守山市）あたりまでの記録。

#### 2024A-3799

##### 記載書名1：指上申誓文之事／御両親様へ御届之通承り心得之趣書記指上申候

記載著者：本庄八介（印）

書写・刊行年：万延1年

5丁，28.8×19.3cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈般〉借用銀。



**2024A-3681**

**記載書名1:**(書状/高木侯(一万石)書生一人を抱えたい旨の相談、俸禄三人口7兩位。藩中児童で篤実者を希望)

16.8×36.2cm 1通 写

**2024A-3734**

**記載書名1:**(書状 切絵図1箱/嘉永改正大絵図ほかの返却を願う旨)

記載著者: 庄

17.6×40.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉汚れ。

**3.2.3. 近代****2024A-3285-1**

**記載書名1:**金禄御改正二付願

25.2×17.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶚/総/金禄御改正二付願」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉米値段高騰による小禄と他借の困窮、改正猶予の願い。〈備〉3285-1～3は一綴。

**2024A-3285-2**

**記載書名1:**演舌書(華士家禄/賞典禄御改正)

2丁, 25.3×17.2cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶚/総/演舌書」と書かれたカードの挟込あり。〈備〉3285-1～3は一綴。

**2024A-3285-3**

**記載書名1:**禄制御改正二付再伺

25.2×17.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶚/総/禄制御改正二付再伺」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉米穀の代価三年平均となる旨。〈備〉3285-1～3は一綴。

**2024A-3286**

**記載書名1:**(御布告 家禄賞典禄ほか)

書写・刊行年: 明治9～11年

10丁, 24.7×17.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 切紙1(墨書「金禄三十拾九円/啓太郎/作一郎」など)の挟込あり。〈伝〉「鶚/総/(御布告写)」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉敦賀県を廃し石川県へ編入を記す(後ろから2丁め)。

**2024A-3287**

**記載書名1:**御布告写覚

書写・刊行年: 明治7～11年

28丁, 26.1×17.1cm 1冊, 8通 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に8行黒色罫紙。〈書〉後ろから14めの丁間(袋綴じの間に)、「五十八」差引,「記/無双紙一状十三冊」などの書上,「県帳」「本庄様/薄金屋市左衛門」「中川伝之助/印紙駄賃包紙代」「覚(上物紙領収書)/近佐差出」,切紙6(ただし紙縫り一括)の差込あり。後ろから5丁めの丁間に,土族本庄啓太郎を第16番常盤小学訓導に,土族本庄曾根作を第43番松岡小学訓導拝名(明治8年12月)のことを記した切紙1の差込あり。後ろから1丁めと2丁めの間に,県令よりの金禄公債証書出入質入売買許可達を5番学校地内掲示板に掲げる旨の告知(明治11年9月正副戸長差出)の切紙(茶色罫紙)1の差込あり。〈伝〉「鶚/総/御布告写覚/写1冊」と書かれたカードの挟込あり。〈般〉敦賀港蓬萊町三井組の記事あり。後ろから8丁め以降に「後見人御届」(控)があり,届人は越前国第二大区三小区吾妻下町土族本庄関外,後見人は関外兄本庄啓太郎。保証人は親類石黒林平(明治9年12月)。もう一通の届人は同所土族本庄曾根作,後見人は曾根作父本庄省一。保証人は親類本庄啓太郎(明治9年12月)。

**2024A-3294**

**記載書名1:**単複記簿日記帳

記載著者: 本庄

24丁, 24.1×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙, 表紙の丁間(袋綴じの間に)に「記簿」の練習問題(鉛筆書き)を記した10行青色罫紙の「学校」用箋1の差込あり,1丁めの丁間に「ハッカル氏所用平均表」(青色10行罫)1の挟込あり。〈書〉朱書きあり。〈伝〉(印記)「本庄」,「鶚/総/単複記簿日記帳」と書かれたカードの挟込あり。

**2024A-3295**

**記載書名1:**単複記簿大帳

記載著者: 本庄

18丁, 23.9×16.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 10行黒色罫紙。〈書〉朱書きあり。〈伝〉(印記)「本庄」,「鶚/総/単複記簿大帳」と書かれたカードの挟込あり。

**2024A-3783-1**

**記載書名1:**(『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年1月分)

記載著者: 本庄

8丁, 24.5×17.0cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙/部分的に10行黒色罫紙。表紙の丁間(袋綴じの間に)に「記簿法 取引書」を記した10行青色罫紙

1枚の差込あり。〈書〉朱書あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3783-2

**記載書名1：『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年2月分)**

記載著者：本庄

9丁, 24.7×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙／部分的に10行黒色罫紙。〈書〉朱書あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3783-3

**記載書名1：『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年3月分)**

記載著者：本庄

12丁, 24.8×17.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙／部分的に10行黒色罫紙。〈書〉朱書あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3783-4

**記載書名1：『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年4月分)**

記載著者：本庄

14丁, 24.7×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙／部分的に10行／13行黒色罫紙, 3丁めと4丁めの間に「家財商売」(13行黒色罫紙1)の挟込あり。〈書〉朱書, 切紙貼付による修正あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3783-5

**記載書名1：『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年5月分)**

記載著者：本庄

18丁, 24.8×17.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙／部分的に10行黒色罫紙。〈書〉朱書あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3783-6

**記載書名1：『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年6月分)**

記載著者：本庄

20丁, 24.7×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙／部分的に10行／13行黒色罫紙。最終丁の丁間(袋綴じの間)に課題を記した13行黒色罫紙)5枚の差込あり。〈書〉朱書あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3783-7

**記載書名1：『簿記学階梯』巻之下例題の写しおよび解答 明治11年7, 8月分)**

記載著者：本庄

48丁, 24.7×17.2cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ, 部分的に10行青色罫紙, 部分的に10行黒色罫紙。〈書〉朱書あり。〈伝〉(印記)「本庄」。〈備〉3783-1～7は紐一括。

#### 2024A-3290

**記載書名1：(福井県諸郡諸組村別戸数書上)**

書写・刊行年：明治30以降年

29丁, 13.8×19.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。明治30年「羽水教校建築寄附金及教学費募集」(印刷)の裏面を使用。

### 3.3. 福井藩士野坂家

#### 2024A-3809

**記載書名1：野坂土蔵入用帳**

書写・刊行年：安政6年

10丁, 12.8×32.6cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの差込みあり, 上に「野坂土蔵入用帳」と万年筆書きあり。

#### 2024A-3810

**記載書名1：土蔵古物建方諸事覚帳**

記載著者：野坂／亀三郎

書写・刊行年：安政6年

7丁, 14.4×37.0cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。表紙と1丁めの間に文書1点(「覚(建材代金書上, 木屋助五郎差出)」3通糊付け)の挟込あり。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの差込あり, 上に「土蔵古物建方諸事覚帳／銀渡請取帳／(安政6野坂亀三郎記)」と万年筆書きあり。〈般〉表紙に「銀渡請取帳」とあり。野坂亀三郎は藩士カ(1丁めに「御勝手月番大橋へ相達候処即日願之通被仰付御目付中へ御通し」などとある)。

#### 2024A-3811

**記載書名1：(算料局会日規定ほか)**

書写・刊行年：午年

3丁, 14.3×34.1cm 1冊 写

書誌注記：〈形〉仮綴じ。〈伝〉「鶚／総」と印字されたカードの差込みあり, 上に「算料局会日寄日昼後ト候処御勘定所勤之族ニ而者役所出勤日ニ相障候分不少ニ付当午春カ左之通相勤之輩ニ限り会日御規定相成候事(安政5)」と万年筆書きあり。

### 3.4. 関家

#### 2024A-3582-1

記載書名1:奉献(天正2年鶴岡八幡宮に弓矢奉献)

23.4×15.6cm 1枚

書誌注記:〈伝〉墨書「儒者ノ一橋殿家人関太(多を抹消)治郎」あり。〈備〉3582-1～7は一綴。

#### 2024A-3582-2

記載書名1:鉄砲銘文写(寛永8年)

23.7×15.1cm 1枚

書誌注記:〈備〉3582-1～7は一綴。

#### 2024A-3582-3

記載書名1:覚(天保5年八幡宮宝殿へ関家先祖、弓矢献納寄進)

24.2×15.2cm 1枚

書誌注記:〈備〉3582-1～7は一綴。

#### 2024A-3582-4

記載書名1:免状覚(延宝6～文政11年関平十郎/平治右衛門ほか免状年代書付)

24.2×15.3cm 1枚

書誌注記:〈備〉3582-1～7は一綴。

#### 2024A-3582-5

記載書名1:根岸生苗字説

24.4×17.1cm 1枚

書誌注記:〈形〉3582-4と3582-5の間にあり。〈備〉3582-1～7は一綴。

#### 2024A-3582-6

記載書名1:(関氏過去帳 元禄15～寛政8年)

2丁, 23.8×15.5cm 1冊

書誌注記:〈備〉3582-1～7は一綴。

#### 2024A-3582-7

記載書名1:(慶長年中～嘉永年中関氏系図)

24.0×15.6cm 1枚

書誌注記:〈備〉3582-1～7は一綴。

## 4. 書状・手控ほか(土肥家)

### 4. 書状・手控ほか(土肥家) /

#### 4.1. 土肥慶蔵 /4.1.1. 書状

2024A-3213

記載書名1:記(東京永森直次郎作成の金額 / 書籍名 / 冊数書上)

記載著者:永森 / 直次郎

書写・刊行年:大正6年

20.8×16.0cm 5枚 写

書誌注記:〈著〉本郷区春木町永森直次郎(本文末尾), (印記)「永森」。〈形〉青色罫紙。〈伝〉土肥様(本文末尾)。

2024A-3214

記載書名1:記(京都竹苞楼銭屋佐々木惣四郎作成の書籍名 / 冊数 / 金額書上)

記載著者:竹苞楼 / 銭屋 / 佐々木 / 惣四郎

16.3×23.5cm 5枚 写

書誌注記:〈著〉京都市寺町通姉小路上ル / 竹苞楼銭屋佐々木惣四郎(印刷)。〈形〉赤色罫紙。〈伝〉宛名は空欄。〈般〉書籍およびその値段の書上。

2024A-3215

記載書名1:(書状, 御定稿二付至急御送り願上げる旨および珍本書上)

記載著者:玄

25.8×17.6cm 2枚 写

書誌注記:〈著〉玄(1枚め文末)。〈形〉青色罫紙, 13行赤色罫紙(別紙として珍本リスト1), クリップ留め。〈伝〉鶚軒先生侍史(1枚め宛名)。

2024A-3216

記載書名1:(書状, 医学博士岡崎桂一郎宛 土肥氏の参考書類収集, 土肥氏出版の徴毒史に関して)

記載著者:渡辺 / 熙

書写・刊行年:(大正)15年

22.4×15.2cm 1通 写

書誌注記:〈形〉青色罫紙, 封筒とも。〈著〉大阪市港区 渡辺熙(封筒書き)。〈伝〉東京府下荏原郡蒲田町 / 医学博士岡崎桂一郎様(封筒書き)。

2024A-3261

記載書名1:(医学博士岡崎桂一郎名刺)

9.0×5.5cm 1枚 刊

書誌注記:〈形〉封筒とも。〈著〉(印記)「相州逗

子 / 樺山 / 上村才六(封筒に押印)。〈伝〉東京市神田区 / 南甲賀町八 / 岡崎桂一郎殿(封筒書き)〈般〉名刺に「自宅 / 東京府下蒲田町北蒲田, 診療所 / 東京市神田区駿河台南甲賀町」(印刷)。

#### 4.1.2. 交友

2024A-3503-1-1

記載書名1:(旧松江藩士松田敏略歴)

記載著者:松田 / 敏

書写・刊行年:大正3年

22.7×15.4cm 2枚 写

書誌注記:〈形〉10行青色罫紙, 東京文運堂製。〈備〉3503-1・2は紐一括, 3503-1-1 ~ 5は一綴。

2024A-3503-1-2

記載書名1:略歴(旧松江藩士松田敏)

記載著者:松田 / 敏

書写・刊行年:大正2年

24.1×16.2cm 2枚 写

書誌注記:〈形〉9行青色罫紙, 誠義堂製。〈備〉3503-1・2は紐一括, 3503-1-1 ~ 5は一綴。

2024A-3503-1-3

記載書名1:松江藩士松田敏略歴

24.1×16.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉10行淡青色罫紙。〈備〉3503-1・2は紐一括, 3503-1-1 ~ 5は一綴。

2024A-3503-1-4

記載書名1:終身会友松田敏略歴

記載著者:湊雨 / 松田 / 敏

24.1×16.2cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉12行青色罫紙。〈備〉3503-1・2は紐一括, 3503-1-1 ~ 5は一綴。

2024A-3503-1-5

記載書名1:(書状, 序文校正中, さらに工夫する旨)

記載著者:田辺 / 新之助

書写・刊行年:(大正)2年

17.7×30.6cm 1通 写

書誌注記:〈形〉封筒とも。〈書〉差出は「鎌倉扇谷 / 田辺新之助」(封筒書き)。〈伝〉「東京市麻布霞町 / 松田敏様」(封筒書き)。〈備〉3503-1・2は紐一括, 3503-1-1 ~ 5は一綴。

#### 4.1.3. 手控

##### 2024A-3777

###### 記載書名1:(手控)

27.3×17.6cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉修正あり。〈般〉「拝容」「頭容」「手容」ほかの墨書あり。小項目「1.6.4 辞書・字典」のいずれかから外れたものカ。

##### 2024A-3733

###### 記載書名1:(手控 / 原稿用紙)

25.7×31.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉10行黒色罫紙。〈書〉欄外に墨書「為之言於某日莫」ほかあり。小項目「1.6.6 漢詩文」のいずれかから外れたものカ。

#### 4.2. 土肥健男

##### 2024A-3716

###### 記載書名1:中学国文教科書詳解 巻五, 六・内・目・扉・尾

記載著者: 吉田 / 氏

225丁, 16.9×8.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉洋装, 緑色表紙, 表紙欠。〈伝〉後ろ表紙に「乙三 / 土肥健男」とあり。〈備〉目次4ページ, 本文218ページ, 後付3ページ。

#### 4.3. 書袋ほか /4.3.1. 新聞

##### 2024A-3705

###### 記載書名1:(読売新聞連載「日本唯一の関秀詩人原采菴」)

書写・刊行年: 大正2年

6.4cm 1軸 刊

書誌注記:〈形〉連載箇所を切り取って糊で繋いだもの, 包紙あり。〈備〉刊行年は米標準相場(裏面)より推定。

##### 2024A-3202

###### 記載書名1:朝日新聞・内

記載著者: 朝日新聞東京本社・役割: 刊

書写・刊行年: 昭和25年

53.7×78.8cm 1枚 刊

書誌注記:〈版〉昭和25年2月17日夕刊, 16日発行。

#### 4.3.2. 書籍管理

##### 2024A-3264-8

###### 記載書名1:(書籍札 東門詩草 / 三巻)

15.3×14.0cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉裏面に「従文化辛未八年早春畢

同年癸酉」と墨書あり。〈備〉3264-1 ~ 30は巻き込み一括。

##### 2024A-3711

###### 記載書名1:(封筒)

24.2×16.0cm 1通 刊

書誌注記:〈版〉裏面に印字「〈山に木〉御菓子司 / 上州 / 富岡仲町 / 林屋忠八」。〈書〉封筒表に朱書「此囊中稿已經訂正者 / 但属故紙」, 墨書「先人詩稿」, 裏に墨書「先人詩文稿」(売薬能書入(抹消))とあり。

##### 2024A-3778

###### 記載書名1:(紐 / 書籍表紙)

27.8×19.4cm 1本 /2枚

〈伝〉「鶚 / 総」と印字されたカードとも, カードに「406」(印字), 「第5括」(赤ペン)とある。

##### 2024A-3268-1 ~ 6

###### 記載書名1:(札)

23.3×9.0cm, 23.5×9.0cm, 12.6×8.7cm, 5.3×

5.6cm, 17.9×9.6cm, 18.2×6.9cm 6枚, 2本 写

書誌注記: 3268-1 〈書〉墨書「未(丸囲い) 鶚軒雜書」/3268-2 〈書〉墨書「鶚軒雜書」/3268-3 〈書〉墨書「調査未了 / 雑目記載了」とあり。/3268-4 〈形〉紐とも。〈伝〉印字「鶚 総 406」, 赤ペンで「第4括」/3268-5 〈書〉「詩稿一括」とあり。〈形〉紐とも。〈備〉3298 ~ 3481を一括していた札と紐。/3268-6 〈書〉墨書「文稿・雑抄 / 一括」とあり。〈形〉紐とも。

##### 2024A-3267

###### 記載書名1:(包装紙)

42.5×81.0cm 1枚 写

書誌注記:〈形〉汚れ, 短冊などが複数枚貼付されていた痕跡が残る。現在は, 1枚のみ貼付。元は貼り交ぜ台紙だが, のち包装紙として使用したカ。〈書〉「要再調」と書かれたラベル貼付あり。〈般〉琉球王国第二尚氏王統 / 第3代尚真王の長男浦添朝満による和歌「歌崎書」。

##### 2024A-3710

###### 記載書名1:(包装紙 / 雲潭画帖入)

27.2×43.0cm 1枚 写

書誌注記:〈書〉墨書「雲潭画帖入」あり。〈形〉汚れ。〈伝〉(印記)「祥鳳」, (印記)「雲潭」。

#### 4.3.3. 白紙

##### 2024A-3742

###### 記載書名1:(原稿用紙)

4. 書状・手控ほか(土肥家)/4.3. 書袋ほか/4.3.3. 白紙

28.1×20.8cm 195枚 刊

書誌注記：(形)紐一括, 上欄に「二六新聞原稿用」「皮膚科学原稿用紙」「日本衛生新聞原稿用紙」ほかの印字あり。

## 5. 混入文書

### 5. 混入文書 /5.1. 山城国乙訓郡菱川村文書

#### 2024A-3790

記載書名1:野邊見送帳・外

2丁, 12.2 × 32.6cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈般〉教西童子(俗名吉太郎) / 妙融童女(俗名ふみ)葬式。内容年代は文化・文政。

#### 2024A-3791

記載書名1:(音物 / 献立など手控え関係綴)

写

書誌注記:〈形〉3791-1・2は合綴。

#### 2024A-3791-1

記載書名1:到来帳(献立表)・外

書写・刊行年:嘉永5年

2丁, 12.4 × 34.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。3791-1・2は合綴。〈般〉表紙に墨書「大坂二而」。

#### 2024A-3791-2

記載書名1:瑞華院殿三回忌・外

書写・刊行年:嘉永5年

3丁, 12.4 × 34.5cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。3791-1・2は合綴。〈般〉献立・台所手伝人名ほか。

#### 2024A-3792

記載書名1:相林院様御行烈・外

6丁, 7.2 × 19.8cm 1冊 写

書誌注記:〈形〉仮綴じ。〈般〉葬礼。

藤浪剛一氏ニ相贈り度有之。

同氏今夏来訪。愚息を連れて同氏宅ニ「レントゲン」診察を受けル事あり。其礼ニ寄贈致度有之。

御多用中恐入り候へとも、其珍否価格等御教示被下度

御願申上候。実は持参可致の処、本日、他へ招かれ居候ニ付、

書面にて御願申上候。勿々。

十五日朝

玄拝

鶚軒先生侍史

(二枚目)

✓1 内服同功 空洞石阪先生問 安政丁巳嘉平月

✓2 O 蘭対訳 単語編 一八二二年

3 和蘭文典前編 全 天保十三年壬寅九月 稟准刊行

作州箕作氏藏板

✓4 六物新志 二冊 仙台大槻先生著 天明六年

✓5 怪癖一得 名古屋玄医選 元禄六年末之秋林久兵衛刊

6 書体弁疑総論 富信修然甫書 享保十九年

✓7 一角纂考 一冊 浪速 遜斎木邨孔恭世肅著 寛政七年正月版

✓8 医宗仲景考 平篤胤本 文政十年

✓9 重刻内閣秘伝字府 寛文四年三月

✓10 諸証類部 日東 吉田 五玉 元瑞纂輯 貞享五年六月

✓11 医断 写本 西肥 鶴沖元逸著

✓12 日記中棟方 卷三下 寿仙坊見宜撰述



○✓	本朝書籍考	一	四円
○✓	尚書夫文解	一	一五円
✓	書林栞	一	六〇銭

(五枚目)

○	後藤松蔭書、庭訓帖	書束も持合候	
	後藤松陰	唐詩帖	五
	同	千字文	一〇円
	橘冬照筆孝経		六円
			五円

京都市寺町通姉小路上ル八番戸

錢竹菴樓 佐々木惣四郎

史料翻刻3

資料名「書状、御定稿ニ付至急御送り願上げる旨および珍本書上」  
 大きさ 二五・八×一七・六センチメートル  
 整理番号 2024A-3215

(一枚目)

昨日差上候御作、御定稿ニ相成候ハゞ至急御送付願上候。  
 本日メ切の処、明日迄延期致候。

別紙書目、何れも珍本なりとて地方の知人より謝礼代りニ  
 貰ひ受け候。實際珍本なれば、其内より二・三種をとり

詩法入門	七	三円五〇銭
豊公遺宝図略	二	四円
遺馨録	二	三円五〇銭
豊県集	三	二〇円
古文雕題	一	三五円

初印  
早野仰斎（徳徳堂主人）  
稿本  
並河寒泉  
自筆

（三枚目）

閑距余筆	一	三円
修辭通	一	三円
雲井竜雄詩文集	一	一円
社盟詩載	一	八〇銭
大沢文稿続編	一	一〇円
皇朝正声 徂徠	一	三円
雪岑詩	一	一円五〇銭
北征詩集	一	四〇銭
指翠生絶句鈔	一	五〇銭
半山百絶	一	四〇銭

詩以下  
文集  
御目錄  
二ナシ

（四枚目）

良山先生文集	一	一円
羅山文集抄略	一	八〇銭
大洲先生四十六士論	一	一円
自新録	一	一円
書籍考	一	二円
山東里先生集	一	五円
和名類聚抄	一	一五円

河合春川  
自筆

史料翻刻2

資料名「記（京都竹苞楼錢屋佐々木惣四郎作成の書籍名／冊数／金額書上）」

大きさ 一六・三×二三・五センチメートル

整理番号 2024A-3214

（一枚目）

記

月日

書名

数量

替

金額

物茂卿書幅

一

一〇〇円

呉春芭蕉翁像

一

一八〇円

○ 花隠桜撫子賛

一

三五円

履軒五言絶句

一

二五円

直好懷紙

一

二五円

立原杏所富士山景図

一

四〇円

錦城七絶 続本

一

八円五〇銭

天海文書 松梅院宛

一

三五円

長野豊山 九霞桜記

一

八五円

○ 亀井元鳳 書卷

一

三円八〇銭

（二枚目）

苅圃竹栗山賛

一

一〇円

頼支峰 絹本  
七作

一

四〇円

林谷蓬萊山

一

一五〇円

阿部良山銅章印譜添

✓ 橘木遺事

五

八円

○ 町人囊 西川如見

七

二円八〇銭

一、壹円也	✓ 橘黄医談	一冊
一、四十錢也	田子養生訣	一冊
一、四十錢也	✓ 適円自適法	一冊
一、三十錢也	✓ 切断要法	一冊
一、四十錢也	✓ 傷寒論正文解	一冊
一、五十錢也	✓ 医書	一冊
一、五十錢也	✓ 療治經驗	一冊
一、五十錢也	✓ 古写本医書横本	一冊
一、壹円八十錢	✓ 崇蘭館方解	二冊

(五枚目)

一、七十錢也	✓ 脈候提綱	一冊
一、八十錢也	医略抄	一冊
一、壹円也	✓ 螢雪余話	一冊
一、八十錢也	✓ 家伝薬書	一冊
一、三十錢也	✓ 小児五疳	一冊
一、四十錢也	✓ 米寿文集	一冊
一、壹円也	✓ 定稿	一冊

以上、五拾五種

大正六年四月三日

本郷区春木町二―廿一

永森直次郎 印

土肥 様

一、七十錢也	✓一角纂考	一冊
一、六十錢也	✓万膏藥秘伝	一冊
一、五十錢也	✓杏蔭齋正骨術	一冊
一、八十錢也	✓馭術舌記	一冊
一、七十錢也	✓小品考	一冊
一、參円五十錢也	✓蘭方治方集覽	四冊
一、八十錢也	✓医家神秘鈔	一冊

(三枚目)

一、壹円式十錢也	✓麻瘡戲言 <sup>(修力)</sup>	一冊
一、六十錢也	✓存試葉室藏書目錄	一冊
一、三十錢也	✓外治方鑑	一冊
一、五十錢也	✓麻疹便覽	一冊
一、四十錢也	✓痘科挙要	一冊
一、五十錢也	✓荳瘡養育	一冊
一、五十錢也	✓征蛮医誌	一冊
一、三十錢也	✓急病治療法	一冊
一、五十錢也	✓本道医療近路	一冊
一、六十錢也	✓医道便易	一冊
一、四十錢也	✓痢病勢龍円	一冊
一、三十錢也	✓穿鑿安全両伝	一冊

(四枚目)

一、四十錢也	✓医療藥方規矩	一冊
一、九十錢也	✓方意弁義	二冊
一、三十錢也	✓産科秘要	一冊

史料翻刻1

資料名「記（東京永森直次郎作成の金額／書籍名／冊数書上）」

大きさ 二〇・八×一六・〇センチメートル

整理番号 2024A-3213

（一枚目）

記

一、参拾円也	写本 長崎実録	合本	六冊
一、参拾五円也	肥前国大村海景色 絵巻	古画	
一、参円也	✓ 歳寒堂詩鈔原稿	三冊及序文口絵	
一、四円也	✓ 藍田先生文集二稿	合本	三冊
一、壹円貳十銭也	✓ 林塾明月篇		一冊
一、参円也	✓ 論切磋編	原稿	一冊
一、五十銭也	✓ 聞見雜録	写本	一冊
一、六十銭也	✓ 追懷古人詩一首	写本	一冊
一、五十銭也	✓ 蟄甫滴草	写本	一冊
一、三十銭也	✓ 香山先生詩稿	写本	一冊
一、貳円也	✓ 桜花帖 揃の詩集		一冊
一、三十銭也	✓ 棲碧山人百絶		一冊

（二枚目）

一、六十銭也	✓ 鼓腹集		一冊
一、貳円也	✓ 沈氏画塵	兼霞堂註	一冊
一、壹円三十銭也	✓ 南陽館一家言	一枚欠ケ	一冊
一、四円也	✓ 和蘭全軀内外分合図	一枚欠	一冊
一、八十銭也	✓ 和蘭用藥便覧附録		三冊

## 史料目録 第121集

### 鶚軒文庫関係資料

印刷発行 令和7年3月31日  
発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館  
編集 学術資料部  
〒190-0014  
東京都立川市緑町 10-3  
電話 050-5533-2900 (代)  
印刷 株式会社トリッド

©人間文化研究機構 禁無断複写

(本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』(第78集まで発行)を継続しています。)

ISBN 978-4-87592-216-2

ISSN 2435-2055



9784875922162

ISBN 978-4-87592-216-2

ISSN 2435-2055